

平成 17 年 11 月 30 日

審 02 - 資料 02

八戸市総合計画策定に向けた

市民アンケート調査結果

- 報 告 書 -

平成 1 7 年 1 1 月

八 戸 市

目 次

1 . 調査の概要 -----	1
2 . 回答者の属性 -----	2
3 . 現状評価と今後の重要度 -----	5
4 . 重点的に取り組む施策 -----	21
5 . 公共施設の利用状況と問題点 -----	40
6 . 行政サービスの提供のあり方 -----	52
7 . 自由意見 -----	53

付属資料 アンケート調査票

1 . 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、本市の新しい総合計画の策定にあたって、広く市民から意見を収集し、市民の意見を反映した計画づくりを行うことを目的として実施しました。

(2) 調査項目

- ・ 現状評価と今後の重要度
- ・ 重点的に取り組む施策
- ・ 公共施設の利用状況と問題点
- ・ 行政サービスの提供のあり方
- ・ 回答者の属性
- ・ 自由意見

(3) 調査対象

この調査は、本市にお住まいの 18 歳以上の方から、無作為に抽出した 6,000 名を対象としました。

(4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

(5) 調査期間

平成 17 年 9 月 1 日に発送し、9 月 16 日を投函締め切りとしました。

(6) 回収状況

配布数 6,000 票に対して、有効回収数は 2,842 票、有効回収率は 47.4%でした。

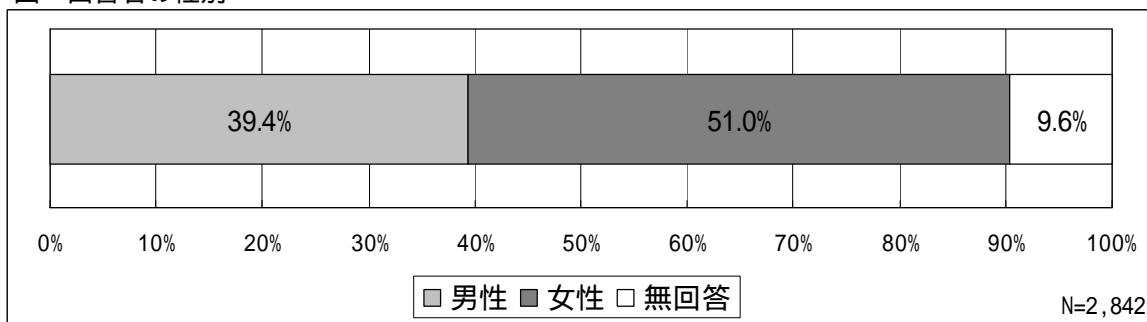
配布数	有効回収数	有効回収率
6,000 票	2,842 票	47.4%

2. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」39.4%、「女性」51.0%となっており、女性の割合が高くなっています。

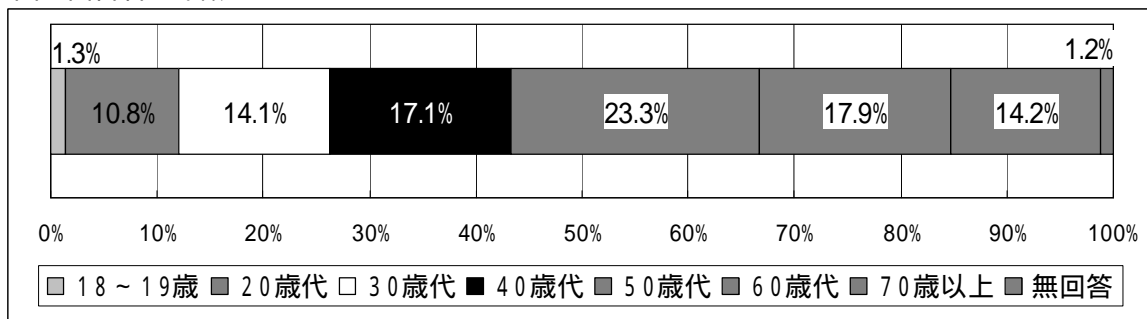
図 回答者の性別



(2) 年齢

回答者の年齢は、「50歳代」が23.3%で最も高い割合を占め、次いで「60歳代」が17.9%、「40歳代」が17.1%となっています。

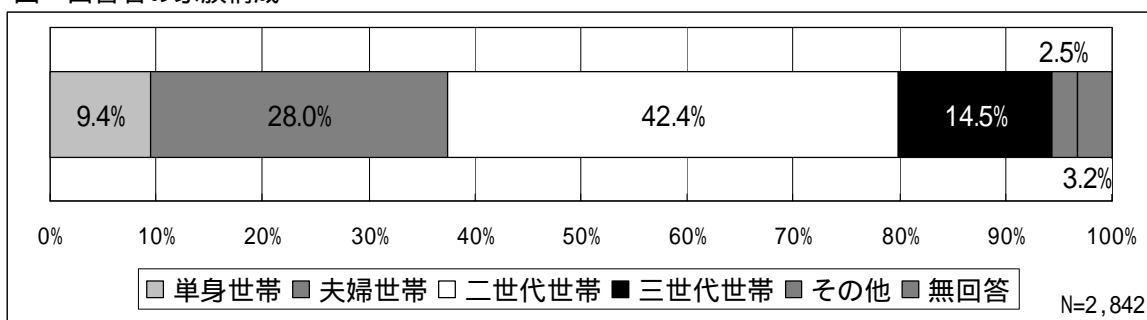
図 回答者の年齢



(3) 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が42.4%で最も高い割合を占め、次いで「夫婦世帯」が28.0%、「三世世代世帯」が14.5%となっています。

図 回答者の家族構成



(4) 居住地

回答者の居住地は、「根城地区」が11.7%で最も高い割合を占め、次いで「下長地区」が11.1%、「白銀地区」が10.7%となっています。

表 回答者の居住地

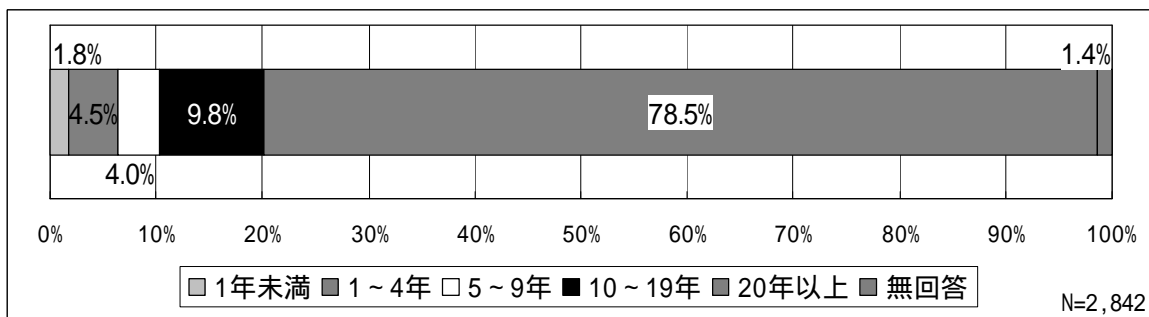
地区	回答者数	割合
三八城地区	146	5.1%
柏崎地区	130	4.6%
吹上地区	177	6.2%
長者地区	151	5.3%
小中野地区	189	6.7%
湊地区	161	5.7%
白銀地区	305	10.7%
鮫地区	93	3.3%
根城地区	333	11.7%
是川地区	84	3.0%
上長地区	124	4.4%
市川地区	159	5.6%
館地区	57	2.0%
豊崎地区	19	0.7%
大館地区	260	9.1%
下長地区	316	11.1%
南浜地区	24	0.8%
南郷地区	75	2.6%
無回答	39	1.4%
合計	2,842	100.0%

N=2,842

(5) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が78.5%を占めています。

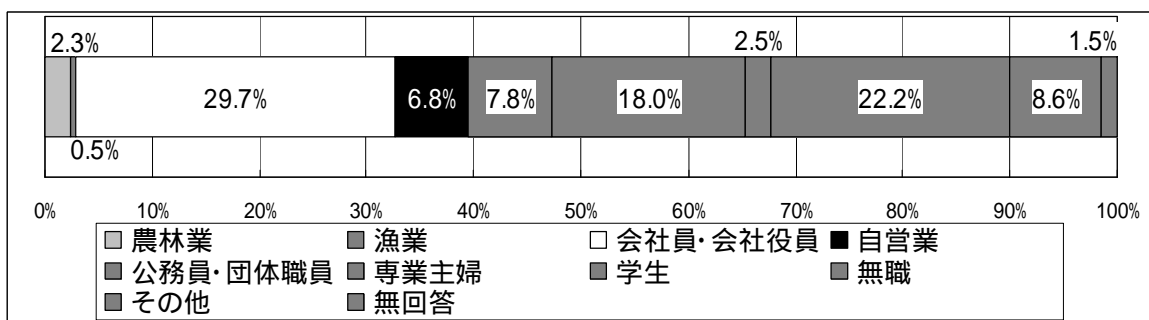
図 回答者の居住年数



(6) 職業

回答者の職業は、「会社員・会社役員」が29.7%と最も高い割合を占め、次いで「無職」が22.2%、「専業主婦」が18.0%となっています。

図 回答者の職業



3. 現状評価と今後の重要度

問1 それぞれの設問項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要であるとお考えですか。

(1) 現状評価(問1)

5つの行政分野で計40の項目について、現状評価を4段階評価で尋ねました。「十分満たされている」、「まあまあ満たされている」を合わせた満足度が最も高いのは「予防接種健康診断の実施」(76.9%)であり、次いで「安全・安心な食生活」(62.3%)、「休日夜間医療・救急医療の充実」(59.4%)の順となっています。医療サービスに対する満足度が高くなっています。

一方、「あまり満たされていない」、「ほとんど満たされていない」を合わせた不満度が最も高いのは「歩行者等に安全な道路整備」(81.1%)であり、次いで「段差の解消等」(78.3%)、「働く女性等の子育て環境」(74.5%)の順となっています。身近な生活空間の安全性に対する不満度が高くなっています。

図 現状評価(1)

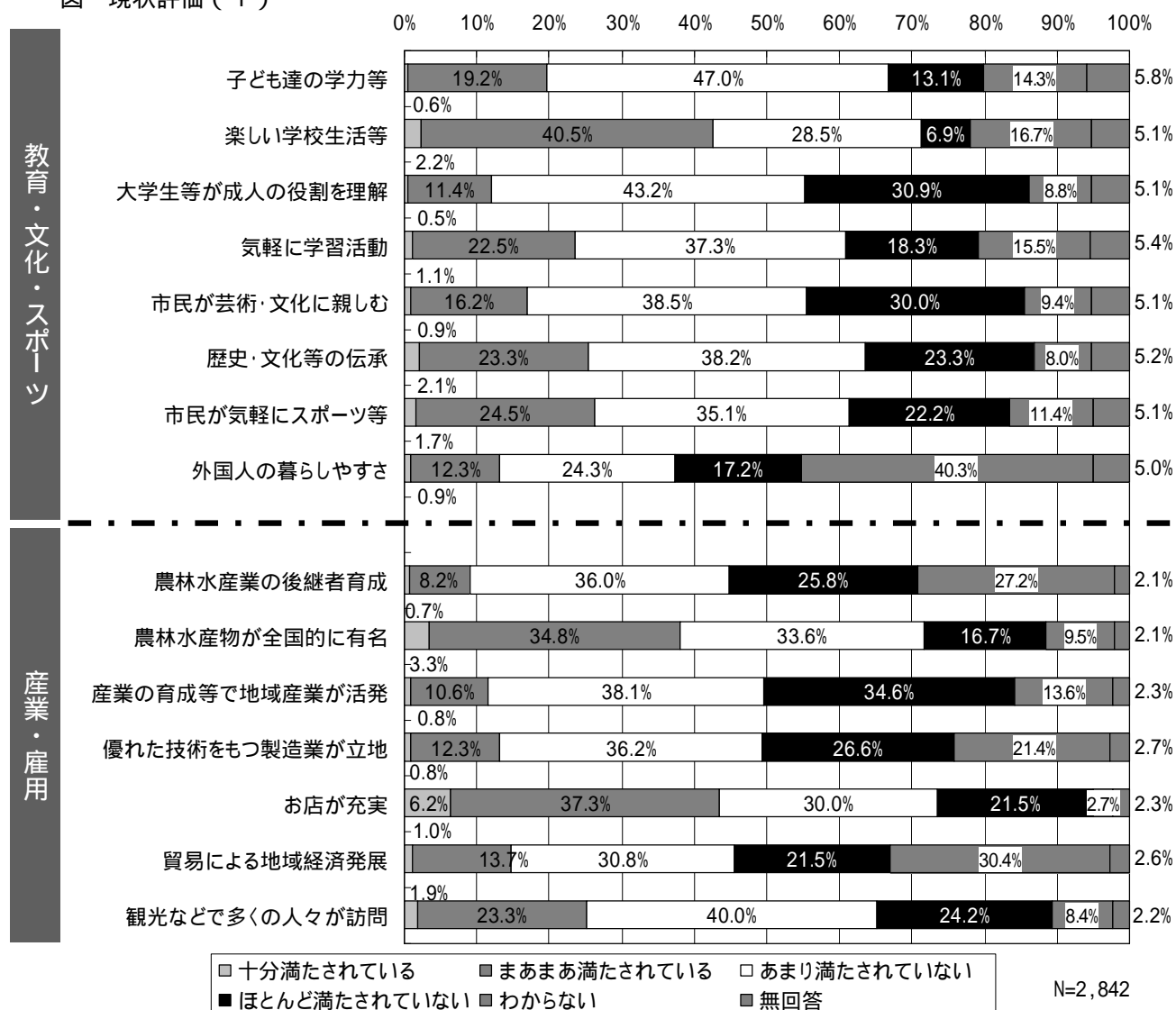
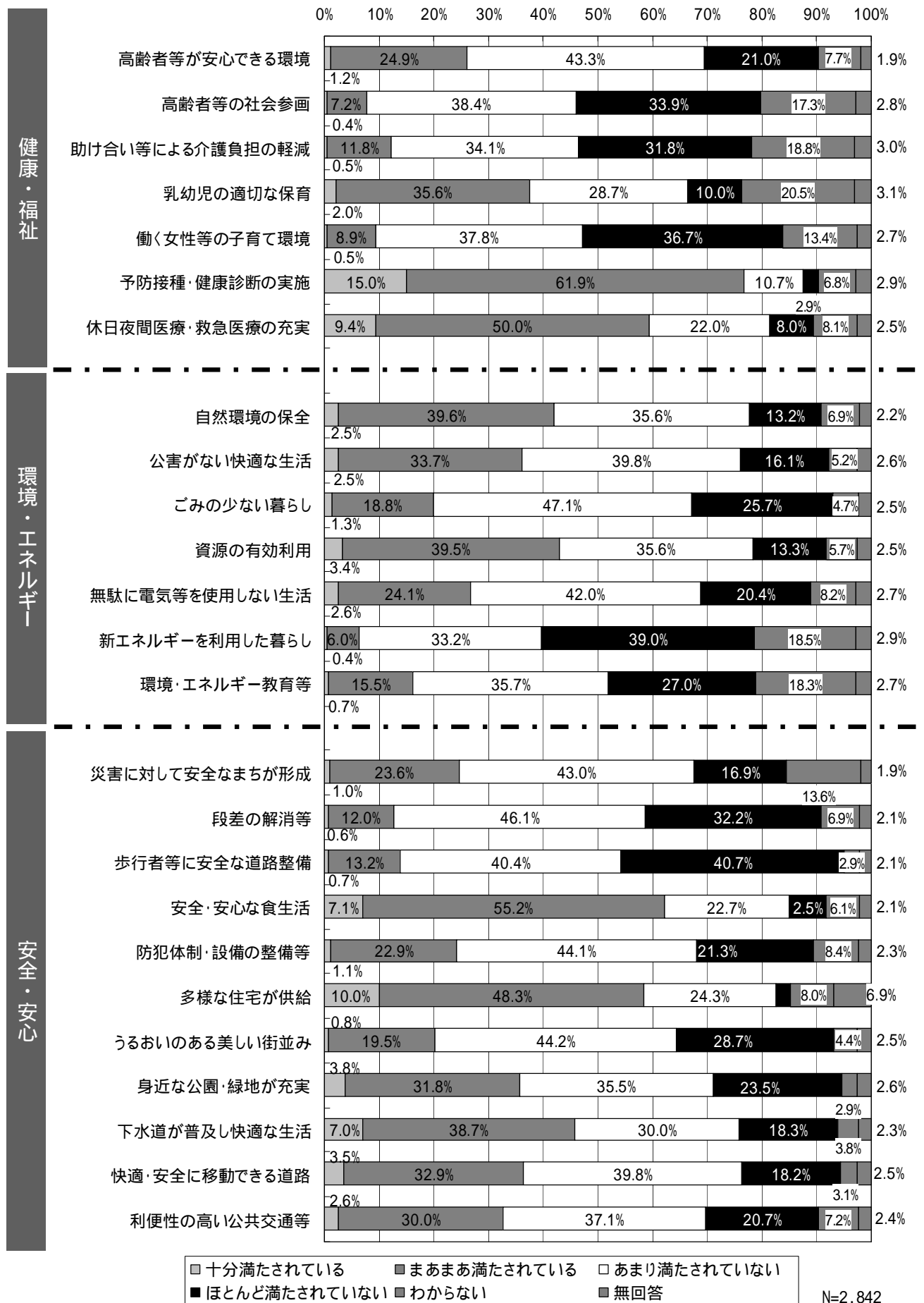


図 現状評価（２）



現状の満足度を年齢別に見ると次のようになっています。

18～29歳では、他の年代で上位にあがっている「楽しい学校生活等」や「お店が充実」が満足度10位内に入らず、他の年代では上位にあがっていない「農林水産物が全国的に有名」(43.3%)、「公害がない快適な生活」(39.8%)、「身近な公園・緑地が充実」(39.2%)があがっています。

表 年齢別の満足度

【18～29歳】

順位		満足度
1	安全・安心な食生活	71.5%
2	予防接種・健康診断の実施	70.9%
3	下水道が普及し快適な生活	55.5%
4	多様な住宅が供給	50.6%
5	農林水産物が全国的に有名	43.3%
6	休日夜間医療・救急医療の充実	42.4%
7	自然環境の保全	42.4%
8	公害がない快適な生活	39.8%
9	身近な公園・緑地が充実	39.2%
10	資源の有効利用	36.0%

【30～39歳】

順位		満足度
1	予防接種・健康診断の実施	78.6%
2	安全・安心な食生活	68.1%
3	多様な住宅が供給	54.9%
4	休日夜間医療・救急医療の充実	52.6%
5	下水道が普及し快適な生活	48.1%
6	楽しい学校生活等	45.4%
7	資源の有効利用	43.9%
8	自然環境の保全	41.9%
9	快適・安全に移動できる道路	41.6%
10	お店が充実	39.9%

【40～49歳】

順位		満足度
1	予防接種・健康診断の実施	77.2%
2	休日夜間医療・救急医療の充実	58.9%
3	安全・安心な食生活	58.5%
4	多様な住宅が供給	53.0%
5	楽しい学校生活等	48.7%
6	自然環境の保全	42.9%
7	下水道が普及し快適な生活	41.5%
8	乳幼児の適切な保育	40.2%
9	資源の有効利用	39.8%
10	快適・安全に移動できる道路	38.4%

【50～59歳】

順位		満足度
1	予防接種・健康診断の実施	80.1%
2	休日夜間医療・救急医療の充実	64.3%
3	安全・安心な食生活	58.8%
4	多様な住宅が供給	55.4%
5	お店が充実	47.1%
6	資源の有効利用	44.8%
7	下水道が普及し快適な生活	43.9%
8	乳幼児の適切な保育	39.5%
9	楽しい学校生活等	39.4%
10	自然環境の保全	37.9%

【60～69歳】

順位		満足度
1	予防接種・健康診断の実施	78.4%
2	休日夜間医療・救急医療の充実	65.1%
3	安全・安心な食生活	61.6%
4	お店が充実	55.1%
5	多様な住宅が供給	50.8%
6	資源の有効利用	48.0%
7	下水道が普及し快適な生活	46.7%
8	自然環境の保全	43.9%
9	楽しい学校生活等	41.4%
10	乳幼児の適切な保育	38.4%

【70歳以上】

順位		満足度
1	予防接種・健康診断の実施	75.4%
2	休日夜間医療・救急医療の充実	68.0%
3	安全・安心な食生活	61.3%
4	多様な住宅が供給	51.6%
5	お店が充実	47.1%
6	楽しい学校生活等	46.4%
7	自然環境の保全	45.4%
8	農林水産物が全国的に有名	44.2%
9	資源の有効利用	42.9%
10	下水道が普及し快適な生活	42.7%

現状の不満度を年齢別に見ると次のようになっています。

18～29歳では、他の年代で上位にあがっている「働く女性等の子育て環境」が10位内に入らず、他の年代では上位にあがっていない「自然環境の保全」(67.4%)があがっています。30～39歳では、40歳以上の年代で上位にあがっている「高齢者の社会参画」が10位内に入らず、40歳以上の年代では上位にあがっていない「無駄に電気等を使用しない生活」(69.6%)があがっています。18～39歳では、環境に関する不満が上位にきています。

また、18～59歳では、「市民が芸術・文化に親しむ」が不満の上位にあがっていますが、60歳以上ではあがっておらず、「防犯体制・設備の整備等」や「助け合いによる介護負担の軽減」が不満の上位にあがっています。

表 年齢別の不満度

【18～29歳】

順位		不満度
1	歩行者等に安全な道路整備	81.1%
2	ごみの少ない暮らし	78.2%
3	大学生等が成人の役割を理解	77.9%
4	段差の解消等	74.4%
5	うるおいのある美しい街並み	72.4%
6	新エネルギーを利用した暮らし	69.2%
7	産業の育成等で地域産業が活発	69.2%
8	市民が芸術・文化に親しむ	68.3%
9	子ども達の学力等	67.7%
10	自然環境の保全	67.4%

【30～39歳】

順位		不満度
1	歩行者等に安全な道路整備	83.3%
2	働く女性等の子育て環境	80.3%
3	大学生等が成人の役割を理解	79.6%
4	ごみの少ない暮らし	79.3%
5	新エネルギーを利用した暮らし	77.6%
6	産業の育成等で地域産業が活発	75.1%
7	段差の解消等	74.8%
8	市民が芸術・文化に親しむ	70.6%
9	無駄に電気等を使用しない生活	69.6%
10	うるおいのある美しい街並み	69.6%

【40～49歳】

順位		不満度
1	段差の解消等	86.7%
2	歩行者等に安全な道路整備	86.4%
3	産業の育成等で地域産業が活発	81.7%
4	働く女性等の子育て環境	81.7%
5	大学生等が成人の役割を理解	79.1%
6	新エネルギーを利用した暮らし	78.2%
7	ごみの少ない暮らし	77.4%
8	うるおいのある美しい街並み	76.6%
9	高齢者等の社会参画	74.1%
10	市民が芸術・文化に親しむ	72.7%

【50～59歳】

順位		不満度
1	歩行者等に安全な道路整備	84.9%
2	段差の解消等	82.4%
3	高齢者等の社会参画	79.3%
4	働く女性等の子育て環境	79.3%
5	うるおいのある美しい街並み	78.7%
6	大学生等が成人の役割を理解	77.4%
7	新エネルギーを利用した暮らし	76.3%
8	市民が芸術・文化に親しむ	75.3%
9	産業の育成等で地域産業が活発	75.1%
10	ごみの少ない暮らし	74.2%

【60～69歳】

順位		不満度
1	段差の解消等	78.0%
2	歩行者等に安全な道路整備	77.6%
3	高齢者等の社会参画	74.1%
4	うるおいのある美しい街並み	72.9%
5	働く女性等の子育て環境	72.7%
6	産業の育成等で地域産業が活発	70.8%
7	大学生等が成人の役割を理解	70.8%
8	新エネルギーを利用した暮らし	69.2%
9	ごみの少ない暮らし	67.1%
10	防犯体制・設備の整備等	65.9%

【70歳以上】

順位		不満度
1	歩行者等に安全な道路整備	73.0%
2	高齢者等の社会参画	72.5%
3	段差の解消等	70.7%
4	うるおいのある美しい街並み	65.8%
5	働く女性等の子育て環境	63.5%
6	産業の育成等で地域産業が活発	62.3%
7	ごみの少ない暮らし	62.3%
8	助け合い等による介護負担の軽減	61.8%
9	大学生等が成人の役割を理解	61.8%
10	新エネルギーを利用した暮らし	61.3%

(2) 今後の重要度(問1)

5つの行政分野で計40の項目について、今後の重要度を4段階評価で尋ねました。「特に重要である」、「やや重要である」を合わせた重要度が最も高かったのは「高齢者等が安心できる環境」(91.2%)、次いで「災害に対して安全なまちが形成」(90.8%)、「休日夜間医療・救急医療の充実」(90.2%)の順となっています。暮らしの安全・安心に関係の深い項目で重要度が高くなっています。

また、重要度に関しては、7割以上が重要であるとの回答する項目が多くを占めています。逆に重要度が7割未満となっている項目は、「お店が充実」(69.7%)、「市民が芸術・文化に親しむ」(68.8%)、「市民が気軽にスポーツ等」(59.5%)、「多様な住宅が供給」(58.3%)、「外国人の暮らしやすさ」(51.7%)となっています。

図 今後の重要度(1)

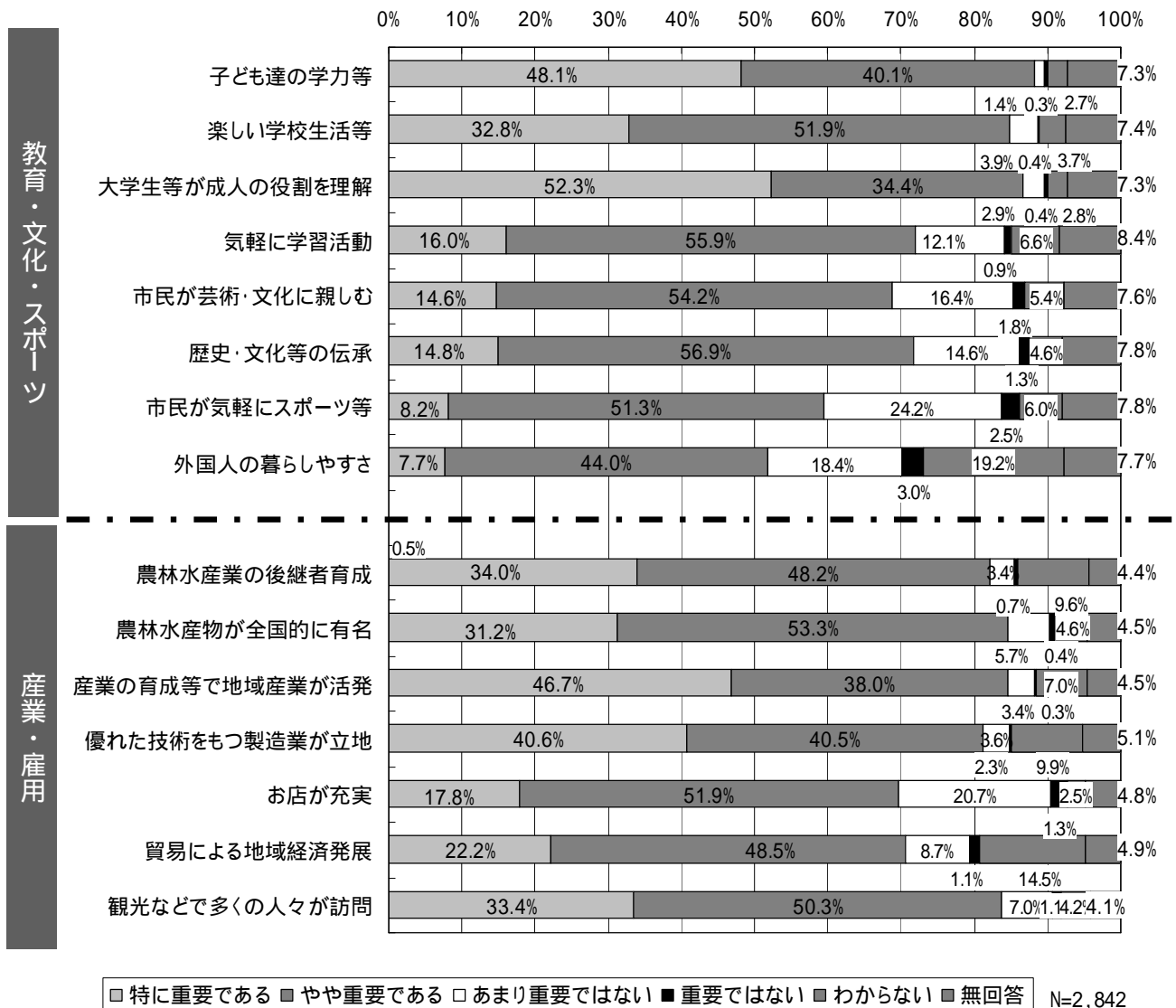
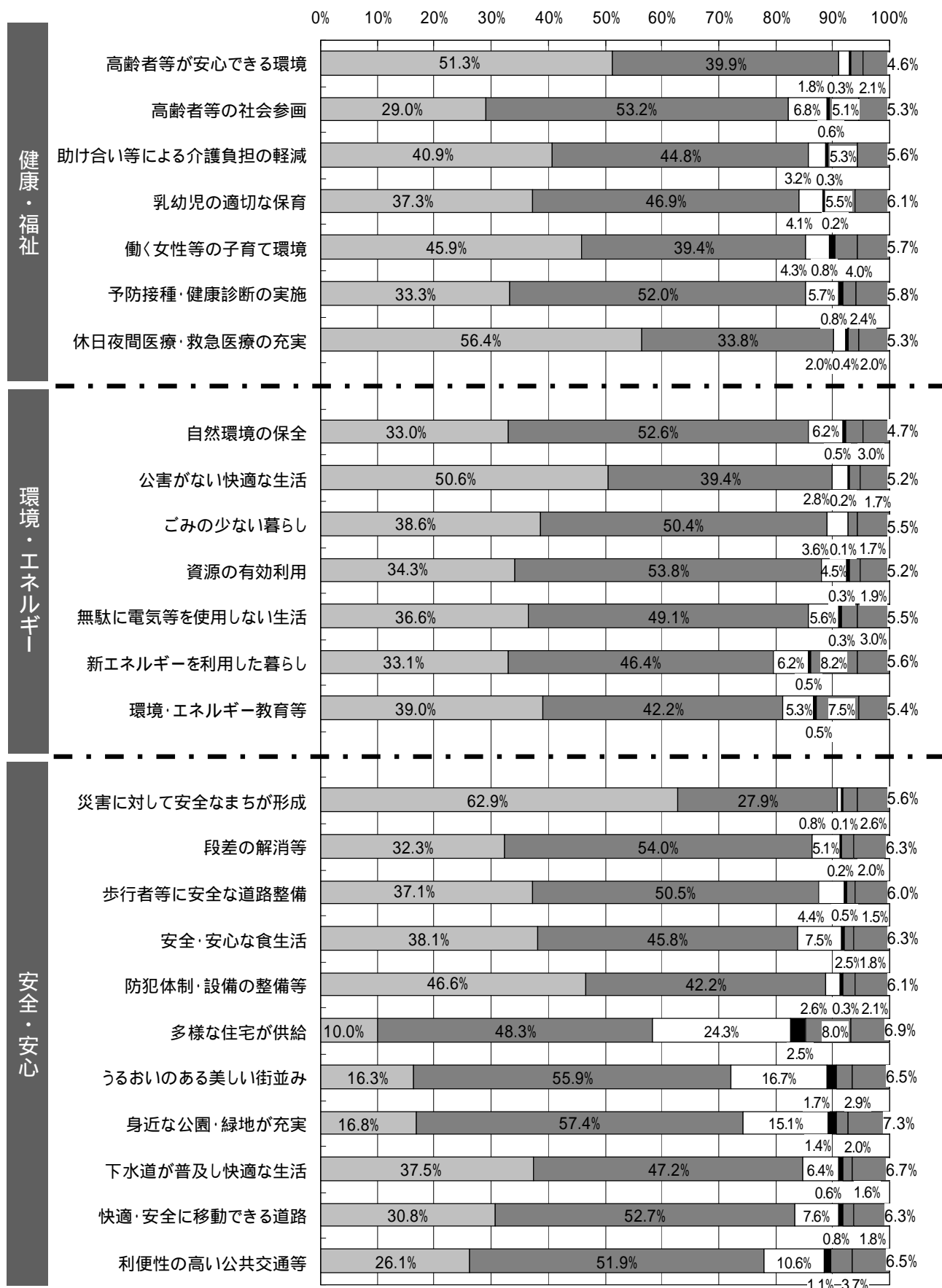


図 今後の重要度（２）



□ 特に重要である ■ やや重要である □ あまり重要ではない ■ 重要ではない ■ わからない ■ 無回答

N=2,842

今後の重要度を年齢別に見ると、1～5位に入っている項目は概ね一致しています。

一方、18～29歳では、他の世代であげられていない項目として「働く女性の子育て環境」(89.8%)が上位に入っています。また、30～39歳では、他の世代であげられていない項目として「乳幼児の適切な保育」(91.0%)が上位に入っています。同じ子育てというテーマでも、世代によって重要視する項目に差異が見られます。

表 年齢別の重要度

【18～29歳】

順位		重要度
1	高齢者等が安心できる環境	94.2%
2	子ども達の学力等	92.2%
3	災害に対して安全なまちが形成	91.9%
4	休日夜間医療・救急医療の充実	90.7%
5	段差の解消等	90.7%
6	働く女性等の子育て環境	89.8%
7	ごみの少ない暮らし	89.8%
8	大学生等が成人の役割を理解	88.4%
9	防犯体制・設備の整備等	88.4%
10	助け合い等による介護負担の軽減	88.4%

【30～39歳】

順位		重要度
1	災害に対して安全なまちが形成	95.5%
2	高齢者等が安心できる環境	94.0%
3	防犯体制・設備の整備等	93.0%
4	休日夜間医療・救急医療の充実	92.8%
5	公害がない快適な生活	92.5%
6	子ども達の学力等	91.8%
7	ごみの少ない暮らし	91.8%
8	乳幼児の適切な保育	91.0%
9	資源の有効利用	91.0%
10	段差の解消等	90.8%

【40～49歳】

順位		重要度
1	災害に対して安全なまちが形成	95.1%
2	公害がない快適な生活	95.1%
3	高齢者等が安心できる環境	93.6%
4	休日夜間医療・救急医療の充実	93.2%
5	子ども達の学力等	92.8%
6	ごみの少ない暮らし	92.6%
7	資源の有効利用	92.2%
8	防犯体制・設備の整備等	92.0%
9	歩行者等に安全な道路整備	92.0%
10	大学生等が成人の役割を理解	91.2%

【50～59歳】

順位		重要度
1	休日夜間医療・救急医療の充実	93.4%
2	公害がない快適な生活	92.6%
3	高齢者等が安心できる環境	92.5%
4	災害に対して安全なまちが形成	91.9%
5	子ども達の学力等	91.0%
6	防犯体制・設備の整備等	90.8%
7	ごみの少ない暮らし	90.3%
8	大学生等が成人の役割を理解	89.6%
9	助け合い等による介護負担の軽減	89.4%
10	資源の有効利用	89.4%

【60～69歳】

順位		重要度
1	高齢者等が安心できる環境	90.8%
2	災害に対して安全なまちが形成	90.4%
3	公害がない快適な生活	90.4%
4	ごみの少ない暮らし	90.4%
5	休日夜間医療・救急医療の充実	89.6%
6	防犯体制・設備の整備等	88.6%
7	資源の有効利用	88.6%
8	下水道が普及し快適な生活	87.8%
9	農林水産物が全国的に有名	87.8%
10	無駄に電気等を使用しない生活	87.5%

【70歳以上】

順位		重要度
1	高齢者等が安心できる環境	84.4%
2	休日夜間医療・救急医療の充実	81.9%
3	公害がない快適な生活	81.4%
4	災害に対して安全なまちが形成	81.1%
5	防犯体制・設備の整備等	80.6%
6	歩行者等に安全な道路整備	80.4%
7	予防接種・健康診断の実施	79.9%
8	資源の有効利用	79.9%
9	ごみの少ない暮らし	79.7%
10	子ども達の学力等	79.2%

(3) 行政分野内での優先順位 (問 1)

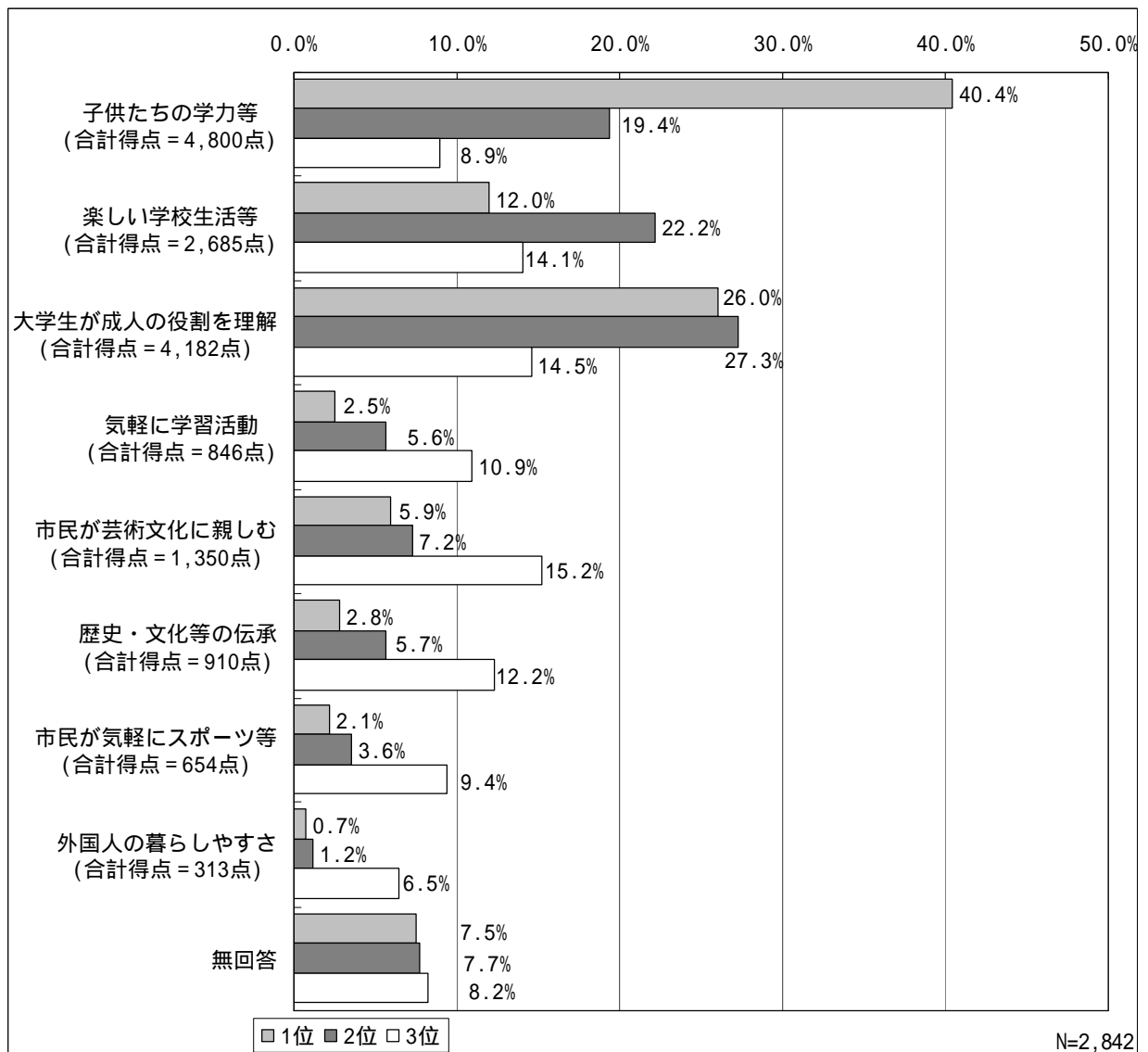
問 1 各行政分野の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

1) 教育・文化・スポーツ分野

教育・文化・スポーツ分野について、今後の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「子ども達の学力等」(4,800点)が最も高く、次いで「大学生等が成人の役割を理解」(4,182点)、「楽しい学校生活等」(2,685点)の順となっています。

特に、「子ども達の学力等」については、第1位と回答した割合が約4割であり、大きな関心が寄せられていることがうかがえます。

図 教育・文化・スポーツ分野の優先順位



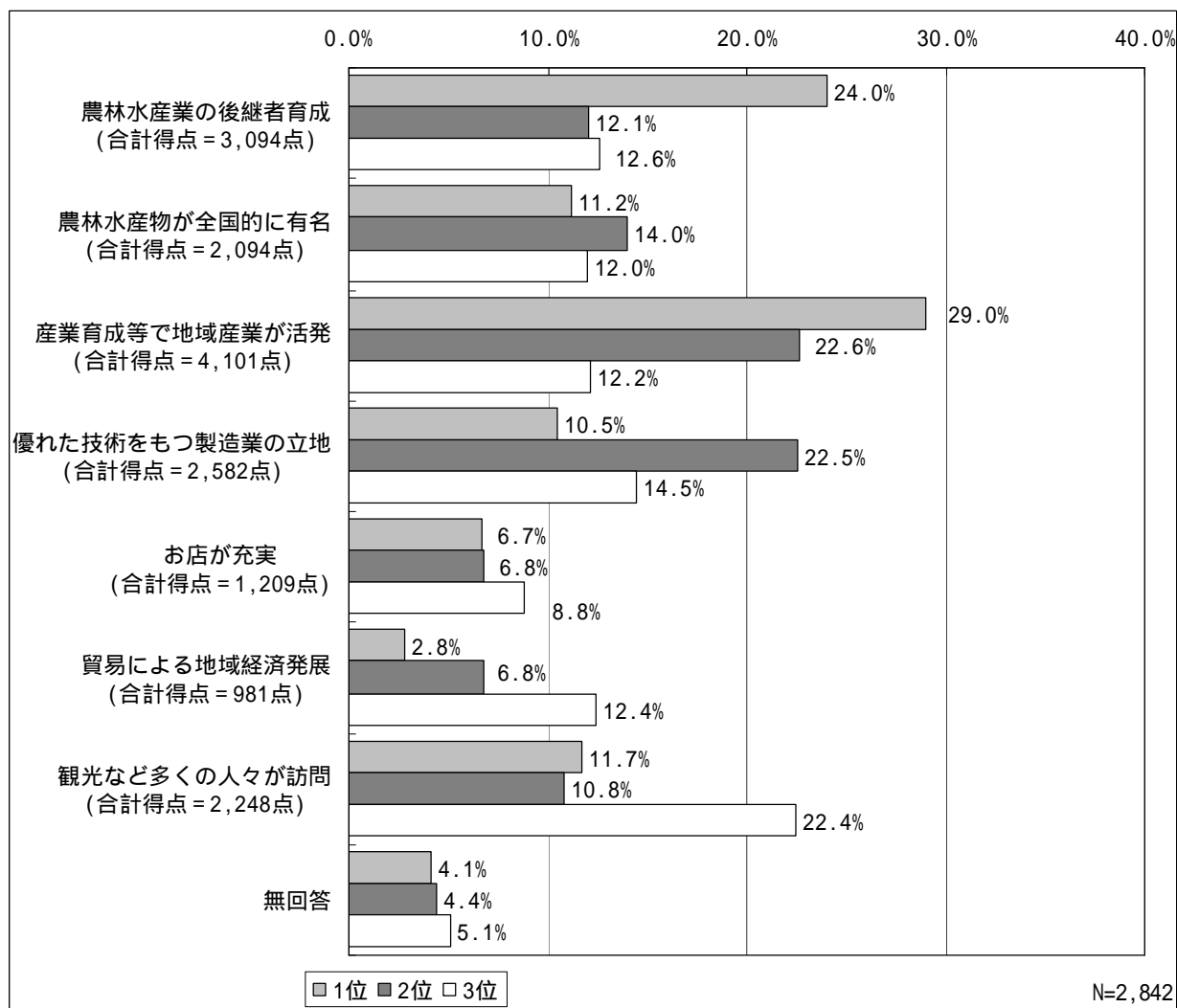
図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

2) 産業・雇用分野

産業・雇用分野について、今後の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「産業育成等で地域産業が活発」(4,101点)が最も高く、次いで「農林水産業の後継者育成」(3,094点)、「優れた技術をもつ製造業の立地」(2,582点)の順となっています。

「産業育成等で地域産業が活発」や「優れた技術をもつ製造業の立地」の得点が高いのは、地域経済の低迷が背景にあると考えられます。

図 産業・雇用分野の優先順位



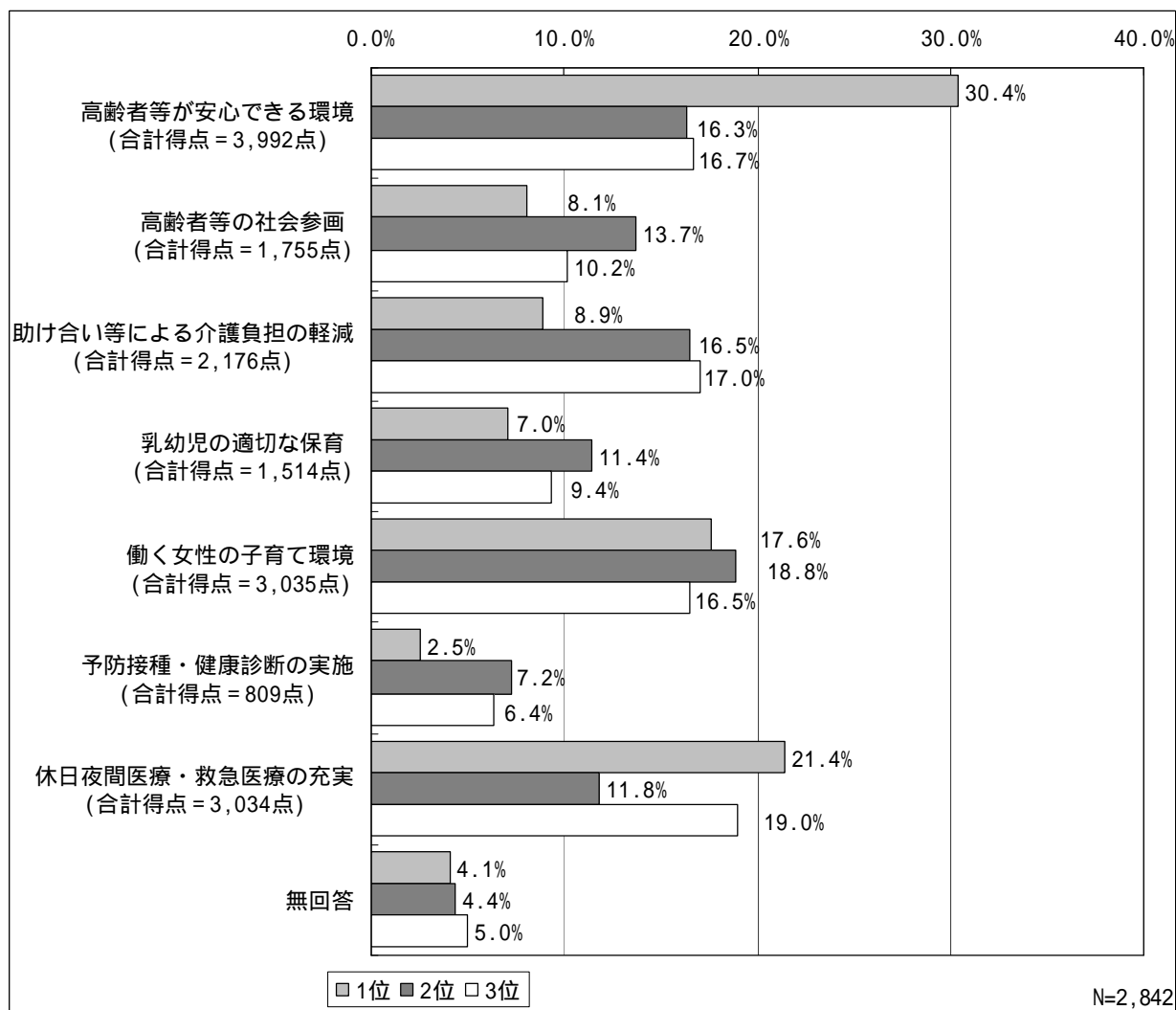
図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

3) 健康・福祉分野

健康・福祉分野について、今後の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「高齢者等が安心できる環境」(3,992点)が最も高く、次いで「働く女性の子育て環境」(3,035点)「休日夜間医療・救急医療の充実」(3,034点)の順となっています。

特に高齢者等が安心できる環境については、第1位と回答した割合が約3割であり、高齢社会が到来する中で大きな関心が寄せられていることがうかがえます。

図 健康・福祉分野の優先順位



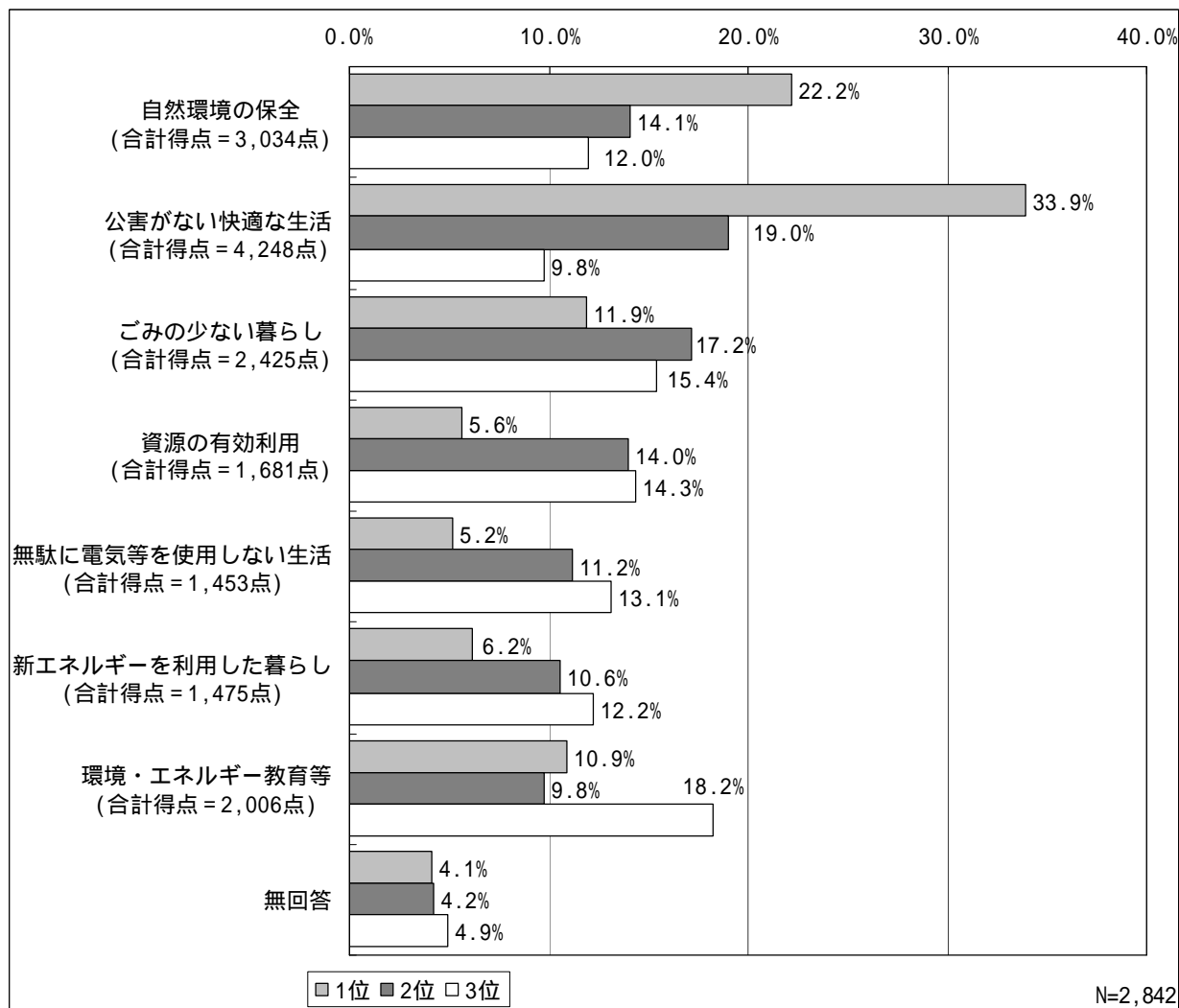
図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

4) 環境・エネルギー分野

環境・エネルギー分野について、今後の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「公害がない快適な生活」(4,248点)が最も高く、次いで「自然環境の保全」(3,034点)、「ごみの少ない暮らし」(2,425点)の順となっています。

特に「公害がない快適な生活」については、第1位と回答した割合が約3割であり、生活に直接的に影響のある環境問題に高い関心があることがうかがえます。

図 環境・エネルギー分野の優先順位



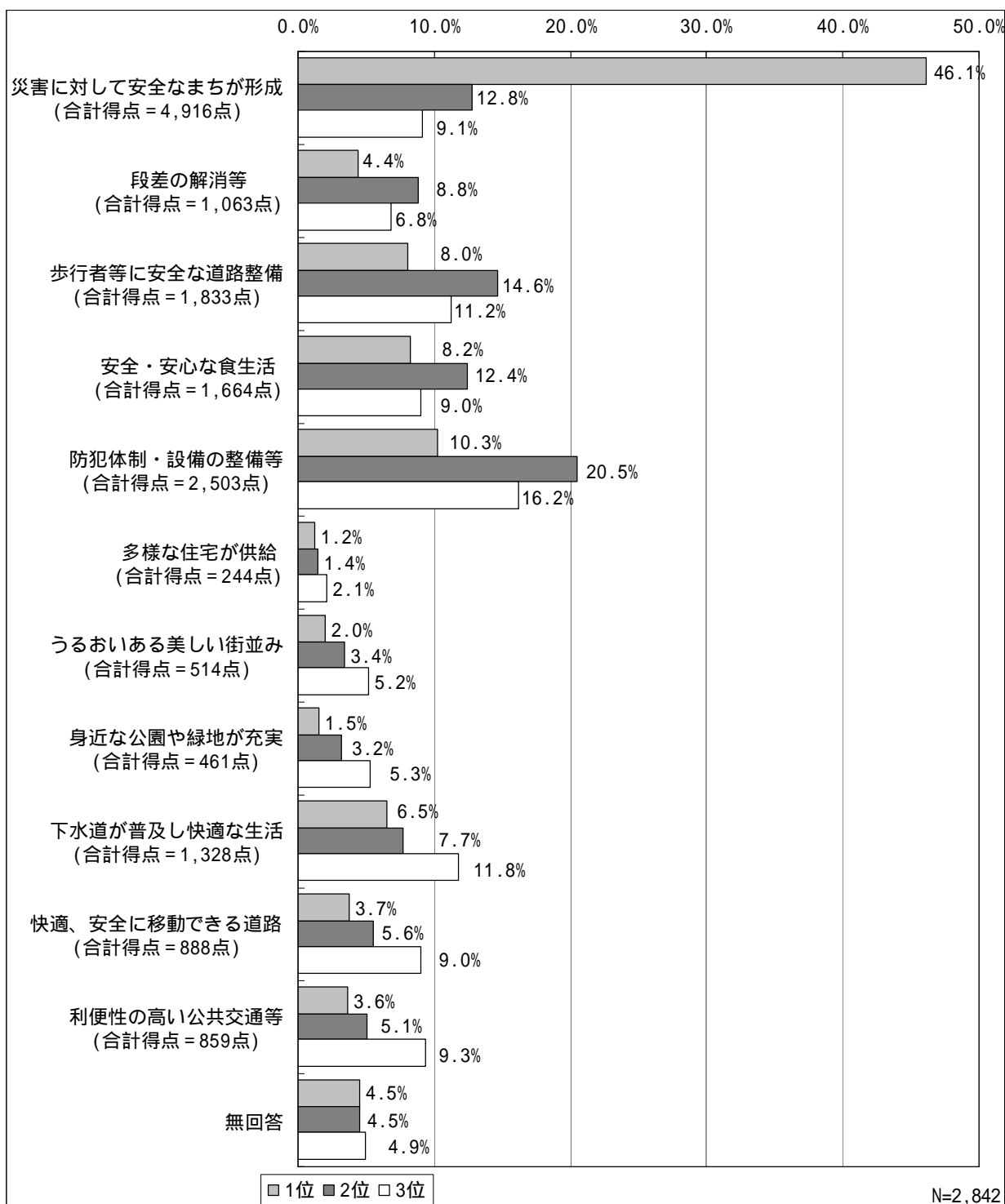
図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

5) 安全・安心分野

安全・安心分野について、今後の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「災害に対して安全なまちが形成」(4,916点)が最も高く、次いで「防犯体制・設備の整備等」(2,503点)、「歩行者に安全な道路整備」(1,833点)の順となっています。

特に「災害に対して安全なまちが形成」については、第1位と回答した割合が約5割弱であり、これまで地震災害等を経験してきたことが背景にあると考えられます。

図 安全・安心分野の優先順位



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

(4) 現状評価・重要度による各項目の相対評価(問1)

現状評価と重要度を2軸として加重平均を取り、各項目の偏差値を出しました。偏差値50を平均とし、この平均値で区分される4つの領域のどこに分布しているかで、各項目の相対評価を行います。

1) 現状評価が高く重要度が高い項目

現状評価が高く重要度が高い項目は、現在の水準を今後とも継続して維持・向上すべき領域として位置づけられます。

この領域は、多くの項目が中心付近に集まっており、現状評価と重要度の偏差値のいずれかが60以上のものを取り上げると次のような項目となっています。

教育・文化・スポーツ分野では「楽しい学校生活等」、健康・福祉分野では「予防接種・健康診断の実施」、「休日夜間医療・救急医療の充実」、環境・エネルギー分野では「公害がない快適な生活」、安全・安心分野では「安全・安心な食生活」、「災害に対して安全なまちが形成」となっています。

2) 現状評価が低く重要度が高い項目

現状評価が低く重要度が高い項目は、市民の視点からの重点課題であると位置づけられます。

現状評価の偏差値が40未満又は重要度の評価が60以上のものを取り上げると次のような項目となっています。

教育・文化・スポーツ分野では「大学生等が成人の役割を理解」、「子ども達の学力等」、産業・雇用分野では「産業育成等で地域産業が活発」、「農林水産業の後継者育成」、健康・福祉分野では「働く女性の子育て環境」、「助け合い等による介護負担の軽減」、「高齢者等が安心できる環境」、環境・エネルギー分野では「新エネルギーを利用した暮らし」、安全・安心分野では「歩行者に安全な道路整備」となっています。

3) 現状評価が高く重要度が低い項目

現状評価が高く重要度が低い項目は、一定の成果が得られており、行政が中心となって取り組むべき施策としての必要性を検証すべき領域として位置づけられます。なお、この領域に属する項目はあまり多くなく、特に教育・文化・スポーツ分野、健康・福祉分野、環境・エネルギー分野は該当する項目がありません。

現状評価の偏差値が60以上又は重要度の評価が40未満のものを取り上げると次のような項目となっています。

産業・雇用分野では「お店が充実」、安全・安心分野では「多様な住宅が供給」、「身近な公園・緑地が充実」となっています。

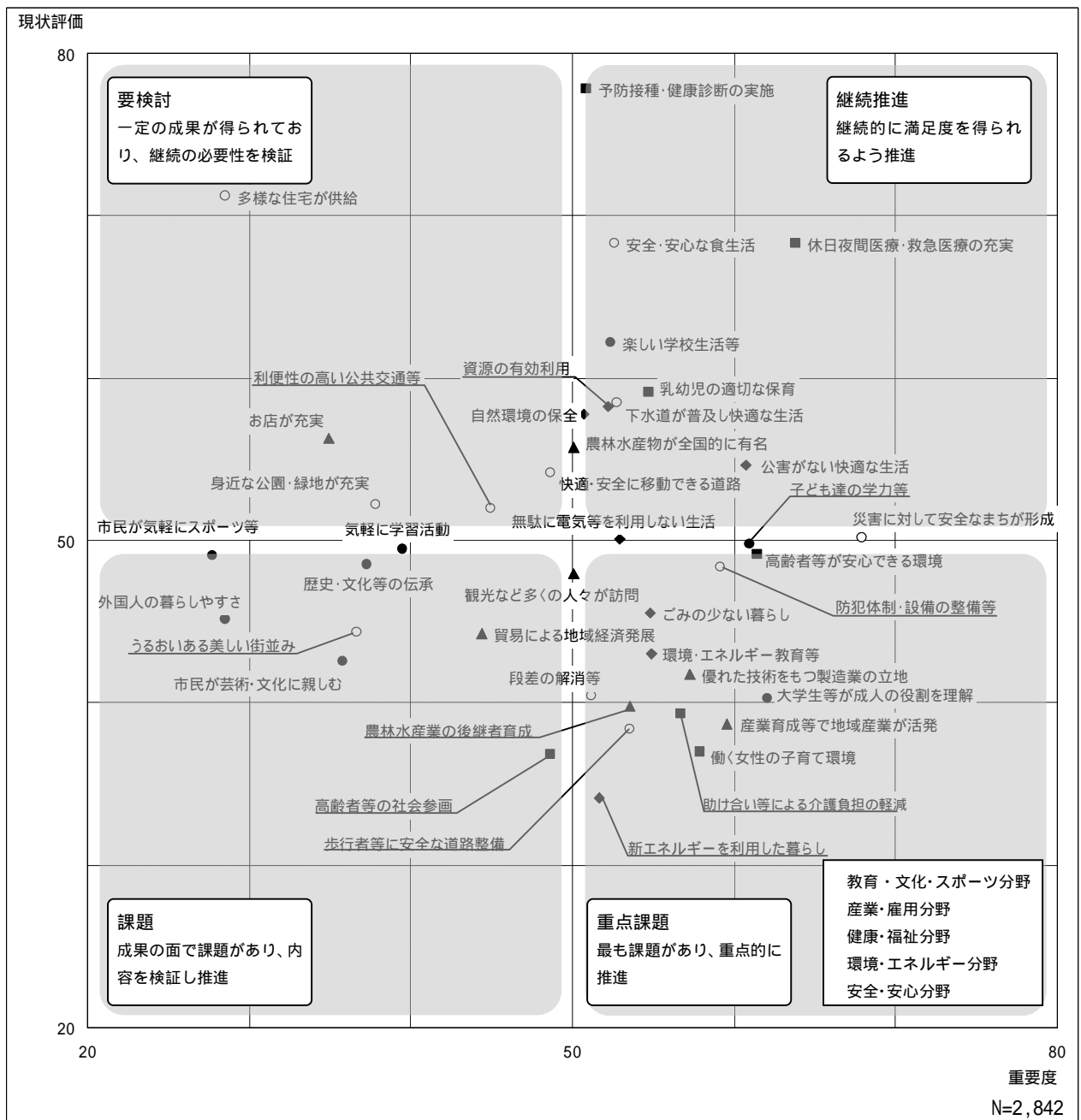
4) 現状評価が低く重要度が低い項目

現状評価が低く重要度が低い項目は、重要度が相対的に低いという点で、その内容も含めて、必要性を検証する領域として位置づけられます。ただし、当該項目が本来的に必要なかどうかということではなく、必要性が市民に浸透していない場合もあることに留意する必要があります。

現状評価と重要度の偏差値のいずれかが40未滿のものを取り上げると次のような項目となっています。

教育・文化・スポーツ分野では、「市民が気軽にスポーツ等」、「外国人の暮らしやすさ」、「芸術・文化に親しむ」、「歴史・文化等の伝承」、健康・福祉分野では、「高齢者等の社会参画」となっています。

図 現状評価と重要度の散布図



(5) 行政分野の優先順位

問2 問1の5つの行政分野のうち、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。

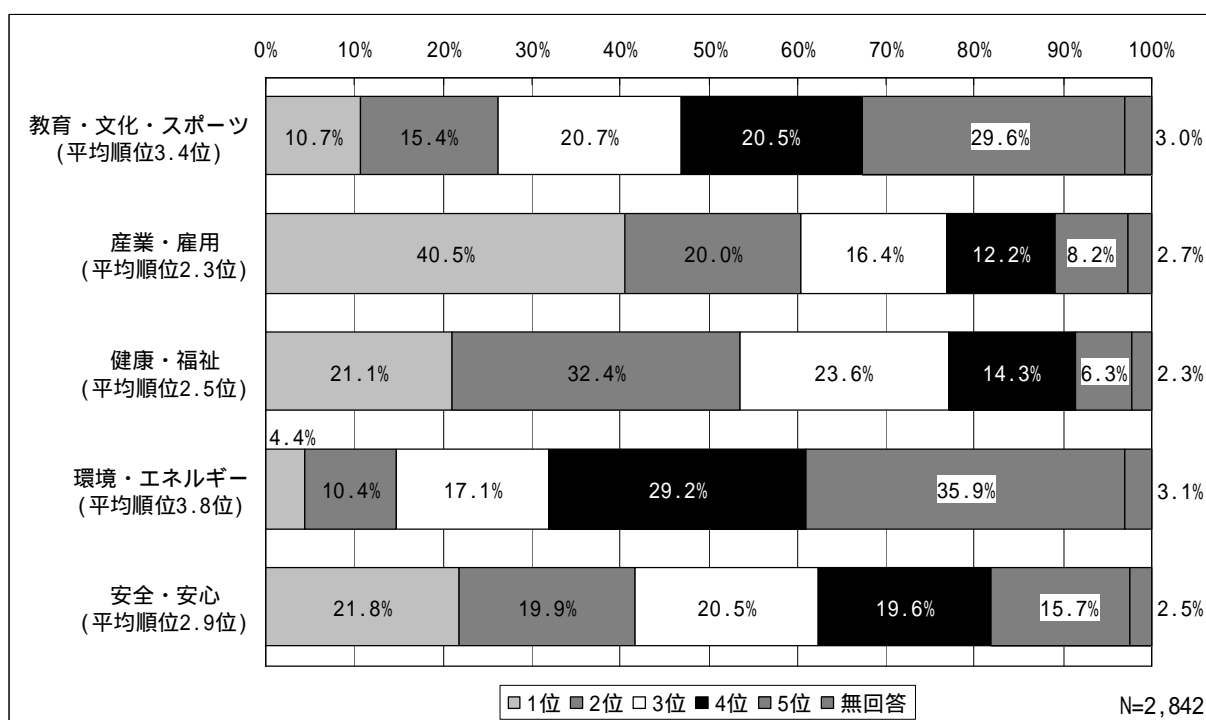
5つの行政分野について、今後の優先順位の1～5位を尋ねました。

「1位」、「2位」を合わせた割合が最も高かったのは「産業・雇用」(60.5%)となっており、次いで「健康・福祉」(53.5%)、「安全・安心」(41.7%)の順となっています。

また、平均順位についても、「産業・雇用」(2.3位)、「健康・福祉」(2.5位)、「安全・安心」(2.9位)の順となっています。

生活の経済基盤としての「産業・雇用」、生活の保障としての「健康・福祉」、生活の利便性としての「安全・安心」といった分野への優先順位が高くなっているものと考えられます。

図 行政分野の優先順位



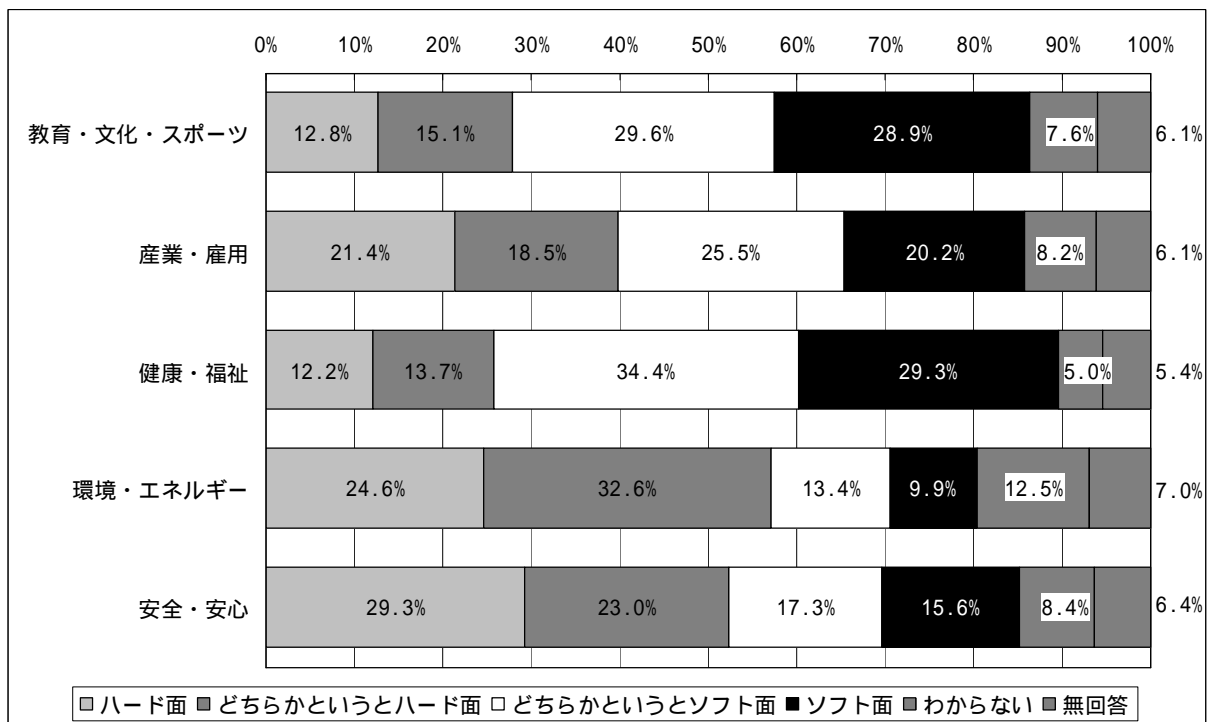
(6) 力を入れるべき施策手法

問3 問1の5つの行政分野について、ハード面とソフト面のどちらに力を入れるべきだとお考えですか。

各行政分野について、力を入れるべき施策手法を尋ねました。「ソフト面」、「どちらかというソフト面」を合わせた割合が最も高かったのは「健康・福祉」(63.7%)となっています。施設整備といったハード的な対応よりも、人材育成や仕組みづくりといったソフト面での対応が重視されています。

また、「ハード面」、「どちらかというハード面」を合わせた割合が最も高かったのは「環境・エネルギー」(57.2%)となっています。「環境・エネルギー」では、都市基盤整備が含まれる「安全・安心」よりもハード系の投資を容認する意見が多く、公共投資の対象について従来型のものから意識が変化しつつあると考えられます。

図 力を入れるべき施策手法



N=2,842

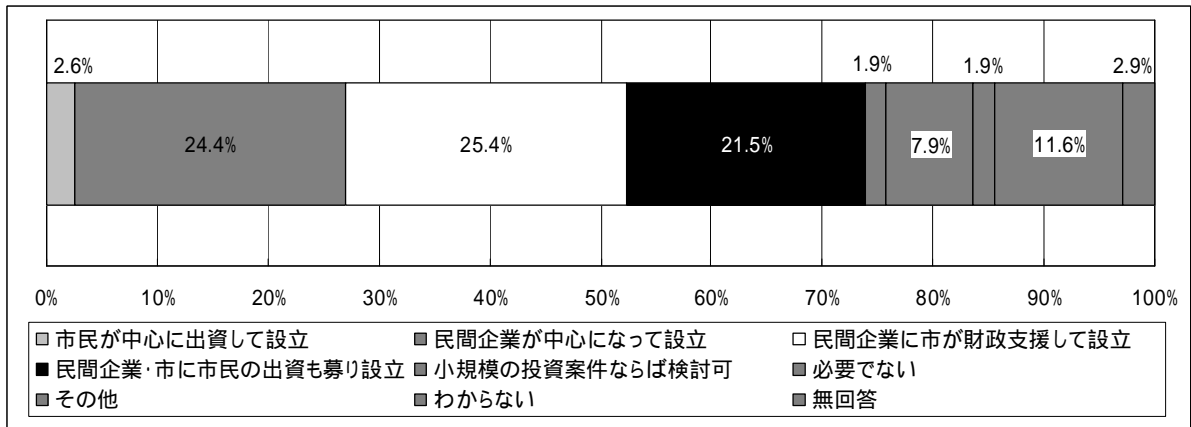
4 . 重点的に取り組む施策

(1) 環境・自然エネルギー

問4(1) 現在、「市民エネルギー会社」の設立が検討されていますが、このことについてどのようにお考えですか。

市民エネルギー会社の設立について、どのように考えているか尋ねました。「必要でない」と回答したのは7.9%にとどまっています。また、事業主体については意見が分かれており、「民間企業に市が財政支援して設立」(25.4%)、「民間企業が中心になって設立」(24.4%)、「民間企業・市に市民の出資も募り設立」(21.5%)となっています。

図 市民エネルギー会社の設立

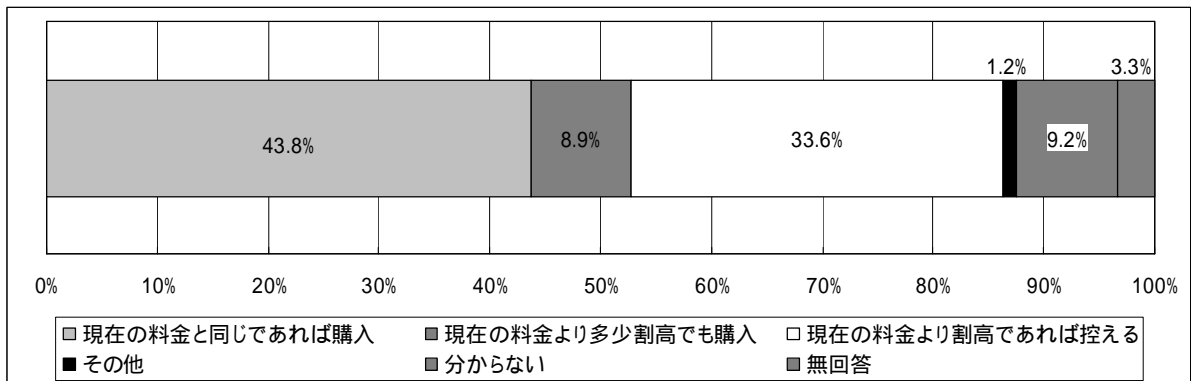


N=2,842

問4(2) 市民エネルギー会社が供給する電力の購入について、どのようにお考えですか

市民エネルギー会社が供給する電力の購入意向について尋ねました。「現在の料金と同じであれば購入」が43.8%と最も高い割合を占めています。一方、「現在の料金より割高であれば控える」は33.6%となっています。市民エネルギー会社の必要性については市民から一定の理解を得ていますが、実際にエネルギーを購入するかどうかは、新たな経済的負担を伴わないことが条件となっています。

図 電力の購入



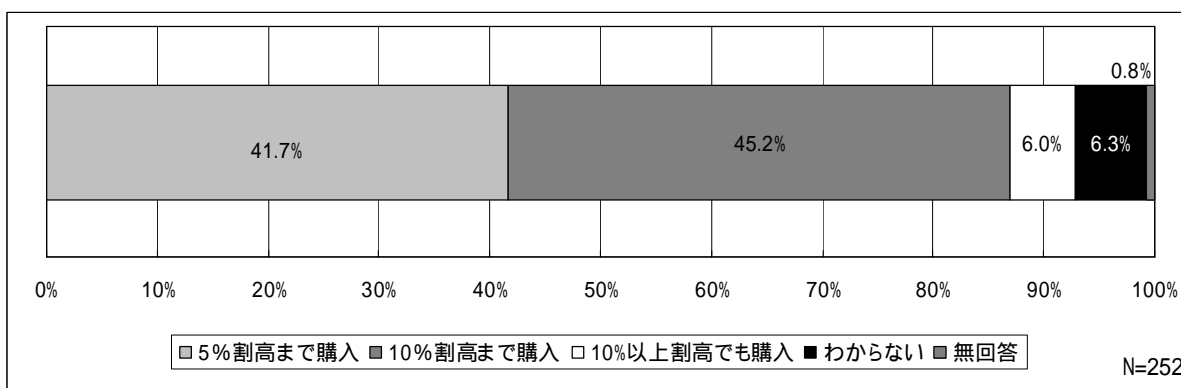
N=2,842

問4 - 1 現在の電力料金と比較して、どれくらいまでの割高であれば、購入したいと思いますか。

問4(2)で「現在の料金より多少割高でも購入」と答えた人に対して、現在の料金と比較してどのくらいまでの割高であれば購入するか尋ねました。「10%割高までなら購入」が45.2%と最も高い割合を占め、次いで「5%割高までなら購入」が41.7%となっています。

経済的負担が多少増えても、環境にやさしいエネルギーを購入するという意向のある市民は、10%程度の割高までは許容する意向を示しています。

図 現在の電力料金との比較



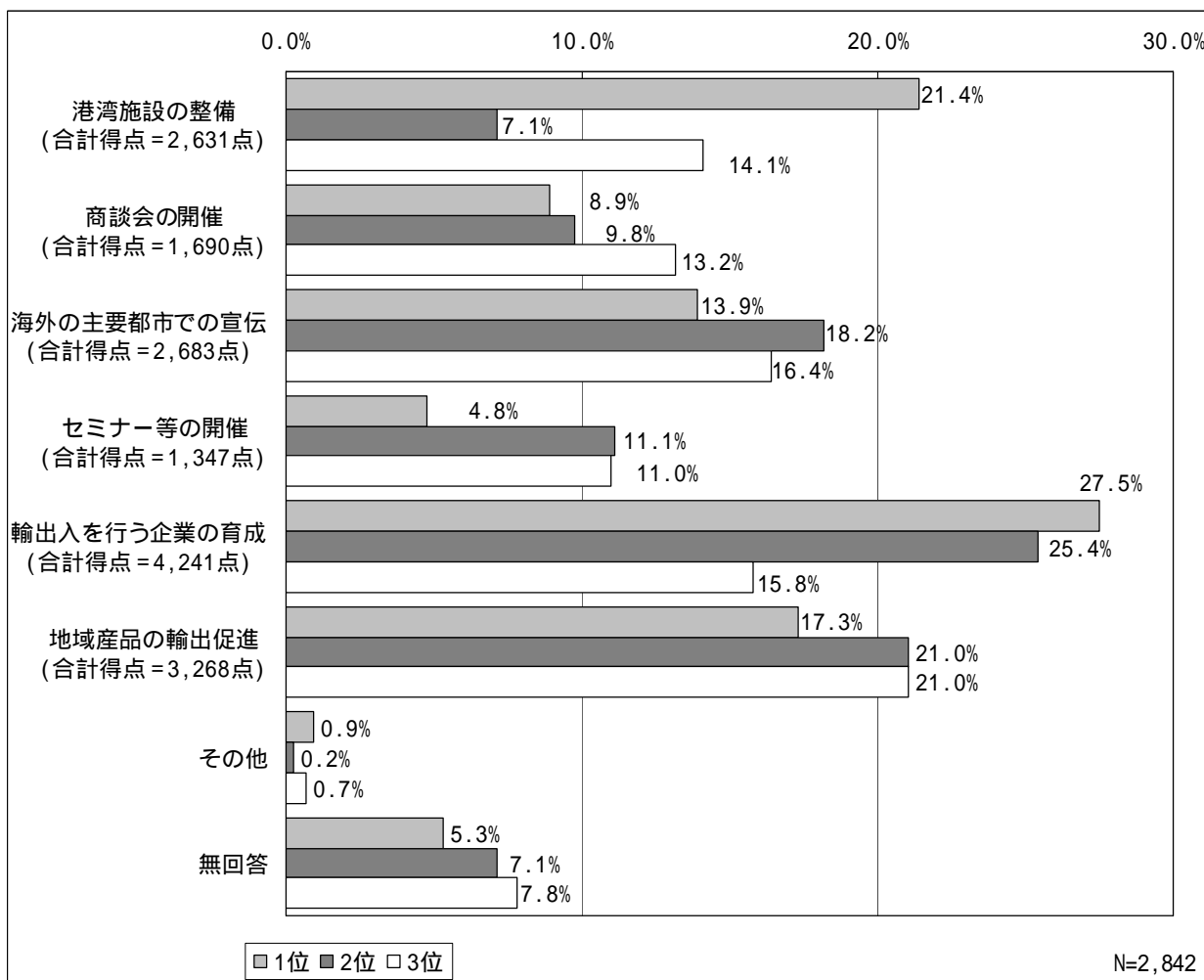
(2) 八戸港を活かした国際物流

問5 「八戸港を活かした国際物流」の拠点づくりのための施策のうち、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

八戸港を活かした国際物流について、施策の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「輸出入を行う企業の育成」(4,241点)が最も高く、次いで「地域産品の輸出促進」(3,268点)、「海外の主要都市での宣伝」(2,683点)の順となっています。

企業の育成や地域産品の輸出といった直接的に地域経済に波及効果がある項目に対する期待が高いものと考えられます。

図 八戸港を活かした国際物流



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

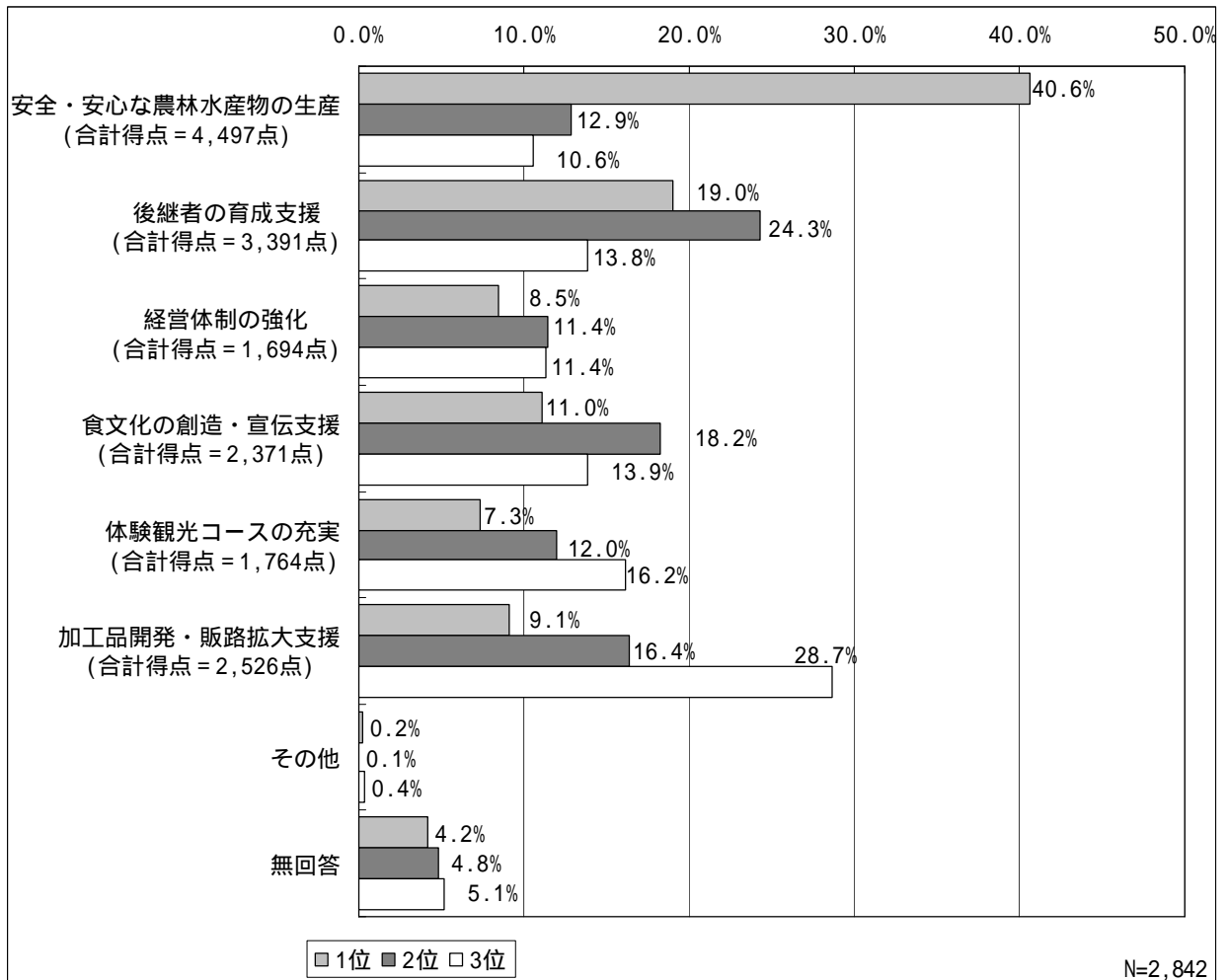
(3) 食供給産業

問6 食文化に着目した産業振興として、水産業・農業施策について優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

食文化に着目した産業振興について、施策の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「安全・安心な農林水産物の生産」(4,497点)が最も高く、次いで「後継者の育成支援」(3,391点)、「加工品開発・販路拡大支援」(2,526点)の順となっています。

食生活において安全・安心が大きな付加価値となり得ることが示されています。

図 食供給産業



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

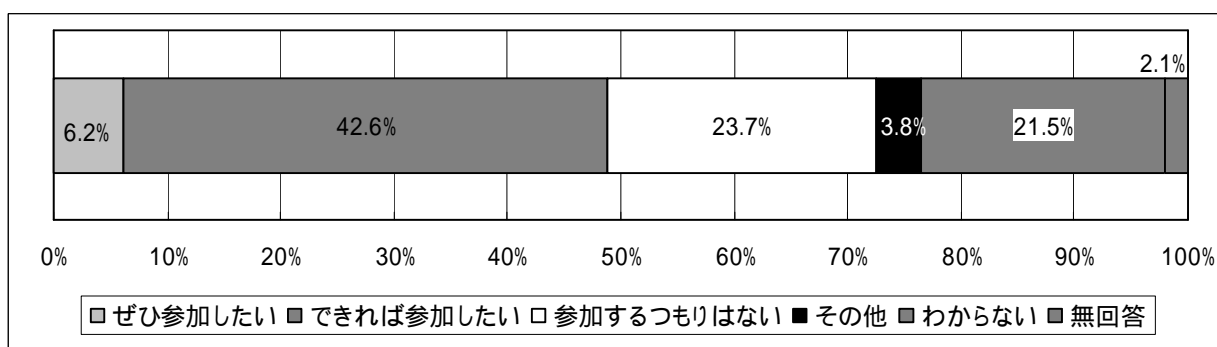
(4) 観光振興

問7 新しい観光や地域間交流の振興に参加する意欲はありますか。

新しい観光や地域間交流の振興について、参加意欲を尋ねました。「できれば参加したい」が42.6%と最も高い割合を占めており、「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」を合わせた観光振興に参加したい人は、48.8%と約半数を占めています。

観光事業者だけに観光振興を任せるのではなく、自ら参加することで観光振興に貢献したいという市民が5割弱を占めており、観光振興に対する関心の高さがうかがえます。

図 観光振興



N=2,842

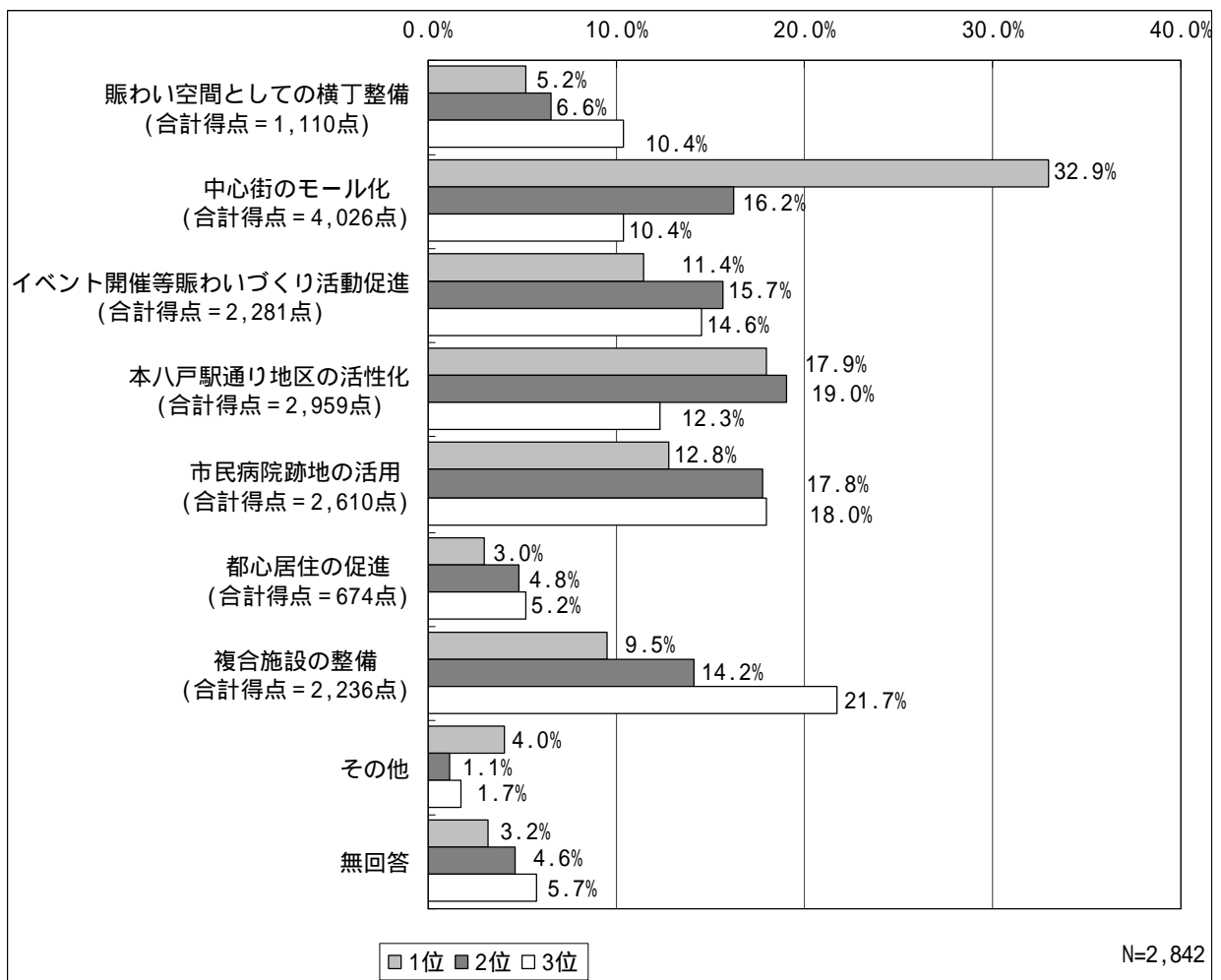
(5) 都心地区再生

問8 八戸の「顔」となる都心地区の活性化施策について、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

八戸の「顔」となる都心地区の活性化について、施策の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「中心街のモール化」(4,026点)が最も高く、次いで「本八戸駅通り地区の活性化」(2,959点)、「市民病院跡地の活用」(2,610点)の順となっています。

「中心街のモール化」を支持する意見が非常に多くなっており、歩行者中心の都市空間が求められています。また、「本八戸駅通り地区の活性化」など新たな賑わいの軸の形成や「市民病院跡地の活用」など、賑わいの場の広がりを求める意見も多くなっています。

図 都心地区再生



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

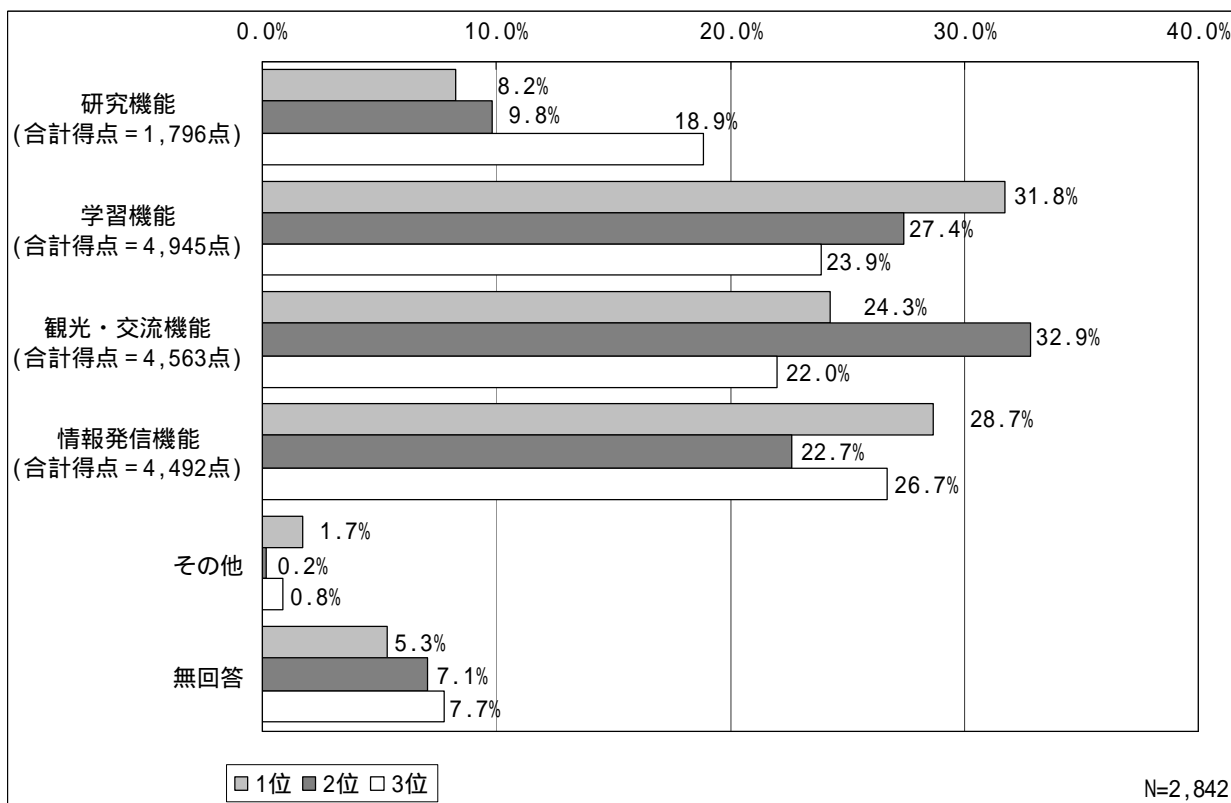
(6) 歴史資源を活かしたまちづくり

問9 「是川縄文博物館」の機能について、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

是川縄文博物館について、機能の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「学習機能」(4,945点)が最も高く、次いで「観光・交流機能」(4,563点)、「情報発信機能」(4,492点)の順となっています。

ただし、上記の3項目は概ね同じ水準の支持を受けており、是川縄文博物館に対しては複合的な機能を持つことが求められています。

図 歴史資源を活かしたまちづくり



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

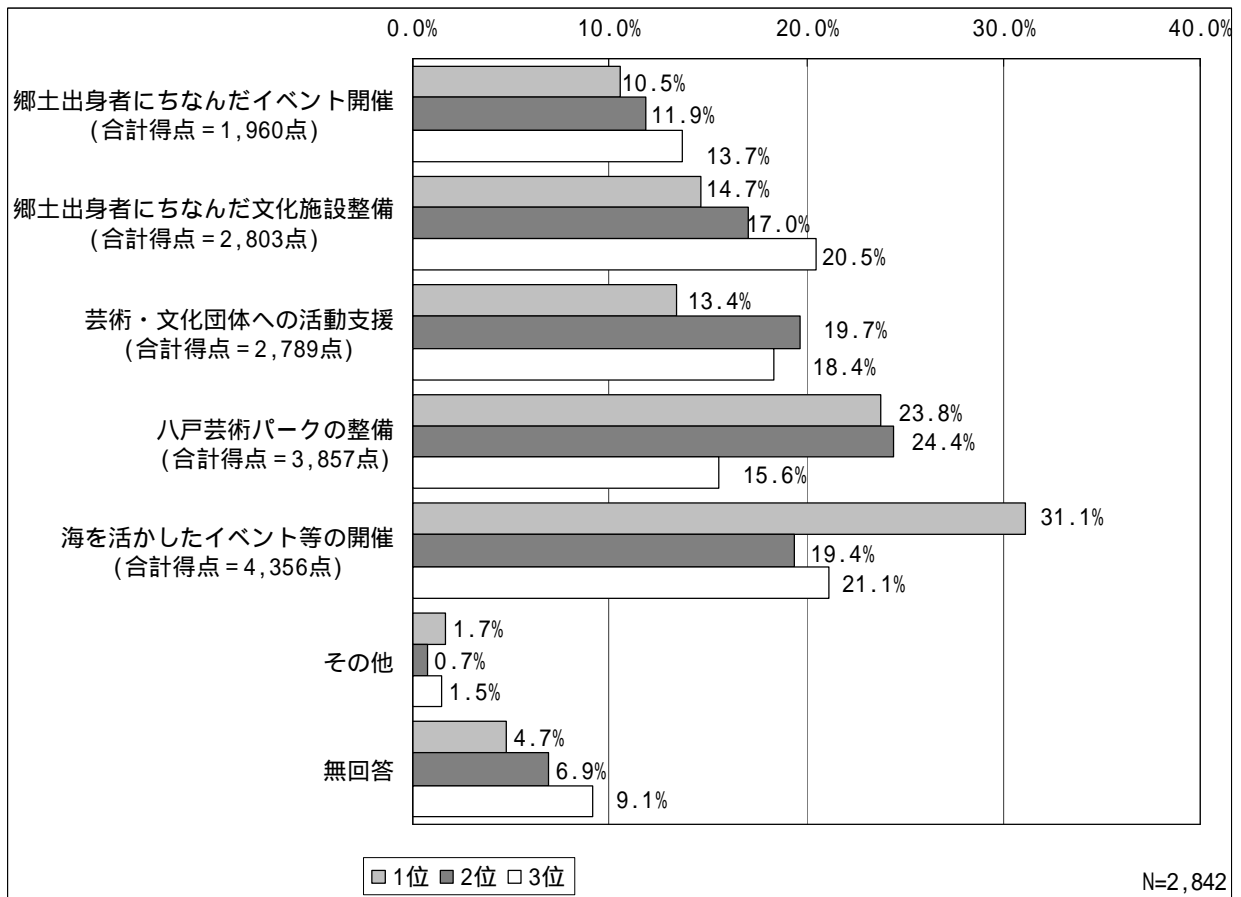
(7) 芸術・文化活動の振興

問10 市民の文化活動を促進する取り組みについて、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

市民の文化活動促進について、施策の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「海を活かしたイベント等の開催」(4,356点)が最も高く、次いで「八戸芸術パークの整備」(3,857点)、「郷土出身者にちなんだ文化施設整備」(2,803点)の順となっています。

当市のシンボルである「海」へのこだわりが大きいことがわかります。また、八戸芸術パークの整備に対する支持が高く、水準の高い芸術文化施設に対するニーズが高いことがわかります。さらに、郷土出身の文化人を情報発信する施設に対するニーズも高くなっています。

図 芸術・文化活動の振興



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

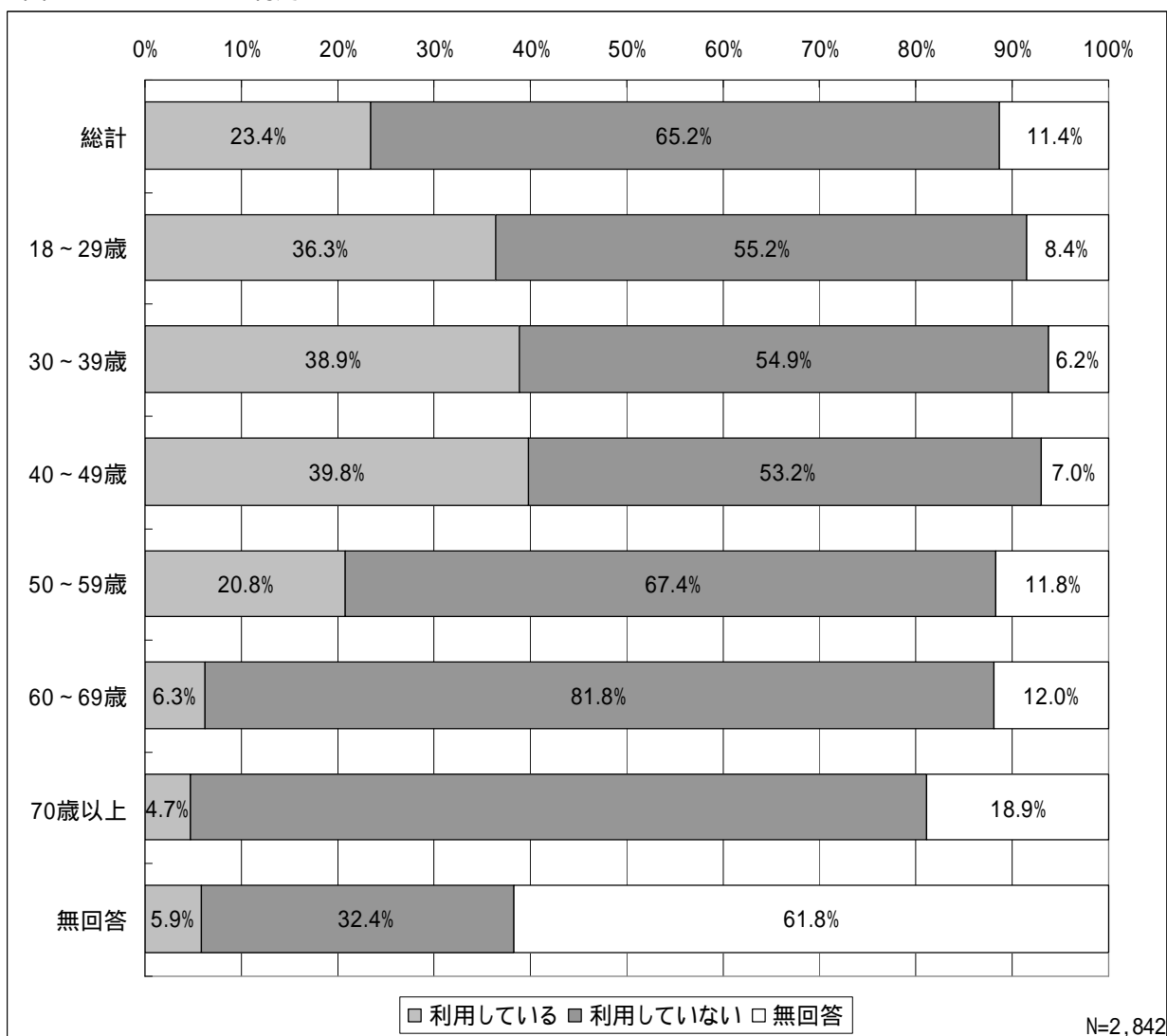
(8) I T (情報技術) を活用したまちづくり

問 1 1 (1) 現在、自宅でインターネットを利用していますか。

自宅でのインターネットの利用状況を尋ねました。「利用している」と回答したのは約 2 割となっています。

また、年齢別に見ると、18～49 歳までの層は、4 割弱の市民が自宅でインターネットを利用していますが、50 歳以上になると、利用者割合が急に低下する結果となっています。

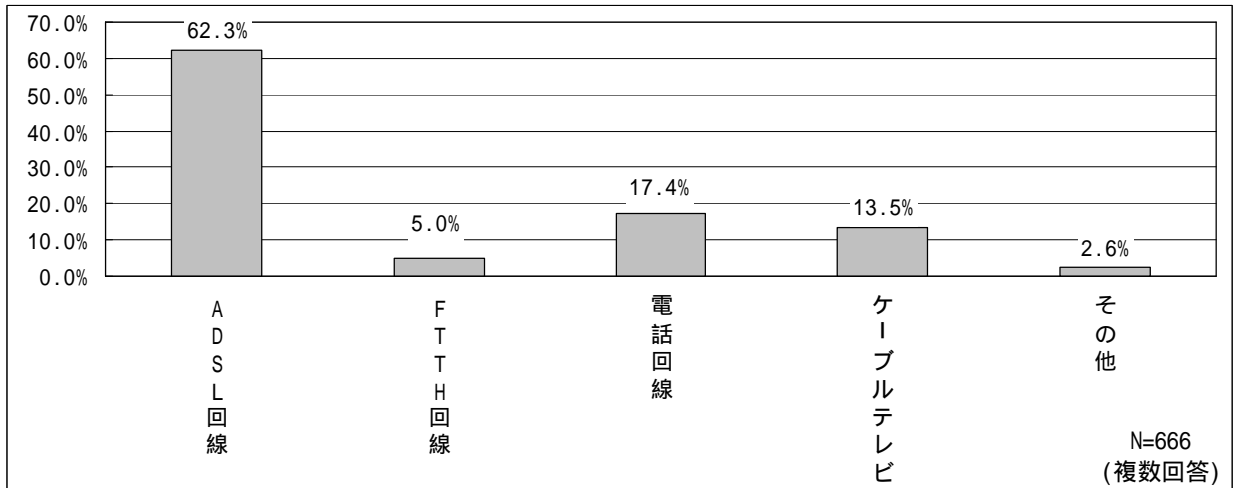
図 インターネット利用



問 1 1 - 1 どのような回線を利用していますか。

自宅でインターネットを利用している人に対して、利用回線を尋ねました。「ADSL回線」が62.3%と最も高い割合を占めており、半数以上の方がADSL回線を利用しています。

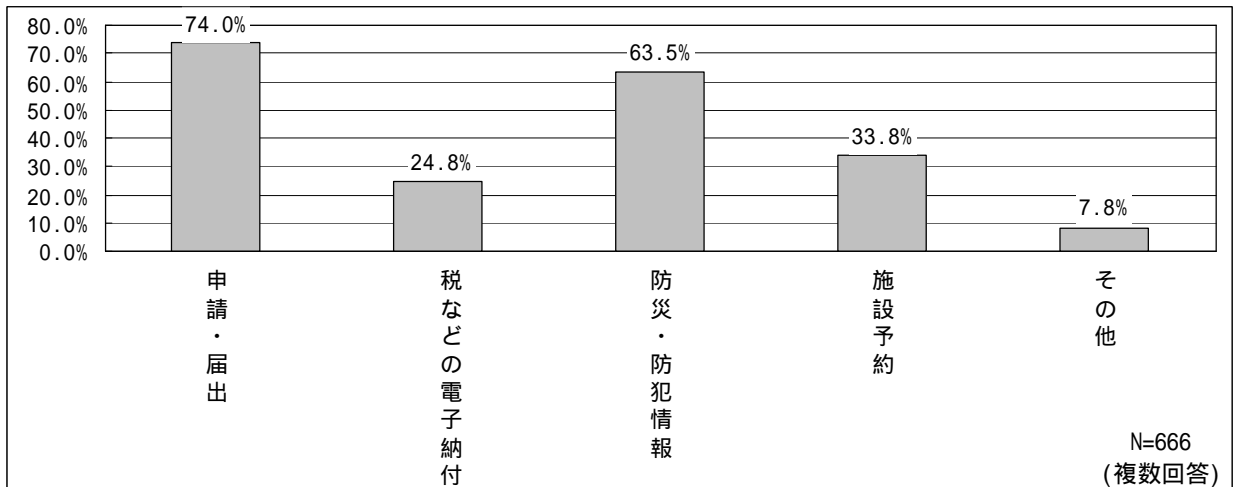
図 インターネット回線



問 1 1 - 2 インターネットで受けたい行政サービスは何ですか。

自宅でインターネットを利用している人に対して、受けたい行政サービスを尋ねました。「申請・届出」が74.0%と最も高い割合を占めており、次いで「防災・防犯情報」63.5%、「施設予約」33.8%となっています。

図 受けたい行政サービス

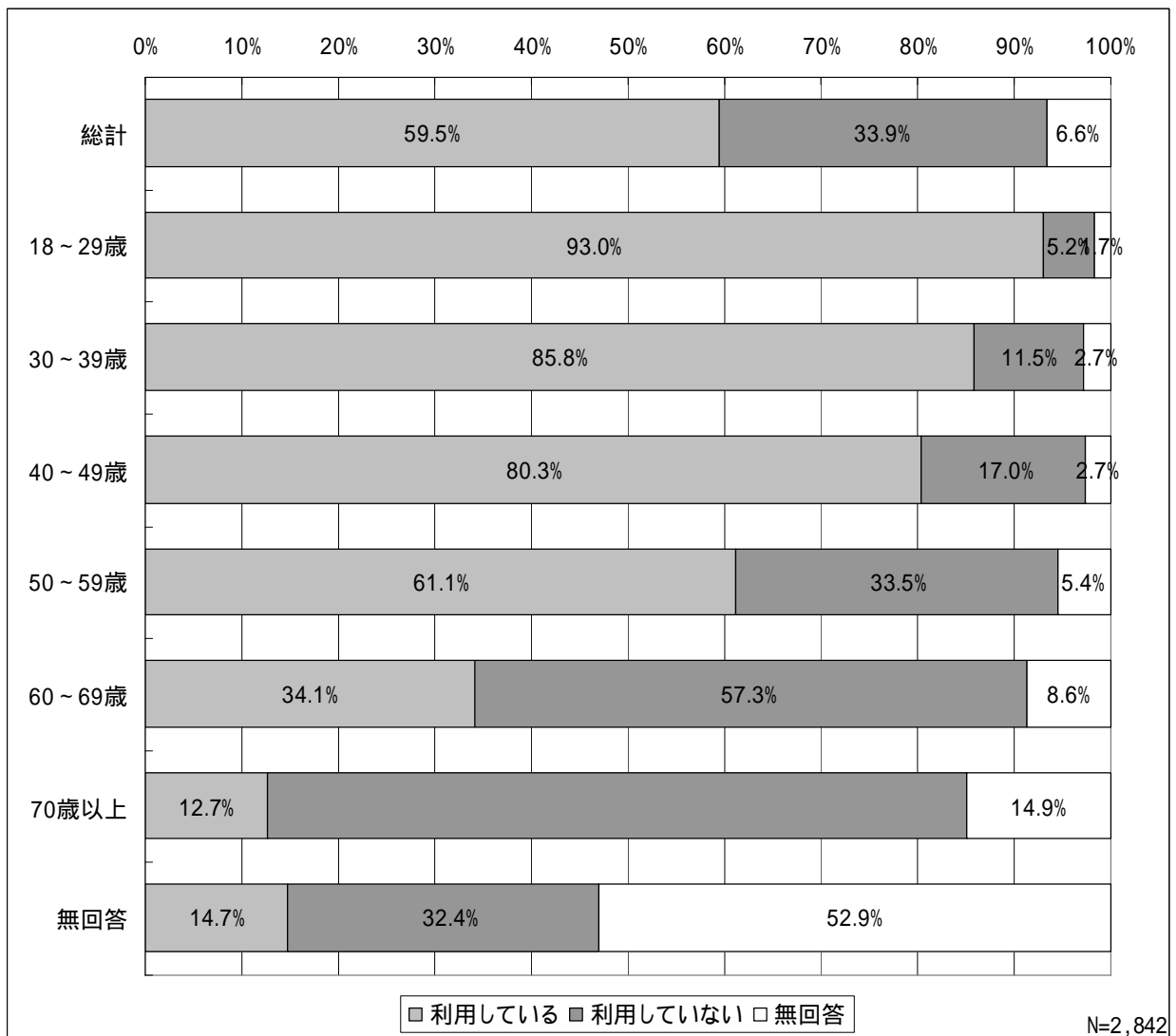


問 1 1 (2) 現在、携帯電話を利用していますか。

携帯電話の利用状況を尋ねました。「利用している」が 59.5%となっており、半数以上の人
が携帯電話を利用しています。

年齢別にみると 18～29 歳の若者層では 9 割以上が携帯電話を利用しており、30～49 歳の層
でも 8 割以上が利用しています。しかし、50 歳代になると携帯電話を利用している割合が 6
割となり、年齢層が高くなるほど利用割合が低下しています。

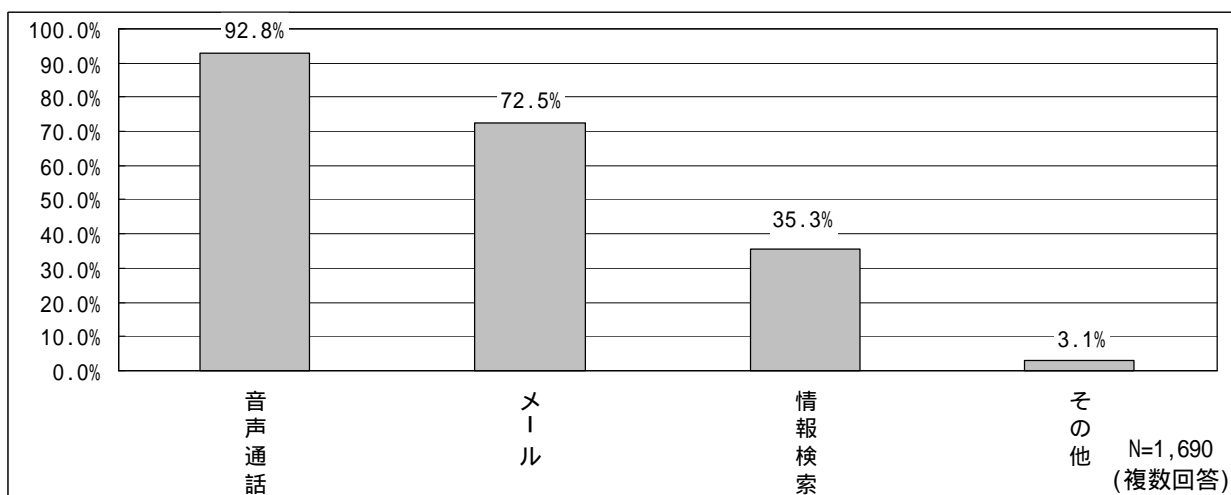
図 携帯電話利用



問 11 - 3 携帯電話で利用する機能は何ですか。

携帯電話を利用している人に対して、利用する機能を尋ねました。「音声通話」が92.8%と最も高い割合を占め、次いで「メール」が72.5%となっており、音声通話とメールを利用する人が多くなっています。

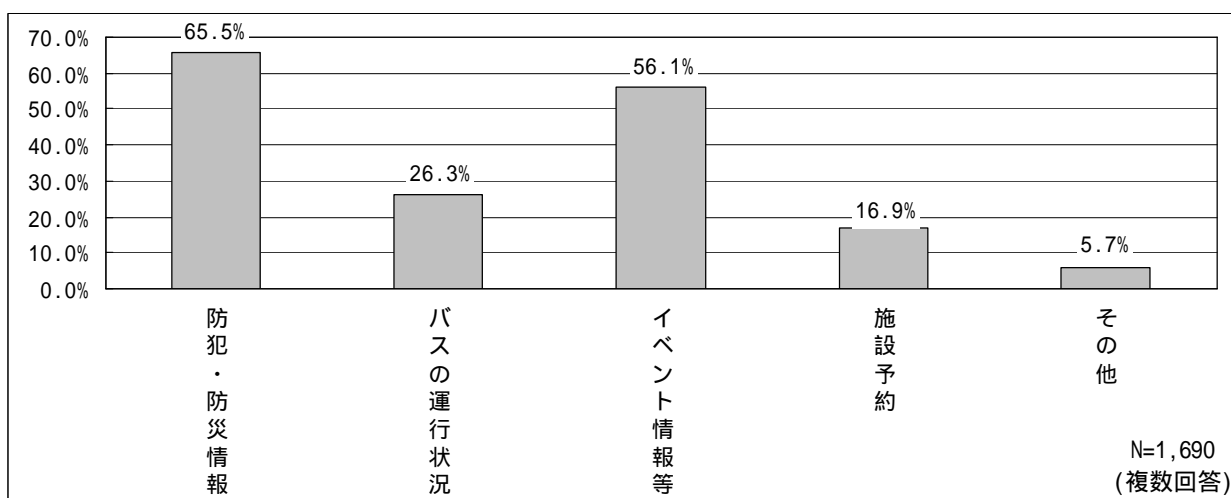
図 携帯電話の機能



問 11 - 4 携帯電話で利用したい行政サービスは何ですか。

携帯電話を利用している人に対して、利用したい行政サービスを尋ねました。「防災・防犯情報」が65.5%と最も高い割合を占めており、次いで「イベント情報等」が56.1%となっています。

図 利用したい行政サービス



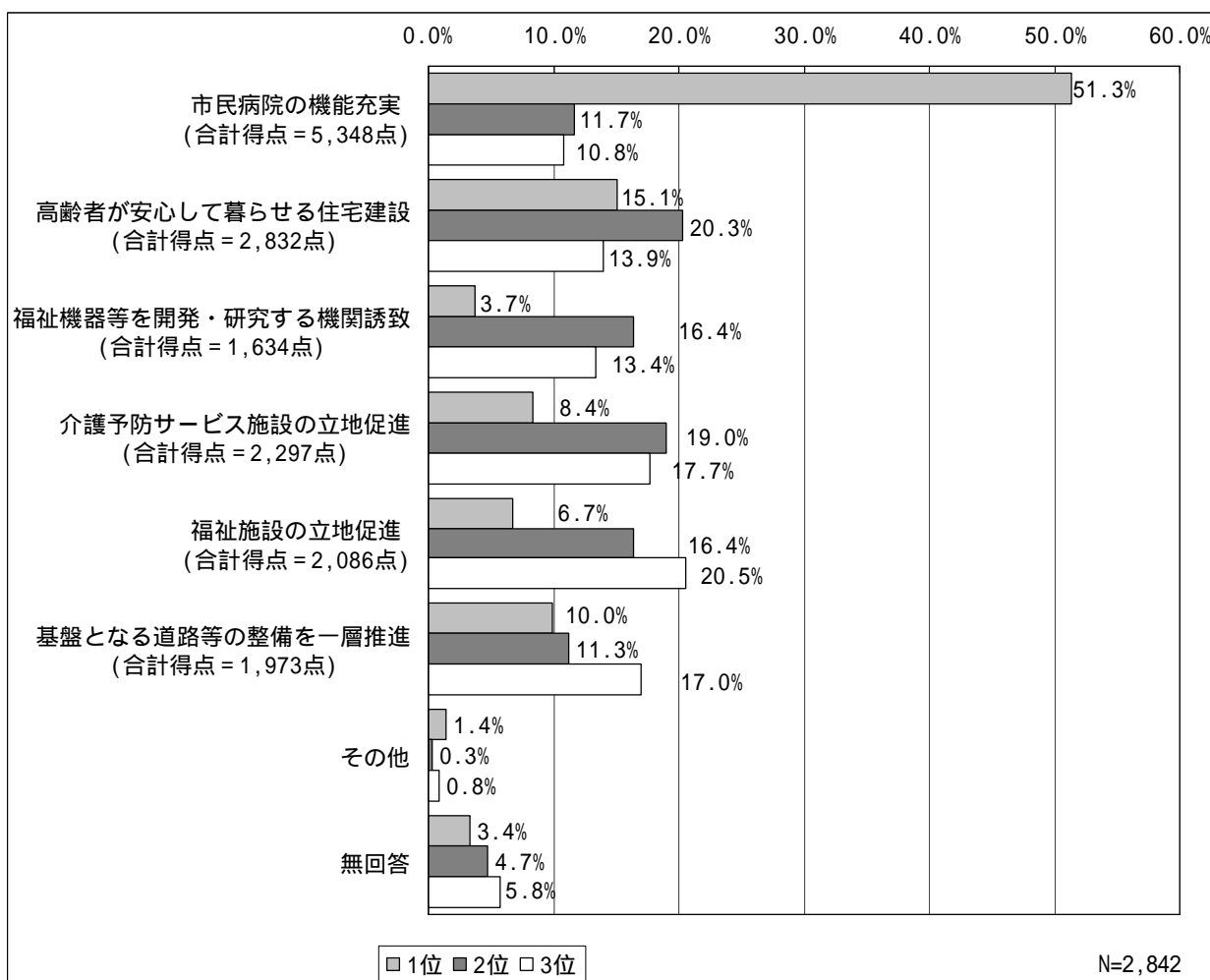
(9) 健康と福祉のまちづくり

問 1 2 保健・医療・福祉の広域拠点づくりの推進施策について、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

保健・医療・福祉の広域拠点づくりについて、施策の優先順位の1～3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「市民病院の機能充実」(5,348点)が最も高く、次いで「高齢者が安心して暮らせる住宅建設」(2,832点)、「介護予防サービス施設の立地促進」(2,297点)の順となっています。

「市民病院の機能充実」は特に高い支持を得ており、高度な医療体制の充実に対する市民の関心の高さがうかがえます。

図 健康と福祉のまちづくり



図中の合計得点とは、優先順位の1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

(10) 協働のまちづくり

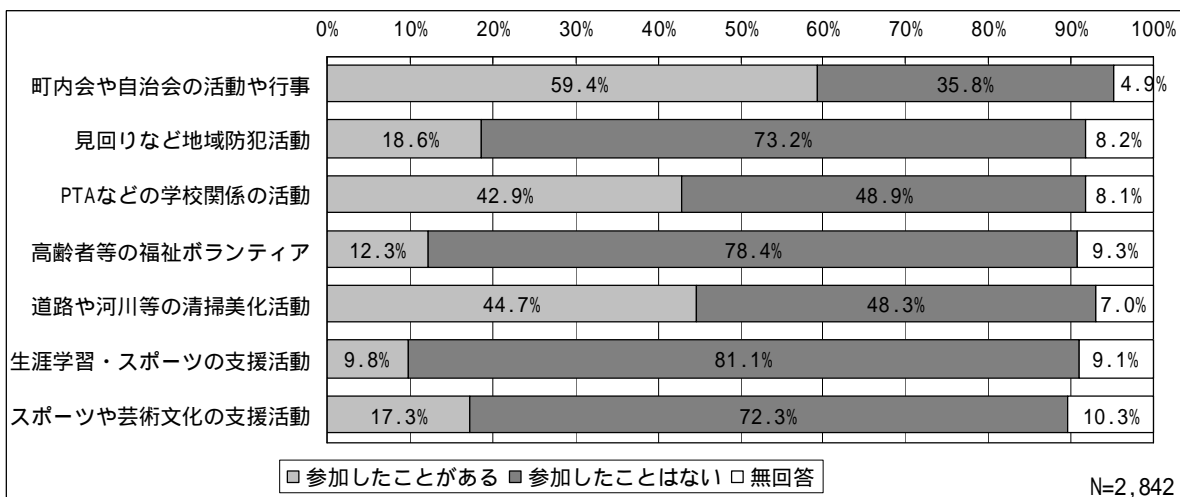
問13(1) これまで市民活動や地域活動に参加したことがありますか。

参加経験

市民活動や地域活動について、参加経験を尋ねました。「町内会や自治会の活動や行事」に参加したことがある人が59.4%と最も高い割合を占め、次いで「道路や河川等の清掃美化活動」44.7%、「PTAなどの学校関係の活動」42.9%となっています。

一方、福祉ボランティアや生涯学習・スポーツ活動などの講師経験のある市民は1割から2割程度となっています。

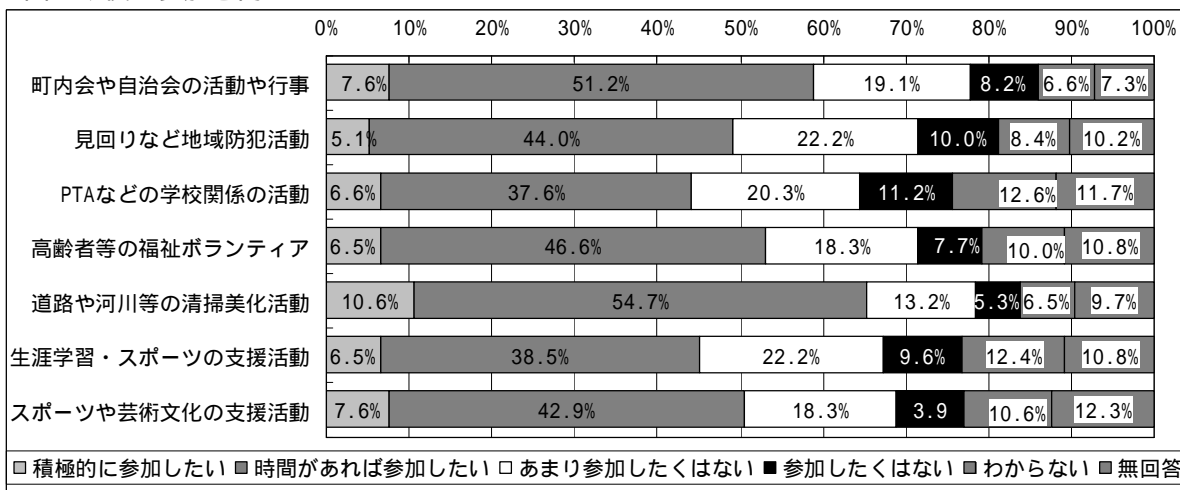
図 参加経験



今後の参加意向

市民活動や地域活動について、今後の参加意向を尋ねました。すべての項目で「積極的に参加したい」、「時間があれば参加したい」と答えた人が4割～6割になっており、特に「道路や河川等の清掃美化活動」は65.3%、「町内会や自治会の活動や行事」は58.8%となっています。

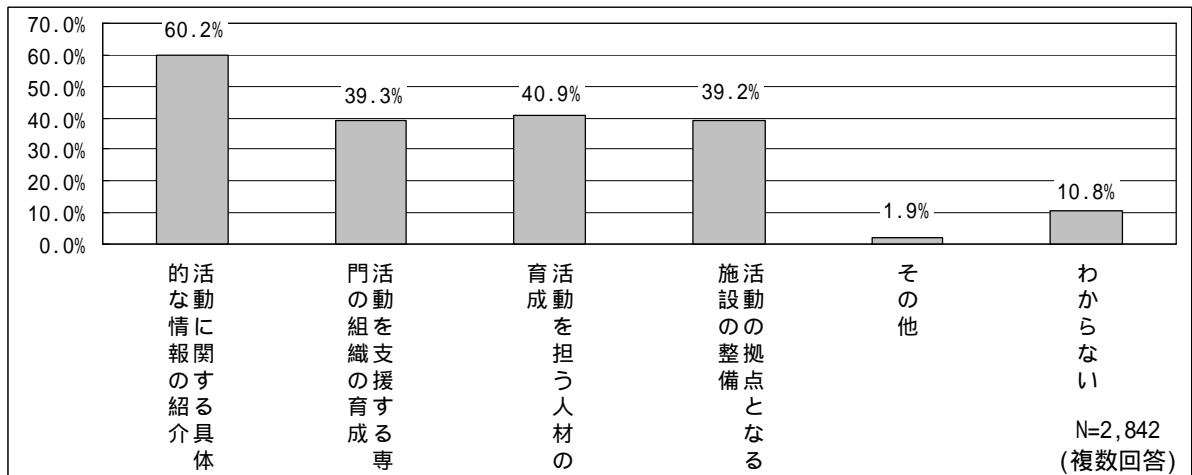
図 今後の参加意向



問13(2) 協働のまちづくりを進めていく上で、どのようなことが必要であるとお考えですか。

協働のまちづくりを進めていく上で、何が必要であるか尋ねました。「活動に関する具体的な情報の紹介」が60.2%と最も高い割合を占め、他は4割前後となっています。

図 協働のまちづくりの推進

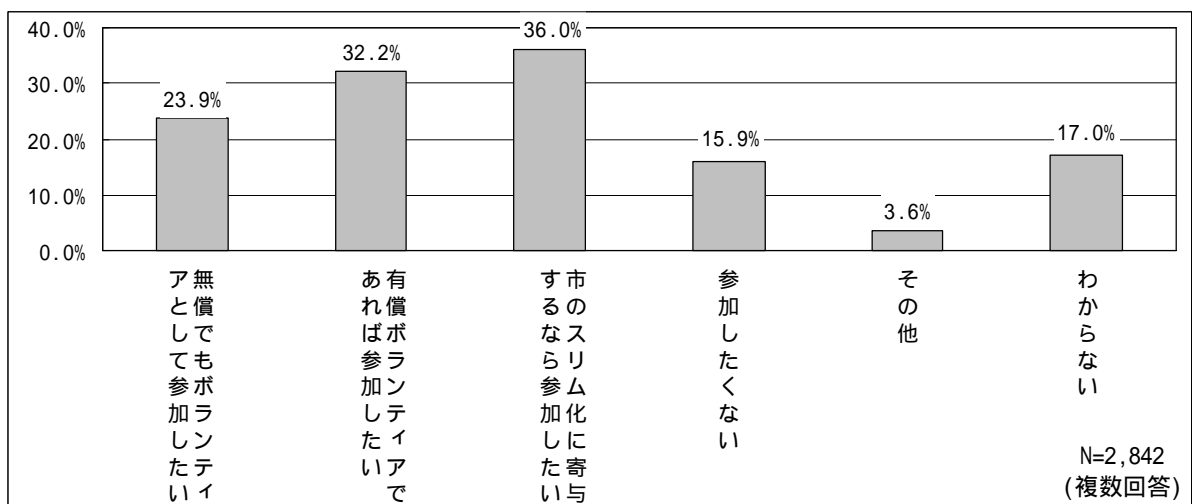


問13(3) 住民主体の公共事業の制度について、どのようにお考えですか。

住民主体の公共事業の制度について、参加意向を尋ねました。「市のスリム化に寄与するなら参加したい」が36.0%と最も高い割合を占め、次いで「有償ボランティアであれば参加したい」が32.2%、「無償でもボランティアとして参加したい」が23.9%となっています。

一方、「参加したくない」は15.9%であり、多くの市民が協働のまちづくりの新しい仕組みに積極的に参加する意向を示しています。

図 住民主体の公共事業



(11) 公共交通

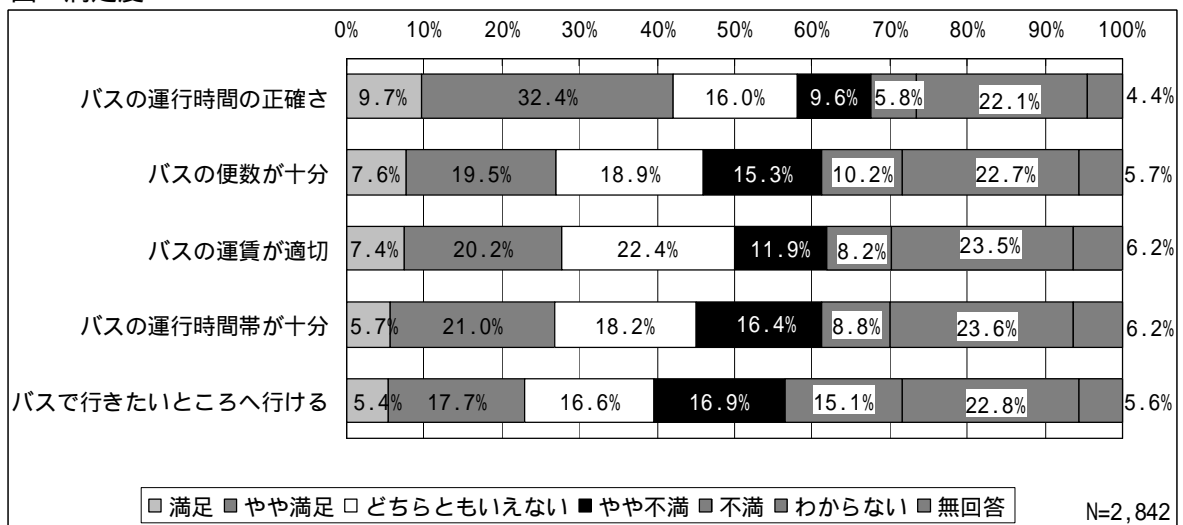
問14(1) 八戸市におけるバス交通の満足度について、どのように感じていますか。

1) 満足度

八戸市におけるバス交通について、満足度を尋ねました。「満足」、「やや満足」を合わせた満足度が最も高かったのは「バスの運行時間の正確さ」(42.1%)であり、他は2～3割となっています。

一方、「やや不満」、「不満」を合わせた不満度が最も高かったのは「バスで行きたいところへいける」(32.0%)となっており、バスのネットワークに対する不満が示されています。

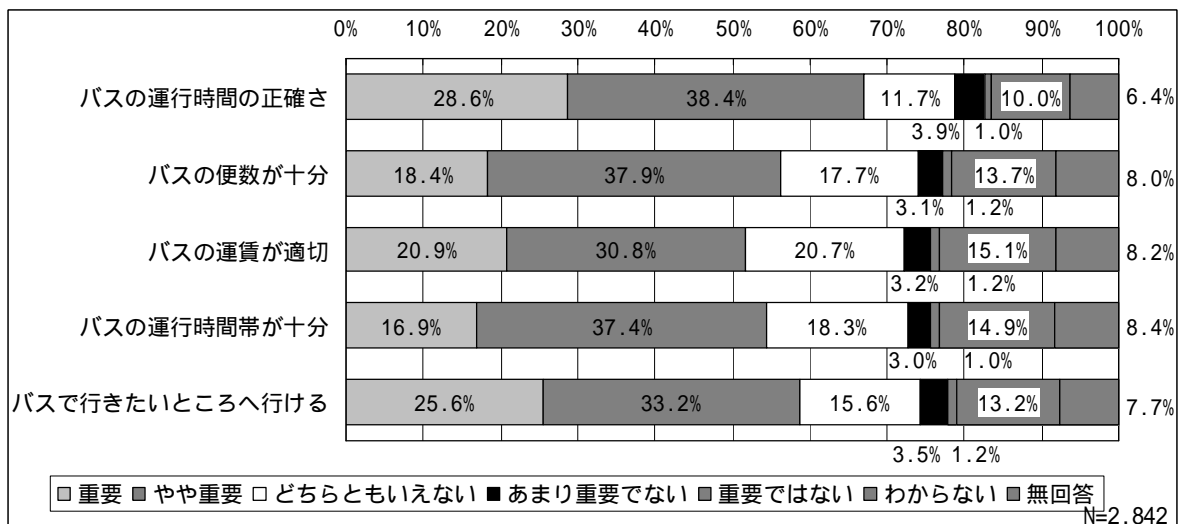
図 満足度



2) 重要度

八戸市におけるバス交通について、重要度を尋ねました。「重要」、「やや重要」を合わせた重要度が最も高かったのは「バスの運行時間の正確さ」(67.0%)であり、次いで「バスで行きたいところへいける」(58.8%)、「バスの便数が十分」(56.3%)の順となっています。

図 重要度

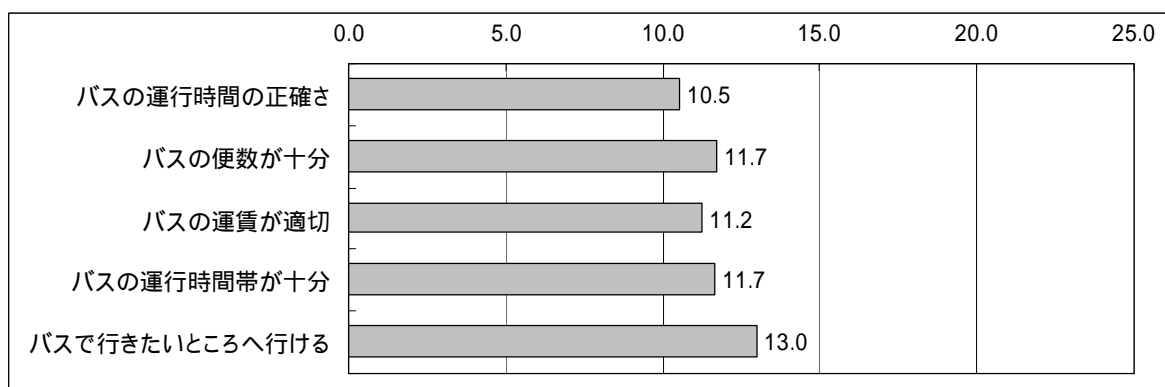


3) ニーズ得点

住民のニーズの高さを見るため、満足度について「満足」1点、「やや満足」2点、「どちらともいえない」3点、「やや不満」4点、「不満」5点とし、重要度について「重要」5点、「やや重要」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり重要ではない」2点、「重要ではない」1点として、満足度と重要度の平均点を掛けたものをニーズ得点として算出しました。

ニーズ得点が最も高かったのは「バスで行きたいところへ行ける」(13.0 得点)となっています。

図 ニーズ得点



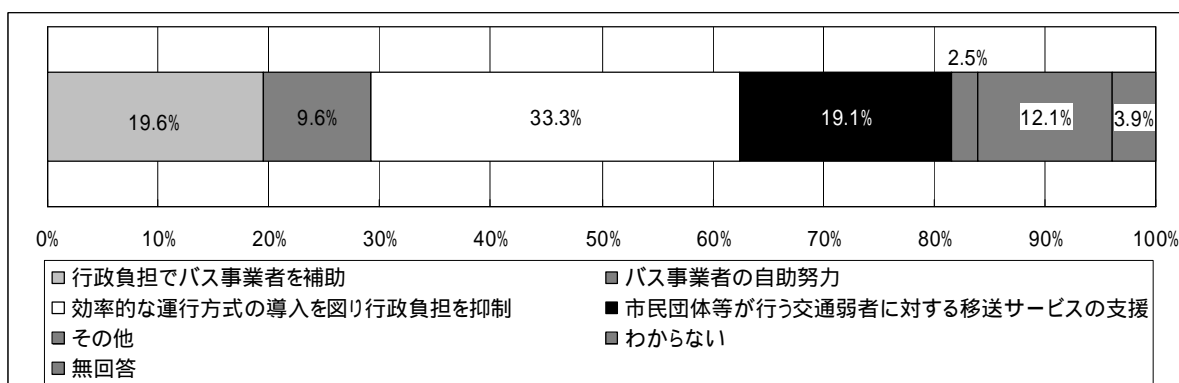
N=2,842

問14(2) バス交通のサービス水準を維持・向上させるために、行政がどのように支援していくべきだとお考えですか。

サービス水準の維持・向上のために、行政がどのように支援していくべきか尋ねました。「効率的な運行方式の導入を図り行政負担を抑制」(33.3%)が最も高い割合を占め、次いで「行政負担でバス事業者を補助」(19.6%)、「市民団体等が行う交通弱者に対する移送サービスの支援」(19.1%)の順となっています。

行政負担でバス事業者を補助するよりも、デマンドバスなどの効率的な運行方式を導入することが求められています。

図 行政の支援



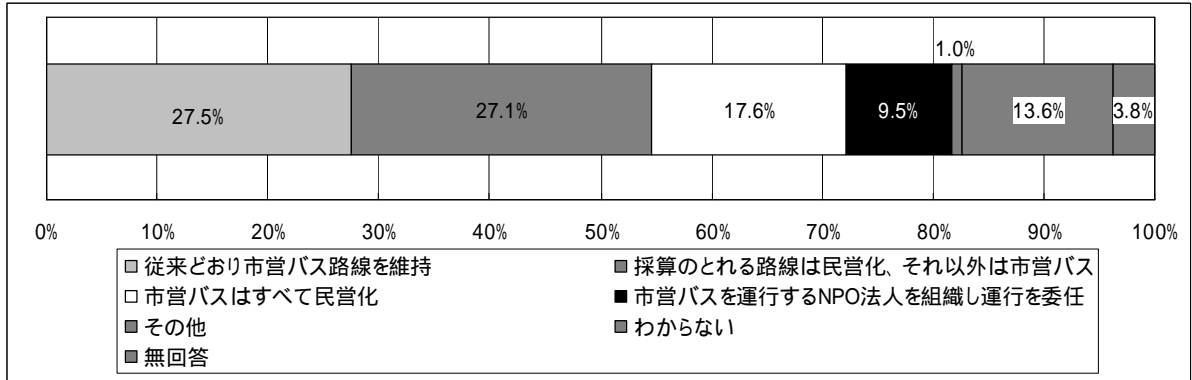
N=2,842

問14(3) 市営バスの運行主体について、どのようにお考えですか。

市営バスの運行主体をどうするべきか尋ねました。いずれの選択肢も3割未満の支持となっており市民の間でも意見が分かれています。

「従来どおり市営バス路線を維持」(27.5%)が最も高い割合を占め、ほぼ同じ割合で「採算の取れる路線は民営化、それ以外は市営バス」(27.1%)があげられています。また、「市営バスはすべて民営化」は(17.6%)となっています。

図 行政の支援

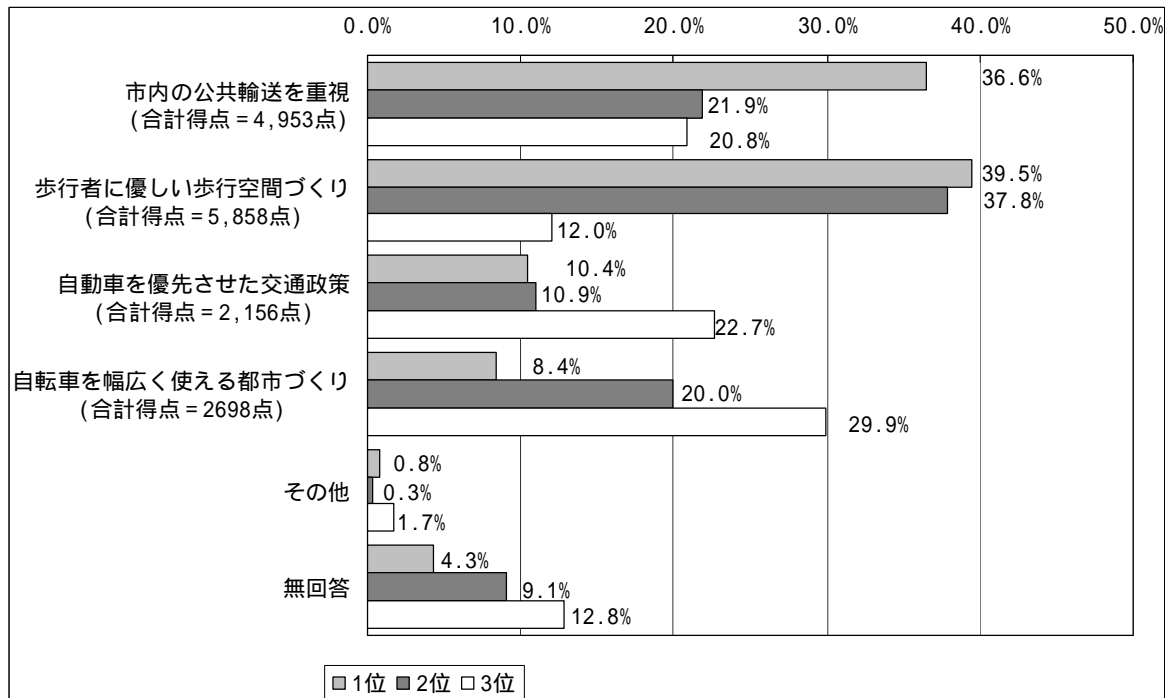


N=2,842

問14(4) 八戸市の交通政策について、優先順位を付けるとしたらどのようにお考えですか。

これからの八戸市の交通政策について、施策の優先順位の1~3位を尋ねました。それぞれの順位について得点化すると、「歩行者にやさしい歩行空間づくり」(5,858点)が最も高く、次いで「市内の公共輸送を重視」(4,953点)、「自転車を幅広く使える都市づくり」(2,698点)の順となっています。自動車を中心とした交通政策ではなく、歩行者や公共交通を重視した交通政策が求められています。

図 交通政策

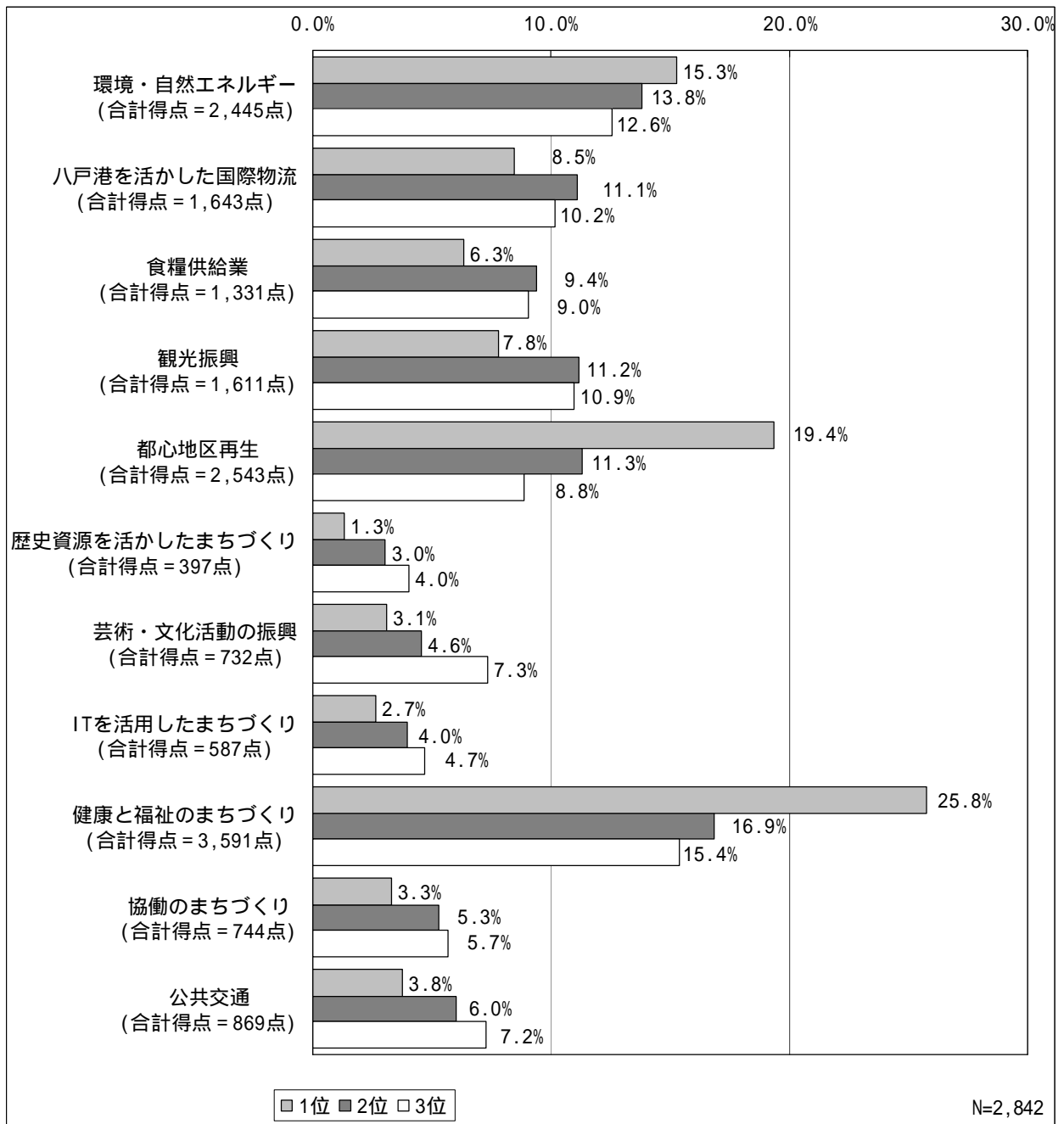


(1 2) 重点的に取り組む施策の優先順位

問 1 5 問 4 ~ 問 1 4 の重点的に取り組む施策について、優先順位を付けるとしたらどのよう
にお考えですか。

重点的に取り組む施策について、優先順位の 1 ~ 3 位を尋ねました。それぞれの順位につい
て得点化すると、「健康と福祉のまちづくり」(3,591 点)が最も高く、次いで「都心地区再生」
(2,543 点)、「環境・自然エネルギー」(2,445 点)の順となっています。

図 重点的に取り組む施策の優先順位



図中の合計得点とは、優先順位の 1 位を 3 点、2 位を 2 点、3 位を 1 点とし、それぞれの項目ごとに得点を算出したものです。

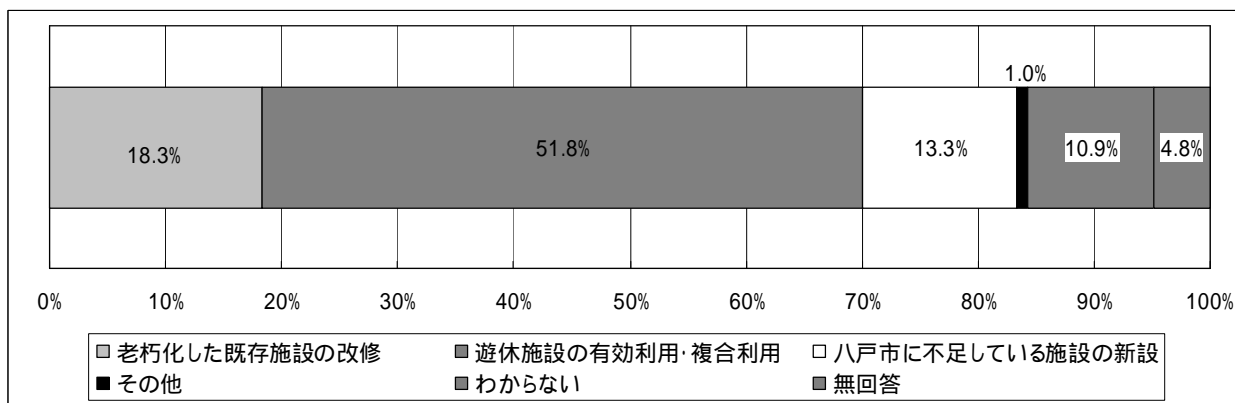
5 . 公共施設の利用状況と問題点

(1) 公共施設のあり方

問 1 6 今後の公共施設のあり方について、既存施設の改修と新設のどちらに力を入れるべきだとお考えですか。

今後の公共施設のあり方について、力を入れるべきことを尋ねました。「遊休施設の有効利用・複合利用」が 51.8%と最も高い割合を占めており、「老朽化した既存施設の改修」と合わせて、既存施設の利用と答えた人が 70.1%を占めています。

図 公共施設のあり方



N=2,842

問 1 6 - 1 特にどのような施設を新設すべきだとお考えですか（記述式）

今後の公共施設のあり方について、「八戸市に不足している施設の新設」を回答した方に、特にどのような施設を新設すべきかを尋ねました。

44 施設が挙げられており、中でも芸術文化施設が最も高く 34.4%を占めています。次いでスポーツ施設が 24.5%となっています。

施設の種類	件数	割合
芸術文化施設	139	34.4%
スポーツ施設	99	24.5%
その他	27	6.7%
観光レジャー施設	21	5.2%
遊園地等	19	4.7%
教育文化施設	19	4.7%
公園等オープンスペース	17	4.2%
福祉施設	13	3.2%
娯楽施設	12	3.0%
山車会館	11	2.7%
商業系施設	6	1.5%
医療・健康施設	6	1.5%
高等教育施設	4	1.0%
地域コミュニティ施設	3	0.7%
環境施設	3	0.7%
交通施設	2	0.5%
コンベンション施設	2	0.5%
行政サービス施設	1	0.2%
総計	404	100.0%

(2) スポーツ施設の利用状況

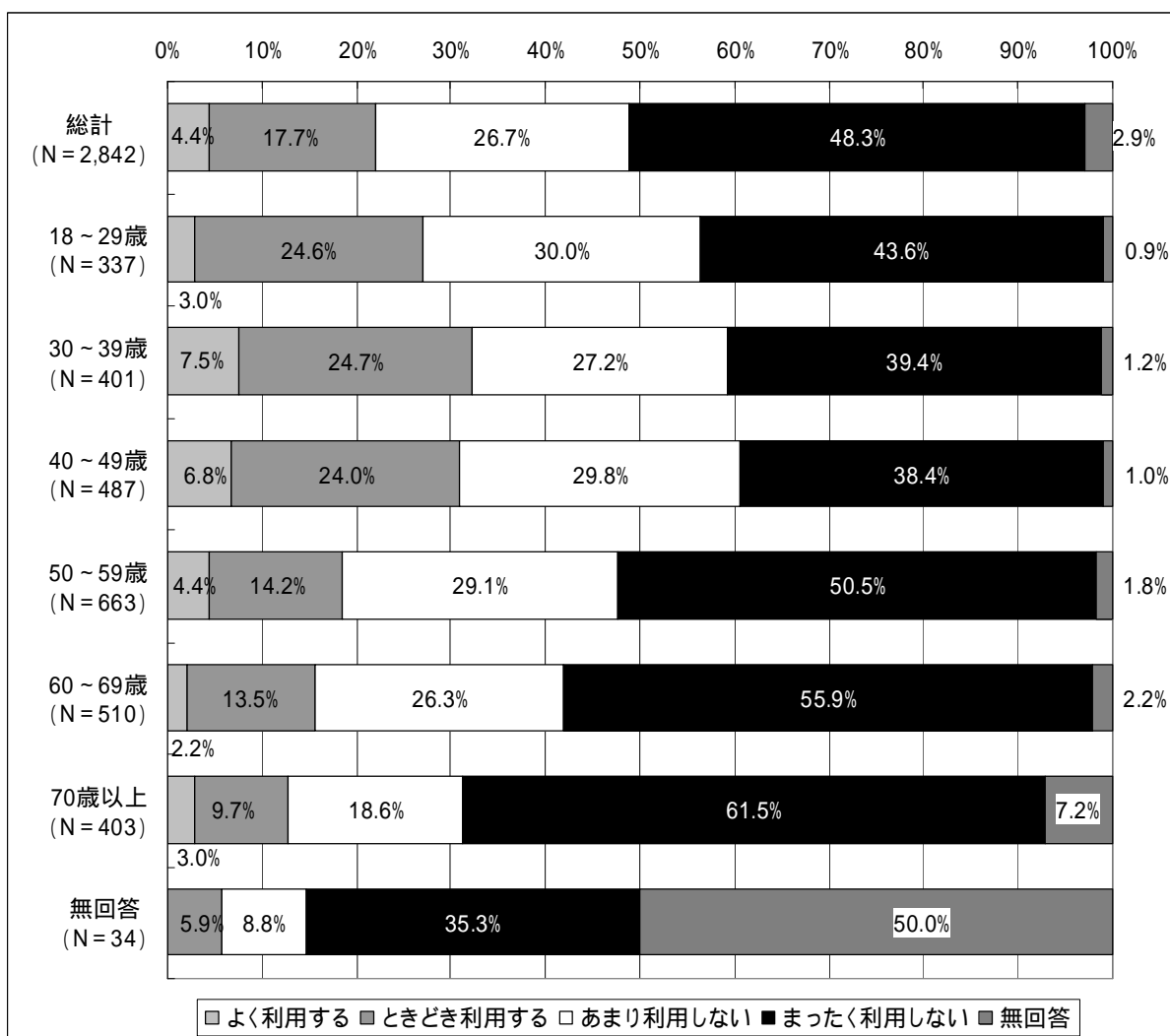
問17 市内の公共スポーツ施設（運動場、野球場、プール、テニスコートなど）の利用状況と、施設への満足度についてお尋ねします。

1) 利用状況

スポーツ施設の利用状況について尋ねました。「よく利用する」、「ときどき利用する」と合わせた利用度は22.1%となっています。

また、年齢別に見ると、18～49歳の年齢層で利用する割合が2割以上となっていますが、50歳以上では2割未満となっており、高齢になるほど利用する割合が低くなっています。

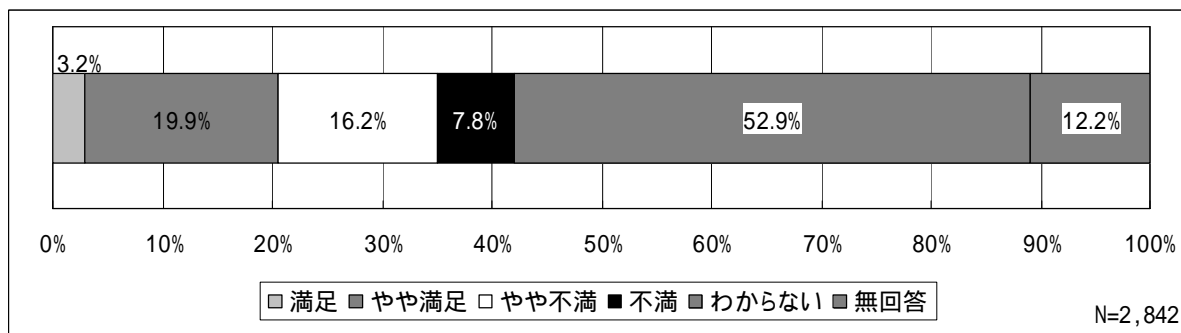
図 施設の利用状況



2) 満足度

スポーツ施設の満足度について尋ねました。「わからない」という回答が52.9%と大半を占めています。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は23.1%である一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満度は24.0%であり、満足度と不満度がほぼ同じ割合となっています。

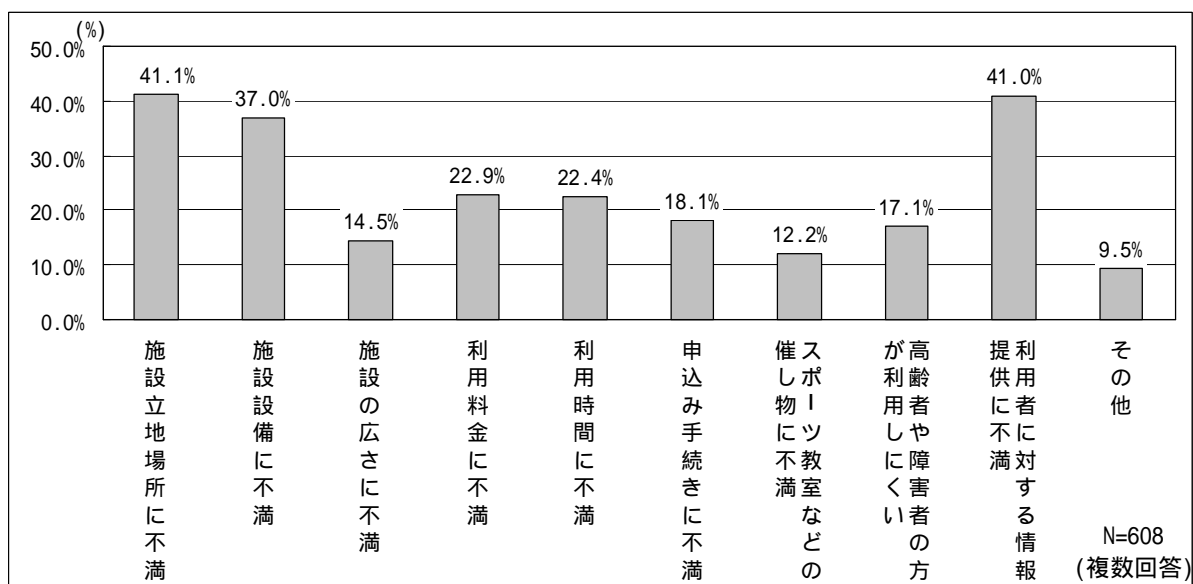
図 施設の満足度



問17-1 スポーツ施設について、どのような点が不満ですか

スポーツ施設の利用に関し不満とする理由について尋ねました。「施設の立地場所に問題」(41.1%)と最も高く、ほぼ同じ割合で「利用者に対する情報提供に不満」(41.0%)、次いで「施設設備に不満」(37.0%)の順となっています。

図 施設の不満



(3) 文化・レクリエーション施設の利用状況

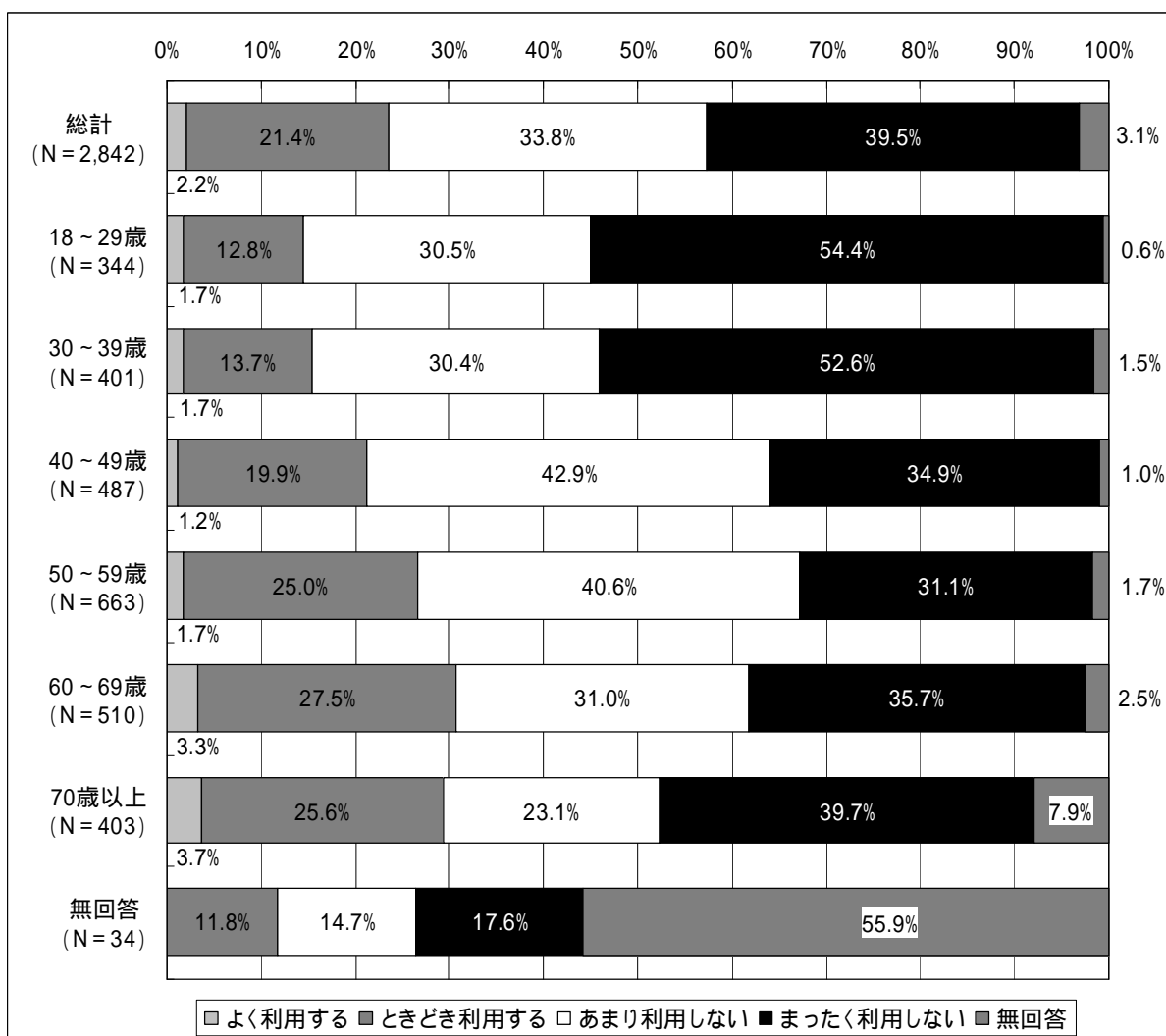
問18 市内の文化・レクリエーション施設（美術館、博物館、資料館など）の利用状況と、施設への満足度についてお尋ねします。

1) 利用状況

文化・レクリエーション施設の利用状況について尋ねました。「よく利用する」、「ときどき利用する」と合わせた利用度は23.6%となっています。

また、年齢別に見ると、18～39歳の年齢層の利用割合が1割強であるのに対し、40歳以上からは高齢になるに従って利用する割合が高まる傾向にあります。

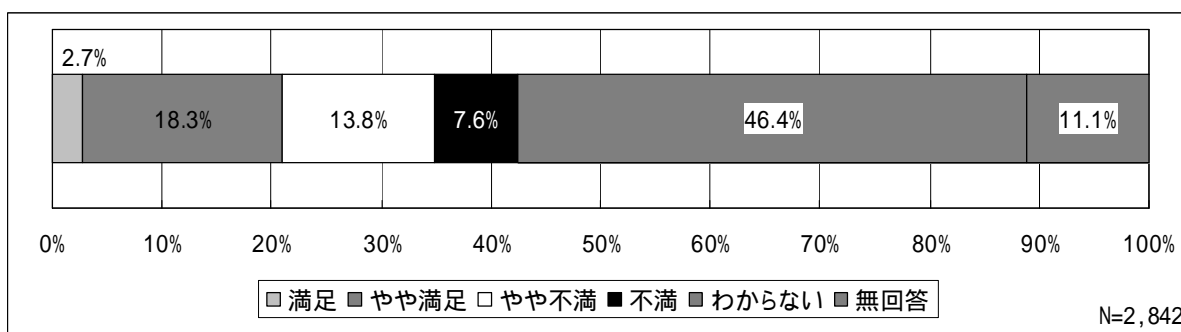
図 施設の利用状況



2) 満足度

文化・レクリエーション施設の満足度について尋ねました。「わからない」という回答が46.4%と5割弱を占めています。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は21.0%である一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満度は21.4%であり、満足度と不満度がほぼ同じ割合となっています。

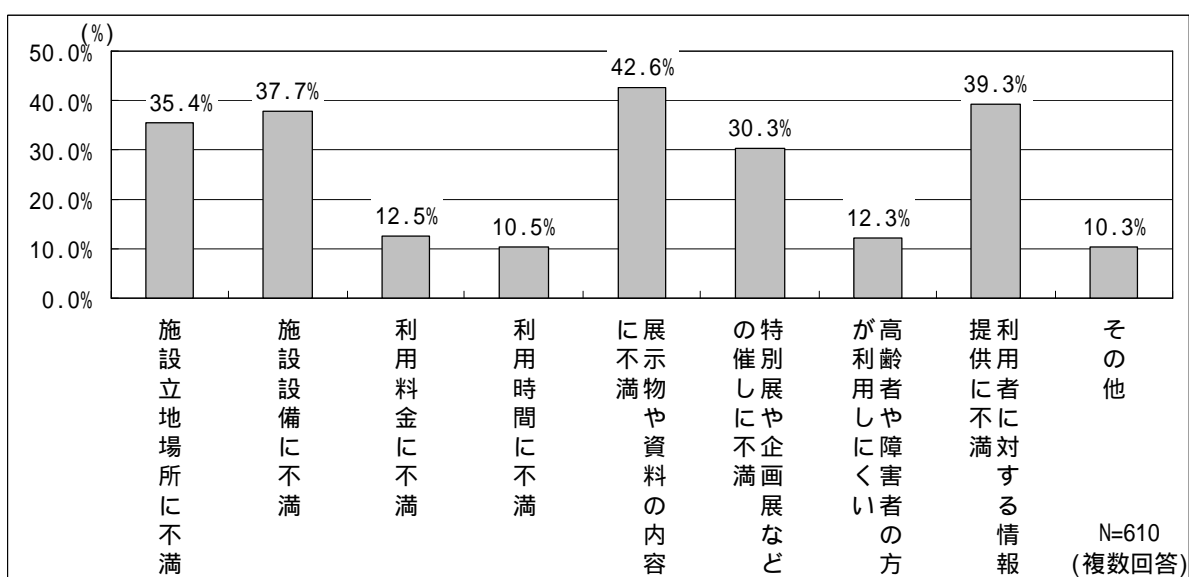
図 施設の満足度



問18-1 文化・レクリエーション施設について、どのような点が不満ですか

文化・レクリエーション施設の利用に関し不満とする理由について尋ねました。「展示物や資料の内容に不満」(42.6%)が最も高く、次いで「利用者に対する情報提供に不満」(39.3%)、「施設の設備に不満」(37.7%)の順となっています。

図 施設の不満



(4) 地域・コミュニティ施設の利用状況

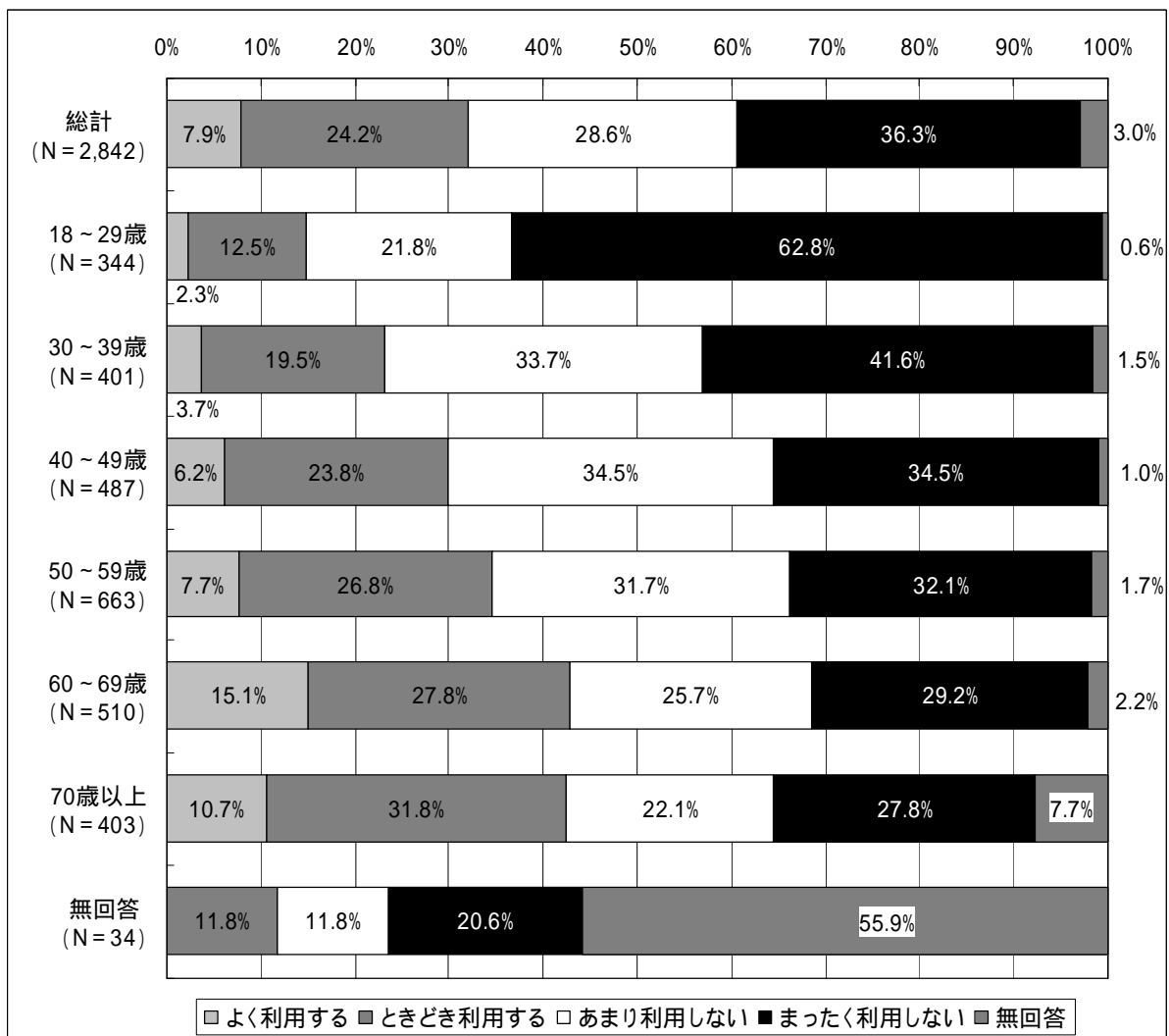
問19 市内の地域・コミュニティ施設（コミュニティセンター、公民館、集会所など）の利用状況と、施設への満足度についてお尋ねします。

利用状況

地域・コミュニティ施設の利用状況について尋ねました。「よく利用する」、「ときどき利用する」と合わせた利用度は32.1%となっています。スポーツ施設や文化・レクリエーション施設と比較すると利用度が高くなっています。

また、年齢別に見ると、高齢になるに従って利用する割合が高まる傾向にあります。60歳以上の高齢者層では4割以上が利用しています。

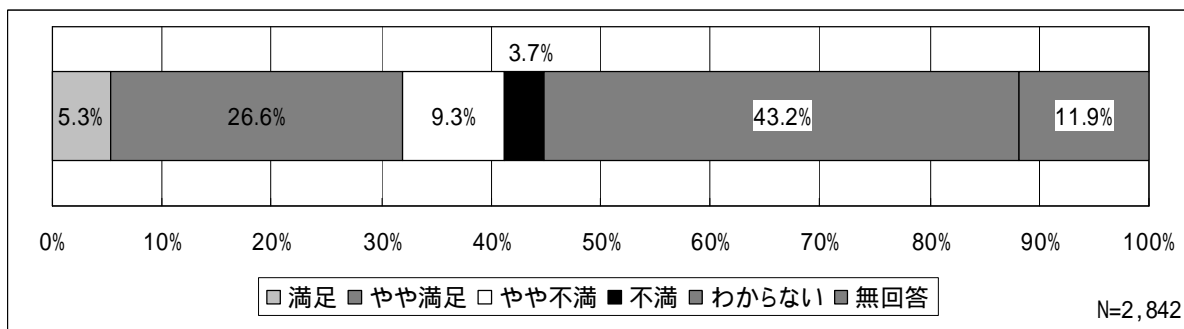
図 施設の利用状況



2) 満足度

地域・コミュニティ施設の満足度について尋ねました。「わからない」という回答が43.2%と5割弱を占めています。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は31.9%である一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満度は13.0%であり、満足度の方が高くなっています。

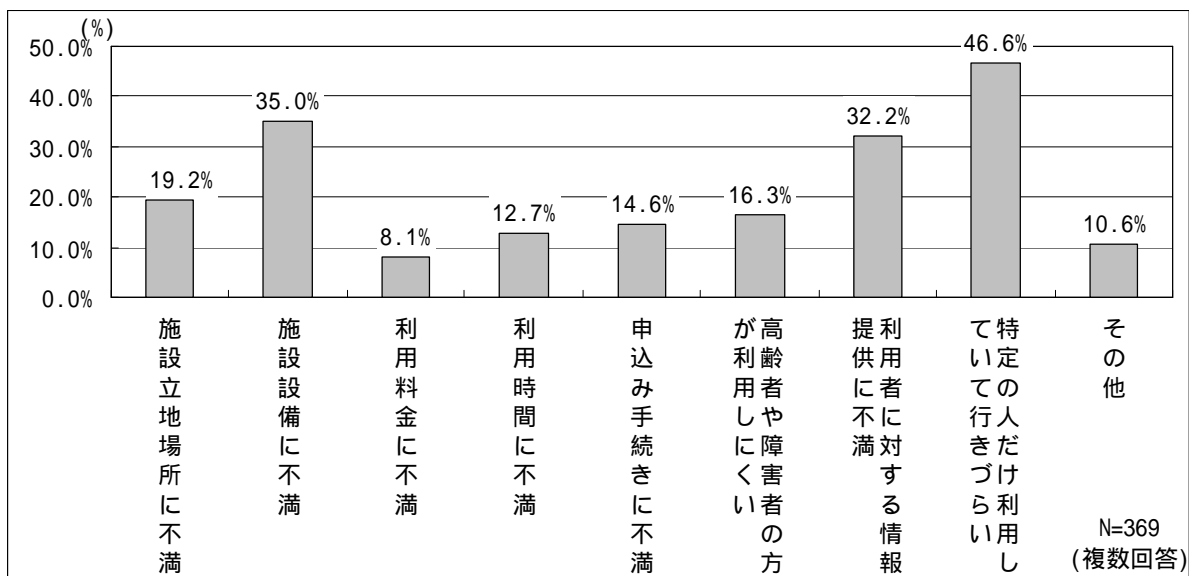
図 施設の満足度



問19-1 地域・コミュニティ施設について、どのような点が不満ですか

地域・コミュニティ施設の利用に関し不満とする理由について尋ねました。「特定の人だけ利用して行きづらい」(46.6%)が最も高く、次いで「施設の設備に不満」(35.0%)、「利用者に対する情報提供に不満」(32.2%)の順となっています。

図 施設の不満



(5) 図書館の利用状況

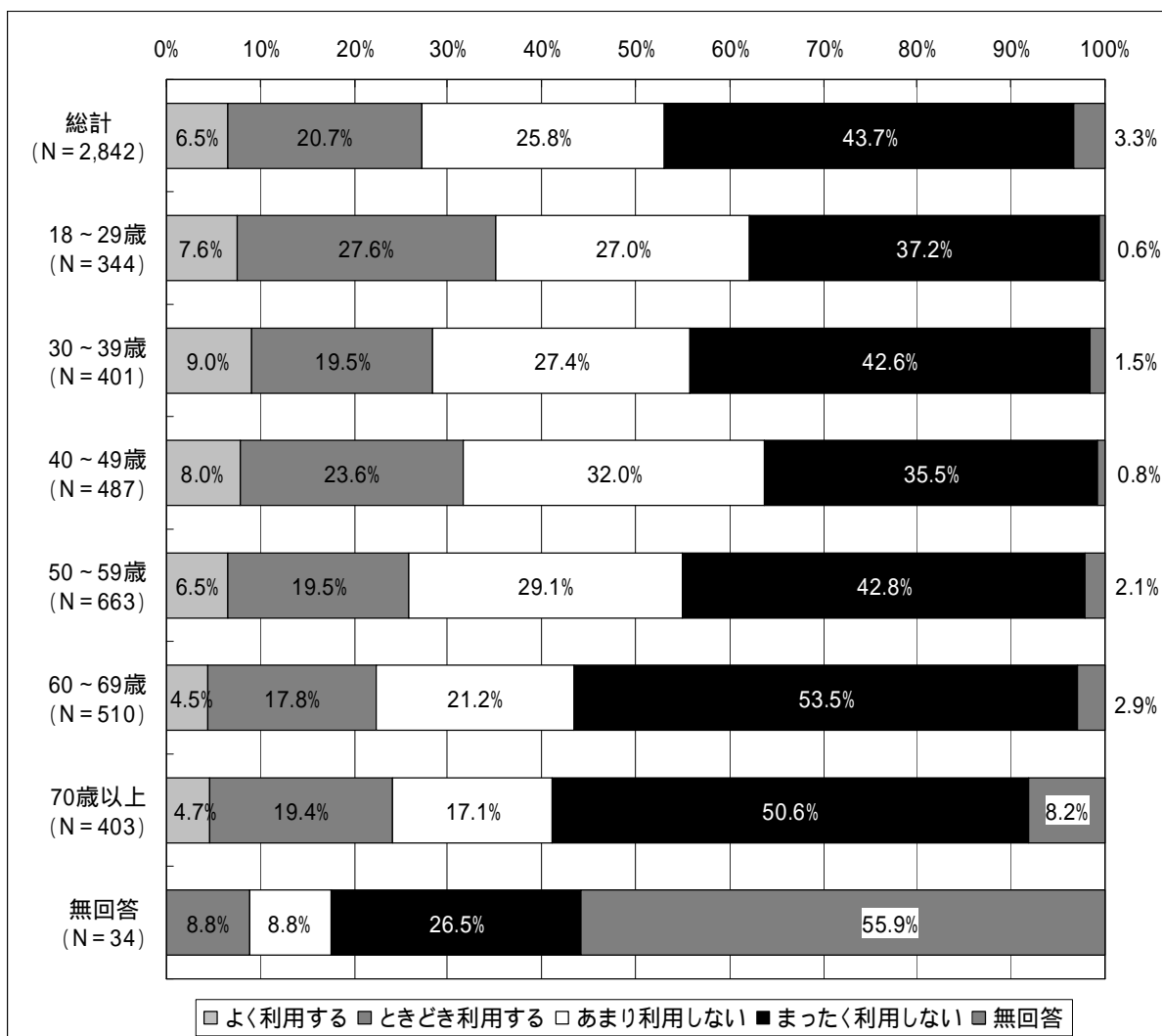
問20 市内の図書館の利用状況と、施設への満足度についてお尋ねします。

1) 利用状況

図書館の利用状況について尋ねました。「よく利用する」、「ときどき利用する」と合わせた利用度は27.2%となっています。地域・コミュニティ施設ほどではありませんが、スポーツ施設や文化・レクリエーション施設と比較すると利用度が高くなっています。

また、年齢別に見ると、18～29歳の年齢層で最も利用する割合が高く35.2%、次いで40～49歳の年齢層が31.6%となっています。その他の世代は2～3割程度であり、年齢別の変化はあまり見られません。

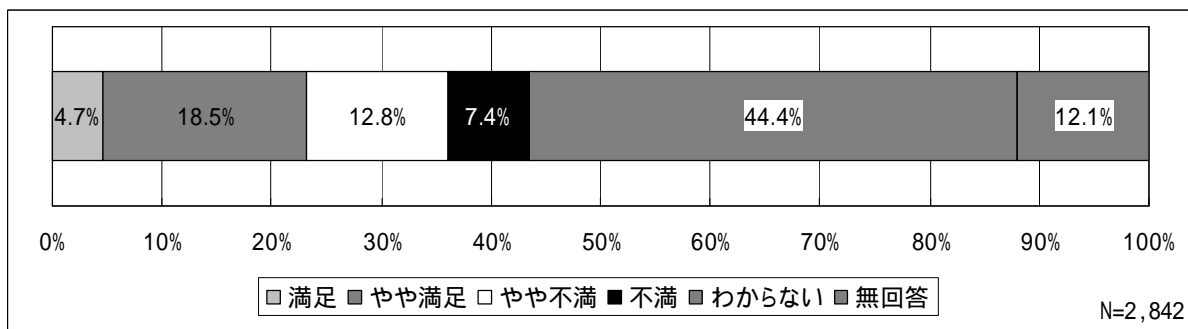
図 施設の利用状況



2) 満足度

図書館の満足度について尋ねました。「わからない」という回答が44.4%と5割弱を占めています。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は23.2%である一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満度は20.2%であり、満足度の方が若干高くなっています。

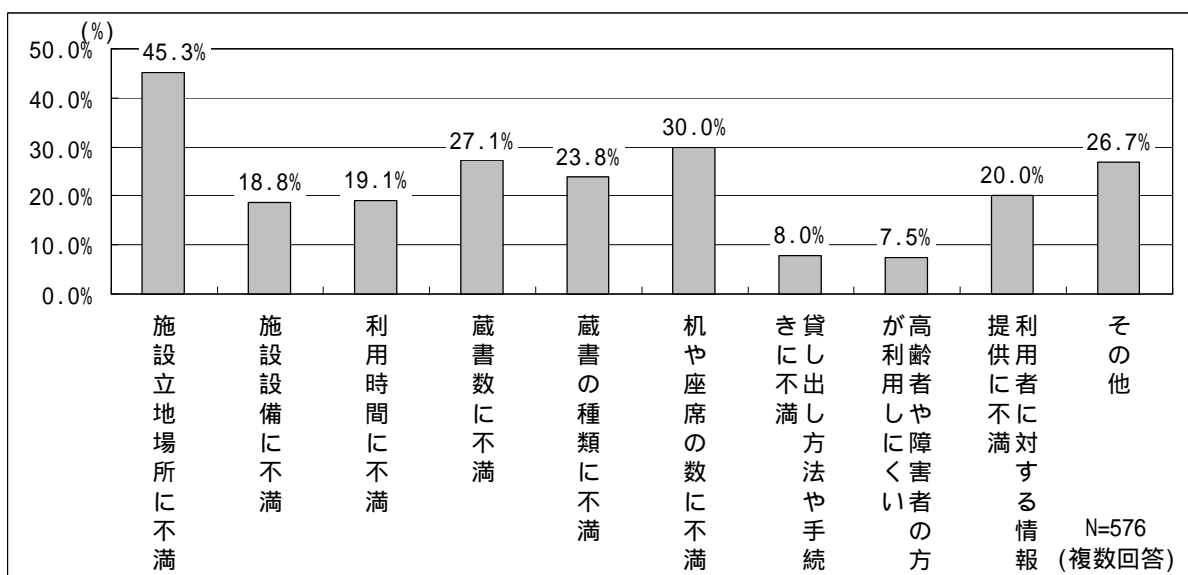
図 施設の満足度



問20-1 図書館について、どのような点が不満ですか

図書館の利用に関し不満とする理由について尋ねました。「施設立地場所に不満」(45.3%)が最も高く、次いで「机や座席の数に不満」(30.0%)、「蔵書数に不満」(27.1%)の順となっています。

図 施設の不満



(6) 学校教育施設

問21 学校を地域の人々が利用できるとしたら、どのような点に期待しますか

学校施設の有効利用について尋ねました。「運動場・体育館等の利用」(48.2%)が最も高く、次いで「防災拠点として活用」(35.0%)、「余裕教室を学童保育の場として活用」(34.3%)の順となっています。

また、年齢別に見ても、基本的な傾向には変化がありませんが、高齢になるほど、「運動場・体育館等の利用」の割合が少なくなり、「余裕教室を福祉施設として整備」の割合が高まる傾向にあります。

図 学校利用への期待 (全体)

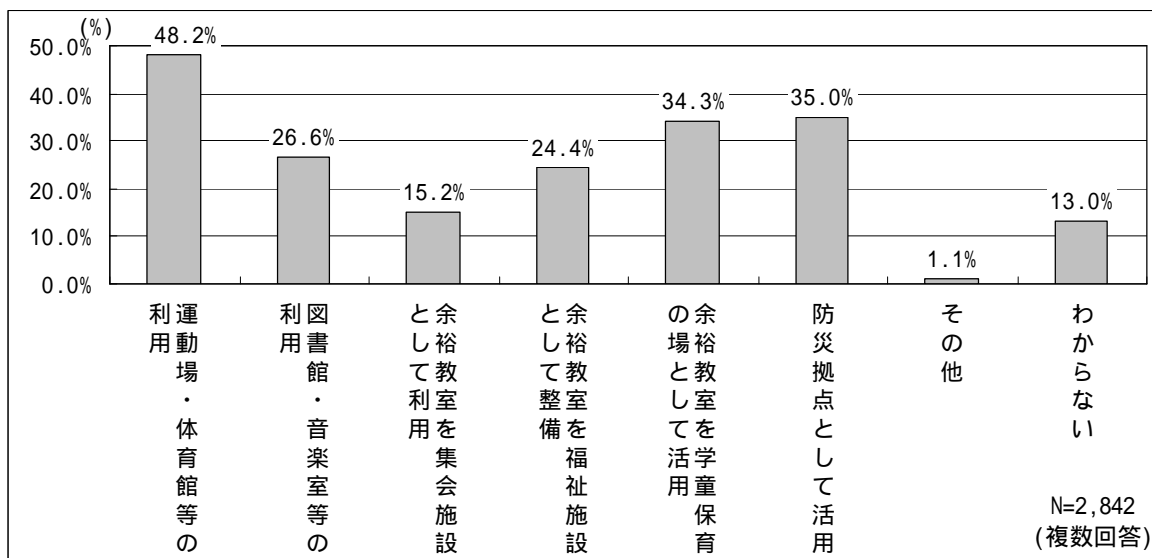


図 学校利用への期待 (18~29歳)

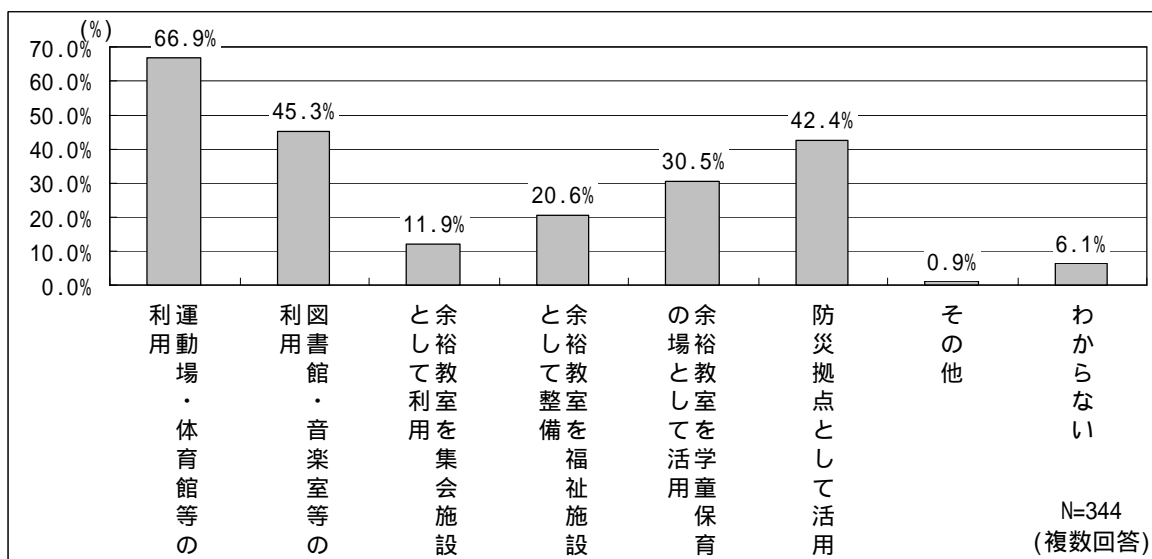


図 学校利用への期待 (30～39歳)

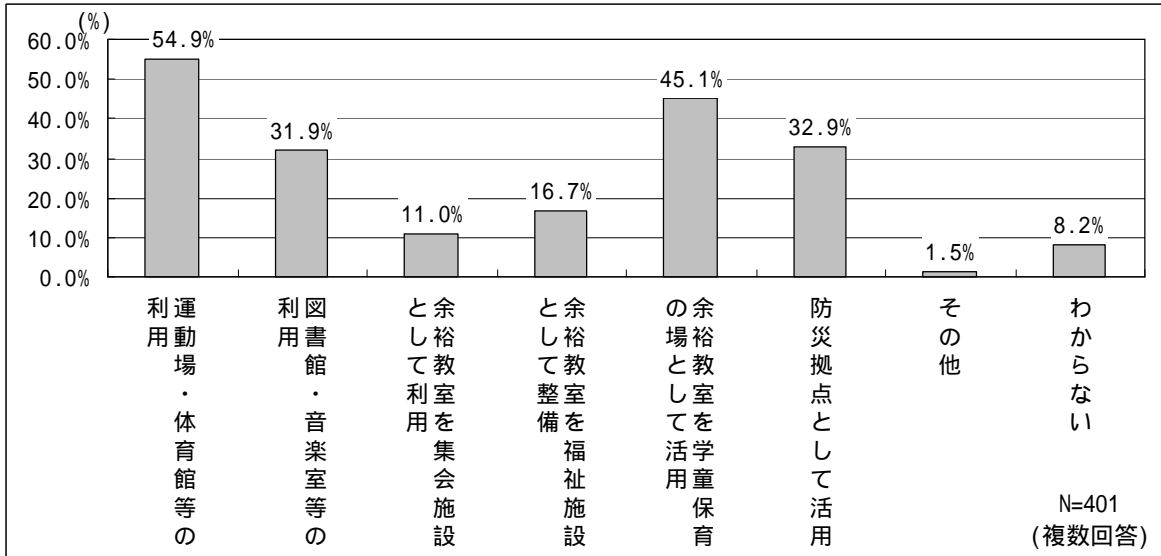


図 学校利用への期待 (40～49歳)

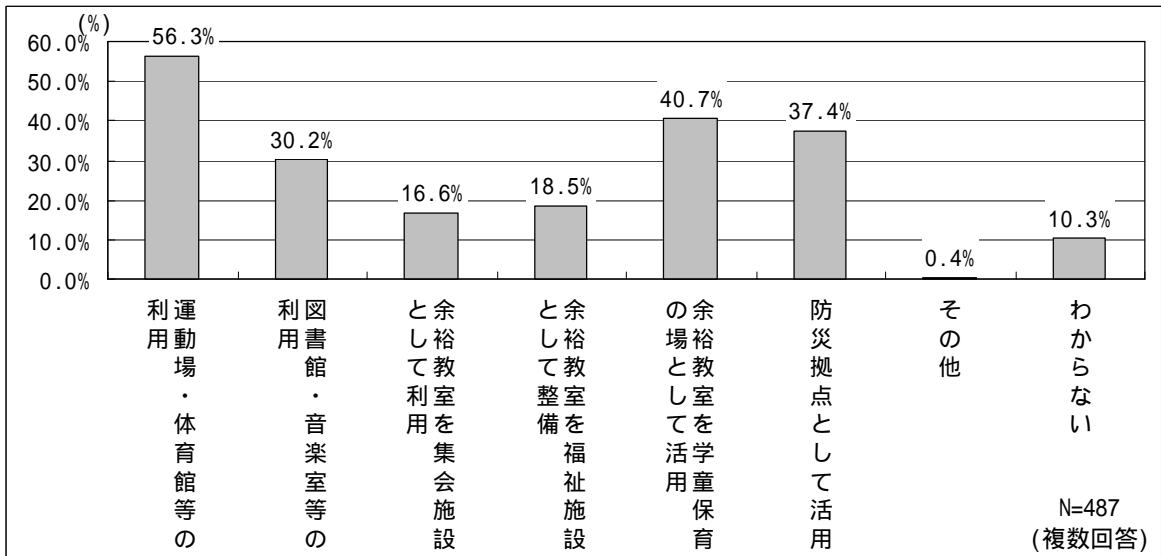


図 学校利用への期待 (50～59歳)

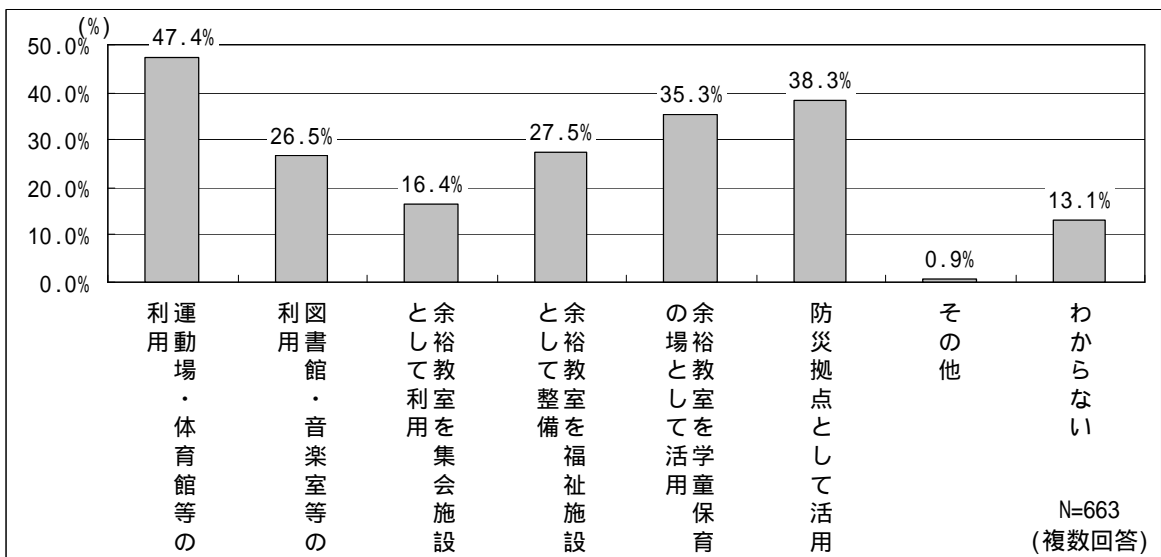


図 学校利用への期待 (60~69歳)

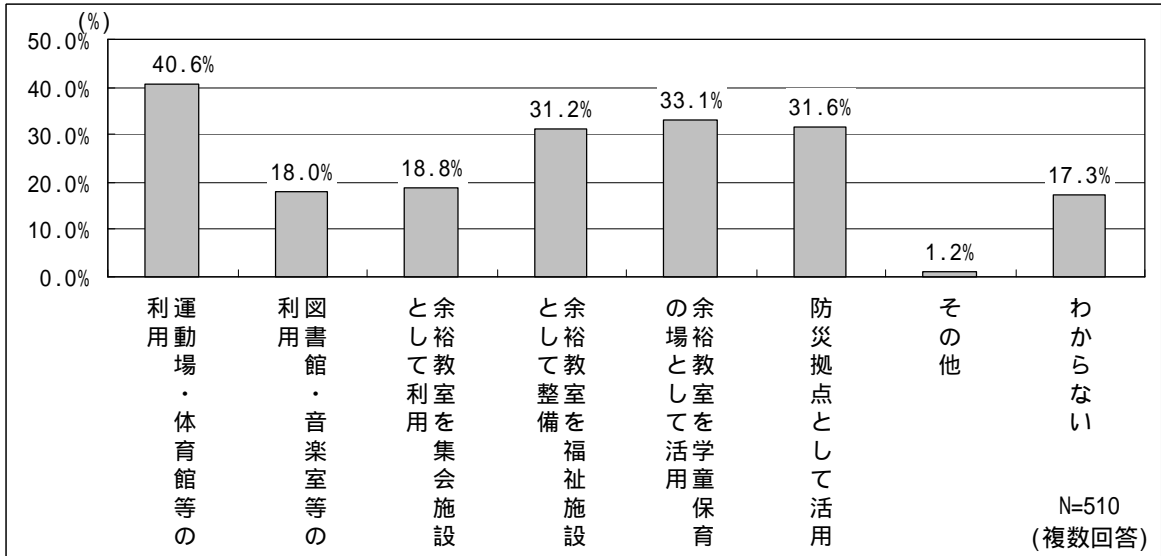
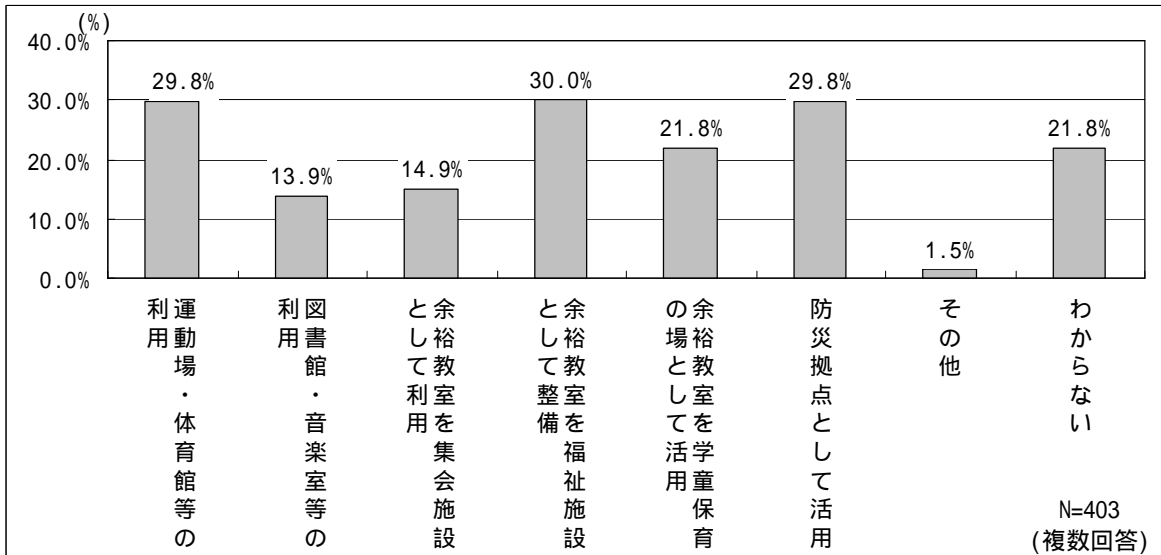


図 学校利用への期待 (70歳以上)



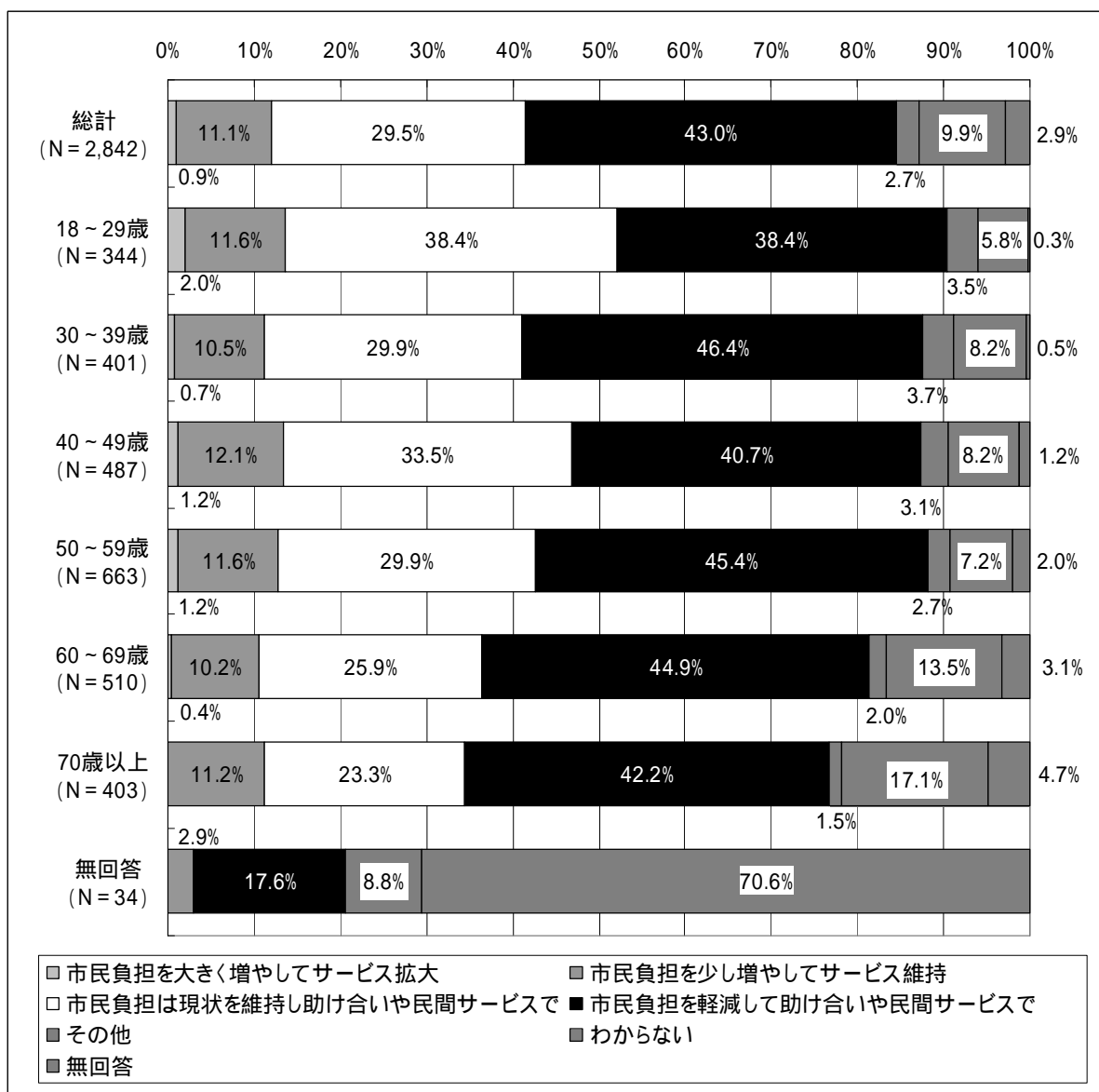
6 . 行政サービスの提供のあり方

問 2 2 行政サービスに対する市民の負担について、どのようにお考えですか

行政サービスに対する市民の負担についてについて尋ねました。「市民負担を軽減して助け合いや民間サービスで」(43.0%)が最も高く、次いで「市民負担は現状を維持し助け合いや民間サービスで」(29.5%)の順となっています。市民負担は現状維持又は軽減を望む意見が72.5%を占めており、いわゆる「小さな市役所」を求める意見が多くなっています。

年齢別に見ると、60歳以上の高齢者は「わからない」とする回答が増えており、判断にまよっている層が増えていきます。また、「市民負担を軽減して助け合いや民間サービスで」についてはすべての世代で概ね4割台の支持となっています。

図 行政サービスの提供のあり方



7. 自由意見

(1) 自由意見

総回答数 2,842 票のうち、26.5% にあたる 754 人の方が自由意見を記入しています。1 人の回答者の方が複数項目について解答している場合は、各項目ごとに件数を分けています。

1,088 件が挙げられており、5 つの行政分野では「安全・安心」(21.4%) が最も高い割合を占め、その中でも「交通」(10.4%) に関する意見が多くなっています。

また、5 つの行政分野以外の項目では、「行財政等」(14.7%) が高い割合を占め、次いで「施設等」(8.5%) となっています。

表 自由意見の分野別分類

分野	項目	件数	割合	
教育・文化・スポーツ分野	生涯学習	6	0.6%	
	学校教育	18	1.7%	
	社会教育	7	0.6%	
	芸術文化活動の促進	18	1.7%	
	国際化	1	0.1%	
	計		50	4.6%
産業・雇用	農林水産業	11	1.0%	
	工業	10	0.9%	
	商業	73	6.7%	
	貿易	1	0.1%	
	観光	46	4.2%	
	雇用	48	4.4%	
	全般	4	0.4%	
	計		193	17.7%
健康・福祉	介護、高齢者支援	9	0.8%	
	障害者自立支援	2	0.2%	
	子育て	38	3.5%	
	健康づくり	9	0.8%	
	社会保障	6	0.6%	
	全般	4	0.4%	
	計		68	6.3%
	環境・エネルギー	環境保全	23	2.1%
資源リサイクル		12	1.1%	
エネルギー		9	0.8%	
計			44	4.0%
安全・安心	防災	4	0.4%	
	暮らしの安全	23	2.1%	
	居住環境	93	8.5%	
	交通	113	10.4%	
	計		233	21.4%
行財政等	スリム化	48	4.4%	
	サービス向上	19	1.7%	
	意識改革	26	2.4%	
	広聴	16	1.5%	
	職員のマナー等	22	2.0%	
	税金・公共料金等	29	2.7%	
	計		160	14.7%
施設等	施設設備	70	6.4%	
	既存施設の活用	6	0.6%	
	主要施設の集積・集約	13	1.2%	
	施設等の名称	3	0.3%	
	計		92	8.5%
駅周辺の整備・活性化等		37	3.4%	
旧市民病院跡地の利用		16	1.5%	
イベント等		16	1.5%	
市民協働		30	2.8%	
まちづくり全般		47	4.3%	
アンケート		87	8.0%	
その他		15	1.4%	
合計		1,088	100.0%	

表 自由意見の概要

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
教育 文化 スポーツ	生涯学習	公民館などで子ども預けられるようにサービスを実施してほしい。
		図書館の書籍をもっと充実してほしい。
		市民がたくさんの趣味をもって、たのしく生活できればいい。
		子どもたちが地域(人)とかかわる機会や、社会を見る機会を充実してほしい。
		スポーツや地域活動を通じて、子どもたちを教育することも必要。
		公民館利用について、クラブ10人以下は、クラブとして活用出来ないとの事。どうにかならないのか。
	学校教育	教育においてはある程度詰め込み教育でもよいと思う。同時に昔の修身教育(道德)の様なものも取り入れるべきだと思う。
		八戸の教育水準を高めて欲しい。教員のレベルアップ、増員など教育の予算は減らさないで欲しい。
		教育委員をどのようにして選出しているのか。身近で実際に子どもに問題が起きたとき委員と学校が一体となり、苦しんでいる子どもを見捨てる状況があった。
		教育政策が著しく遅れていると思う。
		他から来た人がなかなか市民に受け入れられない。教育面(子どもたちの)から人間性を豊かに育てることが大切と思う。
		能力のない教師を放置しないで欲しい。きちんと教育しなおすべき。校長がしっかりチェックすべきである。
		教育は50年かかるといわれているので、教育に関して深く先を見通した計画と実行が今求められる。
		教育面に力を入れているようだが、個々の個人的な知識を高めるのに力を入れ、八戸の子どもたち、地域の子もたちに教育を与える環境がなっていない。市の予算をもっと子育てや八戸の子どもたちのために使えるようになるといいと思う。
		私はゆとり教育で学力が低下しているのが一番心配である。
		能力のある人材が育つ市は、発展していくと思うので、将来のために子どもたちの教育に力を入れてほしい。
		小学校の学習をその学校まかせにしないでもっと注意してほしい。
		私のまわりの子どもたちは日々の生活に余裕がなく、疲れています。ゆとりのある教育とは程遠いのが現実である。子どもたちの教育にもさらに力を注ぎ、将来のための投資を是非していただきたいと思う。
		子どもたちがどうのこうじゃなくて、先生方からしっかりやってもらわないと子どもたちの教育はよくなると思う。
		八戸の小学校でも学校によって40人学級ですが、人を育てる環境としては一日も早く少人数化を実現させてほしいと思う。
		学校に部活がないことと、学童保育がないことに驚いている。市内の子どもは皆同じ(平等)ではないのか。
		教育費はとてもお金がかかるものなので、出来れば何かの援助があればいいと思う。
		いろいろな設備等にお金をかけるよりも、病院や、学校の方にお金を使って欲しい。
	子どもが通っている学校はとても古く校舎のあちこちで雨漏りしている。	
	社会教育	独身者や夫婦世帯が地域へ貢献することが重要だということを教える教育が必要。
		昔みたいに子どもに気軽に話しかけられず、話しかけても無視される世の中であるのが残念。
		家庭教育が一番必要(重要)であると思う。
		市民団体・企業などのボランティア活動の活性化。
		各地区の優秀なリーダーづくり。
		将来をにう子どもたちの健全育成。
		犯罪のない明るいまちづくりに道德教育は必要だと思う。
	芸術・文化活動の促進	祭りやイベント、美術館の様なアーティスティックな空間がとても欠けているので、のばして欲しい。
		芸術パークの構想がストップしているということだが、どんどん進めてほしい。青森の他の市町村と比べ、音楽が盛んな都市であるのに、それに見合った施設が少ないのはとても残念。
某美術館で子どもに「もう一回券」というのを渡して2回目の入場料を無料にして、評判が良い。同様の事を取り入れても良い。		
文化・情報に関して遅れを感じないようにしてほしい。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
教育文化スポーツ	芸術文化活動の促進	美術館やホールのような文化施設が充実していないことが不満。	
		芸術に関する催し物が少ないので今後、そのような施設を建設し、もっと芸術文化を普及させて欲しい。	
		少し市民の負担があっても美術館、文化ホールなど他の施設があった方が良いと思う。	
		個人単位で自己表現したい人達が、もっと気軽に、安価で作品発表できる場所をつくってほしいと思う。	
		文化、芸術面が低い。	
		子どもが市のオーケストラに所属しており、市民病院跡地にホールができるのをとても楽しみにしていたが、予定はないのか。	
		八戸市に大きなホールが少ない。青森に比べて八戸は（歌手、プロのクラシック音楽、ミュージシャン）があまり来ない。	
		美術館は小さいし、活動に参加したくてもその情報がない。文化施設を充実させ、アートを全面に持ってきて欲しい。	
		公会堂を新築してほしい。有名なアーティストが八戸には来ないから。	
		八戸は芸術、文化、次の時代を担う人材を育てることに、もっと力を入れてほしいと思う。面白い企画があればよいと思う。	
		心いやされ感性を磨かれるような美術館が必要だと思う。	
		八戸芸術パーク計画には反対。	
		是川博物館歴史資源文化を観光産業と考えて、文化を産業に変える考え方で維持費の予算を稼ぎ出す。	
	国際化	今後は、“国際化”ということも念頭に入れた施策も実施していかなければ、取り残されるのではないか。	
産業雇用	農林水産業	八戸ブランドの確立	量より質を優先するべきだと思う。
			農業について、丸ごと販売するよりも、ベンチャー企業の育成などで新しい商品作りをするなど、支援が必要であると思う。
			もっと水産物の加工流通の研究に力を入れるべきである。
			漁業や農業の、単純に量による経営はもう限界だと思う。物を売ったり宣伝する等商売のノウハウを学ぶ機会も提供して欲しい。
			行政、学校、使う机、椅子、県内の森林資源を利用すると八戸県内の産業の活性化になる。市民から上記のようなことを提案できる仕組みをつくと小さなことでもいろいろの産業を起すことが出来ると思う。
			安全な野菜の供給。
			安全な農作物を食べたい。農家の方への指導や、「八戸の食品は安全安心」というブランドづくり等、考えて欲しい。
			八戸港は新しいものをつくるのではなく、今ある施設を手直ししながら有効利用を考えることが大事。
	みなとまち八戸が活かされていない（漁港の周りに人々が関心を持てるようなものがない）。		
	港・岸壁を市民のマリンレジャーへ開放したらどうか。		
	みなとの市場をウオッサンがある所にもうつし、駐車場を完備し、港が活気づくともっと漁業のまち、八戸がよくなると思う。		
	八戸魚市場の仲介のための緩和策を考え、八戸の業界の活性化を図るべきだと思う。		
	工業	企業誘致の推進	市民病院周辺は保健・医療のみならず総合的な開発企業の誘致進出に積極的に取り組んで欲しい。
			企業を増やして欲しい。
			企業誘致を積極的にするべき。
			もっと外部からの人が入りやすくなるような大学の充実や企業誘致などを活性化して欲しい。
			企業と手を組んでもっと仕事を増やすべき。
			北日本造船の工場増設は補助金を出してもポートアイランドに設置すべきであった。
		の創出	八戸市の活性化促進の為には色々な産業導入が必要なのではないかと思う。
新産業。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
産業・雇用	商業 魅力ある商業空間の形成	毎日中心街に人が出入りする状況をつくらなくてはならない。
		中心商店街がさびれている。
		三日町周辺は飲食街だけにした方が良い。
		空き店舗（閉店）の有効利用、なんとかならないのか。
		八戸市商店街に流れている広告宣伝マイクアナウンスの内容改善してほしい。
		まちの活性化はいかに人が集まるかだと思う。
		中心街に大型書店とCD店がないのが不便。空き店舗などを使って是非作って欲しい。
		買い物のできる場所が少ない。
		田向地区の大型商業施設はあった方がよい。医療関係だけではなく、商業施設も併せて備える事により、より発展性のあるまちづくりが行える。
		中心街を活性化するためには、三日町、十三日市、六日町、十六日町を大変換しなければ未来はないと思う。
		本八戸駅も改修工事をしてきれいになったが、街方面への坂にある商店などもっと活性化しないと淋しい。
		郊外型ショッピングセンターの建設により三日町等の過疎化が進んでいると思う。なるべく早急な対応が必要だと思う。
		人気のあるお店を都市から誘致し、町の活性化を図って欲しい。
		市中心街は思い切った改造をしないとだめだと思う。とにかく駅・中心街・港の三つの地点の結びつきを密にしないとばらばらで何も進まない。中心街への回帰策を考えないとまちそのものの活力がなくなる。
		中心街に純粋な本屋のない市は、全国でもほとんどないのではないかな。
		田向地区にたくさんお店が欲しい。
		アーケード街（防雪雨）建設。
		田向地区にもショッピングセンターが出来れば良いと思う。
		市民病院の近くに“ジャスコ”が来るはずだったのになぜ市長は市民（住民）の意見も聞かずに反対をしたのか。他からの参入が無ければ地元企業も伸びないと思う。
		娯楽で人を集めようと、映画館などを中心街に入れるのではなく、書店に付随したコーヒーショップなどの入ったビルが必要。
		郊外に大型 SC が出てきてにぎやかになるのは大変結構だが、その分中心街が空洞化しているような気がしてならない。
		三日町・十三日町の場所に大型スーパーがあってもよいと思う。
		中心商店街は小さな子どもをつれて歩くのが大変。遊ぶ場所や、休むところが欲しい。
		先を見て新しくまちが出来る事を節に願う。
		市民の望む、大型スーパー誘致を優先してほしい。
		若い人が欲しいと思っている商品や都心で流行している店を取り入れない限り、確実に現状よりも、人口、税金等悪化する。
		大型ショッピングセンターの誘致。
		最近みろく横丁が出来たが、それは大人だけの楽しめる場所で、子どもたちが楽しめる場所がない。
		憩いの場があったり、ゆったりと楽しみながらの買物、見て歩くだけでも楽しいまちづくりを願う。
		中心街だけが活性化するのではなく郊外、市全体を活性化させてみてはどうか。
		シャッターが閉まったままの店が多くなり、淋しいまちになってきた。もっと三日町から市内を見てほしい。
八戸の人達のお金が地方へ流出するよりも市民が望むなら大型店を考えてみてほしいのではないかな。		
今の三日町、十三日などはアーケードをつくり、歩行者だけの小さな専門店がたくさん集まる憩いの場をつくったらどうか。		
三日町、十三日町等中心街の活性化には早急に力を入れるべきだと思う。		
中心街は人が少なく、七夕や三社大祭の時位しか行かない。		
郊外型の施設も必要だと思うが、核となる都心の整備が急務だ。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
産業・雇用	商業	魅力ある商業空間の形成	市中心部の活性化について、みろく横丁にはあまり行きたいとは思わない。
			もっともっと中心街の整備をするべき。
			中心街再生とうたっているが行政がからむ事案なのか。商店街がまとまって自分達で進めてこそだと思ふ。
			中心街に人々が集れる所、施設を作り、活性化し、生き生きとした八戸のまちにしてほしいと思う。
			八戸市の固定資産税が他の県、市町村より高めなことが、八戸中心街空洞化に拍車をかけているのではないか。もう少し中心街経営者の税負担軽減を図ってはどうか。
			中心街の再開発は絶対に必要。財政的に厳しいのはわかるが、その中でも優先順位をつけて、ハード面の充実をはかって欲しい。
			都心地区エリアの都市再開発事業による都心地区の再生。
			郊外にだけ、施設などを待っていくのではなく、中心部に持ってきて集客することも、まちの活性化につながっていくのではないかと思う。
			早急に本八戸駅周りのまち中心部をきれいにすることを望む。
			三日町で色々な活性化となる計画イベント等に力を入れてほしい。
			中心街活性化のために市役所職員・住民が共にまちづくりを行える市になれるよう望む。
			八戸市民として同じ税金を払っているのに、中心地区だけ活性化させるのは地域間でかなり不公平があるのではないか。
			市の中心も大事だが、そこをとりまく地区に住んでいる高齢者の人達の協力を得て、様々な面からのまちづくりを検討してもいいのではないかと思う。
			市民として、八戸中心街は、魅力を感じない。まちづくりとかで、活性化といろいろな声が聞こえてくるが、表に出て見えない。NPO 立ちあげとか、シニアのまちづくりとか言っているが、それぞれで企画もいいが、全体像がみえない。八戸にいて買物がしたいと言われる様な商店街作りにも力を入れたらいいか。働く場所さえままならない。国際関係、水産等、目に見えない所で活性も必要だが、目に見え、他地区からも訪れるまちにしてほしい。郊外店もいいが、中心がなくなるとは、とても寂しい。山車会館を作るとのことだったが、ひとつのことを“ボツ”と出すのでなく、まち全体の構想があって手始めにこれから、次にこれといった案が市民には見えてこない様な気がする。行政は、市民には関係ない様な所で進んでいる様な気がする。
			中心街の再生は今後の八戸市にとって必要不可欠。既存の百貨店に頼らず、市や商工会議所が主導となりまちづくりをしていくべき。“はやて効果”は過去の事にならないよう。5年後・10年後を想定して、今から危機感を持って対策を考えていかなければならない。
			現在の旧市内の空洞化は、時代の流れ、車社会だとしても、大変に残念なことだと思う。単発のイベントではその時だけで余り効果は無いのではないか。「みろく横丁」の成功を参考にして、特色のある、学者、若者の集う通り(八戸の原宿)、老人の集いやすい区間(八戸の巣鴨)、なつかしの昭和の香りのするレトロな区間等も面白いかもしれない。八戸市では田向地区に保健、医療、福祉の広域拠点づくりに力を入れており、それはそれで結構だが、求人、企業誘致、道路の問題等市民の声に耳を傾け、住み良いまちづくりを行ってほしい。
			中心都市地区再生には、なにより駐車場。
			駐車場料金は土、日、祭日は普段の日より安くして客足を止めるようにする。
	街中の駐車場が利用しにくく、街離れを引き起こしていると思う。レシートを見せるだけで割引になるとか、駐車場マップをつくる等したらよい。		
	無料の広い駐車場が充実しているところには行きやすいが、そういう面を改善しないと、いい施設があっても利用しづらい。		
料金を気にしないでゆっくり食事や買い物をして長時間若者・親子が滞在できるようになるとよい。			
経営支援	中小企業	大型企業の規制により中、小企業を育て、共存出来る経済のしくみを変革してほしい。	
サービス等	商店のサ	商店街の店主の意識改革が必要。八戸のサービス業はひどいと思う。	
		商店の方々の対応の仕方、サービスが最悪。	
		中心街に買い物に行ってもいいが、店員などの対応が悪い。	
貿易		海のみ八戸として、八戸港、ポートアイランド等の整備、販売促進にも力を入れ、貿易港コンテナ定期航路もどんどん力を入れて増便させたい。	

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
産業雇用	観光PRの推進	八戸三社大祭の全国へのPRが不足していると思う。そしてこれからはジャズフェスティバルも全国にPRすべきだと思う。
		とにかく観光に関してはアピールが足りないと思う。
		三社大祭も国重文化財になったが、まだPR不足のように感じる。金額面の補助も必要。八戸は全面的に八戸の良さをPRしていない。一般の方達からも(PRの方法)要望等募集してもいいのではないか。
		八戸はとても良いまちで、誇れるものがたくさんあると思うので、もっともっと日本中(世界中)にこの素晴らしさを広めていくべきだと思う。三社大祭もねぶた並に広めるべき。
		えんぶりと三社大祭だけでなく、十和田湖方面や久慈方面(三陸)とつなげた観光ルートを作成して、大なるPRをして欲しい。
	観光受け入れ体制の充実	人の呼べる施設を新設するか確保し観光の目玉とする。
		八食センターにしても定休日を設けることで1つ観光スポットが減り、せっかく八戸を訪れた人にとっては残念なことになる。行政のバックアップも必要なのではないか。
		観光関係ではこれと言った目玉が少ないと感じる。水産のまちでもあるのに八食センターに定休日がある事は問題と感じる。
		マイナスをプラスに変える発想を。昔の飢饉(冷害)とか、安藤昌益とか、えんぶりとかヤマセとか、逆に観光資源に変えることはできないか。
		もっと観光面に力を入れて欲しい。文化的な事には特に力を入れて欲しい(美術館、博物館など)。
		飲食店は昼食の時間がほとんど11時頃～2、3時頃となっているが、何時でも気軽に食事が出来る様に働きかける。観光を目的とするならば常に営業出来る様に働きかけていただきたい。
		市内の歩行者天国。毎週土・日、(イベントとかで)市内に人が集まると思う。
		八戸三社大祭の山車、えんぶりなどが1年中見られる会館があればいいと思う。
		もう少し観光面に力を入れてほしい。もっともっと国内外から人々が集るようにすれば、まちも活性化し、。経済も良くなると思う。
		水産業者、漁業関係者等の協力を得て10年計画位で「水族館」でもあれば、観光の目玉となると思う。昔好評であった「産業振興展(品評会)みたいなイベントを大々的に実施して欲しい。(市民が活気付くと思う)
		施設、観光地までの道路整備、案内図が劣っていると思う。他から来た方のことを考え、特に観光地への案内は考えて欲しい。
		観光客に満足してもらえるように工夫してもらいたい。
		観光に力を入れるべきだと思う。八食センターの品物は値が高すぎて観光客に申し訳ない気がする。
		種差という有名な観光が有りながら年々さびれていく気がしてならない。力を入れて欲しい。
		八戸駅が新幹線の終着地点であるうちに八戸の観光地化をアピールすべき。
		種差を中心とした海岸線を整備して、観光客を呼んだらよいと思う。
		観光振興に関して、ひとつひとつは魅力的なものがそろってはいるが、分散していて集客力に欠けるのが難点。見るモノと商業・販売のつながり感が不足。
		蕪島をライトアップする。そして水産マリエント展望レストランのマッチングを考える。
		古式ゆかしく格調高い「八戸三社大祭」は年々観光客らが増え、これからもどんどん力を入れてほしい。民俗芸能「えんぶり」も後継者の育成をしっかりとこれからも盛り上げてほしい。
		パチンコ店だけ土地を売ったり、貸したりせず、観光客を呼べる施設名所の建設を至急行ってほしい。
		観光客をどこに案内して良いかこまるような所でさびしい。八戸の玄関口があまりにもさびしい。
		県外から来たお客さんのために、中心街付近にあるお店とかに無料のわかりやすい中心街の地図を置いてもらいたい。
種差海岸の高山植物群を見ながらの遊歩道散策はすばらしい。プレイピア白浜のかたくり他、山草、あじさいの数の多さも驚きである。このような自然に恵まれていることを活かして欲しい。		
飲食店を活気づけるため、人を呼び込む企画等の計画・八戸産の海産物のPR。		
無駄な費用を掛けず、各々の専門家からも知恵を出してもらい、自然から受けている観光資源(蕪島や種差海岸等)の恩恵を最大限に活用できれば良いと思う。		
白浜をもっと広くしてほしい。テーマパークなど、楽しめる場所を作ってほしい。		
八戸祭の際の自家用車規制について、中心通りから400m程度の所に駐車場を4～6箇所設置できないのか。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
産業・雇用	受け入れ体制の充実	三社大祭は見る場所の工夫をして欲しい。	
		三社大祭の仕方考えたほうが良いのではないか。今のコースでは山車の全体を観ることのできる人は所々開いた場所にいた運の良い人だけ。	
		三社大祭を日本一の山車祭りと言っているが、せっかく見に行っても、閉じている山車を見ても何にもおもしろくない。まずは電線地中にしたりと、工夫したらどうか。	
		8月～12月まで祭がないので手踊祭りなどしてほしい。	
		三社大祭を絶対、土日が入るように調整してほしい。	
	観光	産業観光の振興	海というテーマで八戸を上手にアピールする。
			八戸市発展の為に観光と漁業と農業の産品をアピールして県内外の人達を引き寄せる。
			南浜地区にある漁具資料館に、全国的にもスケールの大きい、体験学習なども出来る内容の充実した館を建設したら、観光面にも大きく役立つと思う。
			観光振興＝もっと見学をしたり勉強したり、話し合ったり、人口が増えない中でやることなので、しっかり考えて少しレベルアップをして欲しいと思う。
			都心地区の空ビルを観光客用にえんぶり三社大祭等の体験できる展覧場にして欲しい。
			漁夫塾、イカ釣、定置網、延縄、ロープ結び等初歩的なものが欲しい。
			海を生かした観光スポットをつくる。
			現場産業や指定文化財を観光に、他県からの集客を延ばしてほしい。
	産業・雇用	就業機会の拡大	60才以上でも仕事出来る八戸市にしてほしい。
			雇用に対する政策(工場立地、IT産業等受け入れ)に力を入れてもらいたい。
			今仕事をしたくても職場がない人達が多く、子どもがいるからという理由で断る会社も結構ある。
			Uターン雇用を積極的に支援すべき。
			雇用対策、景気対策を重点的に推進するべき。
			失業者対策をしてほしい。特に40～50代のリストラされた人が職安へ行っても年令制限等で就職見込みが無い。
			まちの発展は遊ぶ場所ではなく、「働く場」を際限なくつくることだと思う。
地元で就職先があれば良い。			
新しい企業を市内へ呼び、雇用を増やすことが市内の企業の刺激にもなる。			
ニート対策、就職確保を八戸の特色を出して整備して欲しい。			
Uターンで八戸に若者が集まるようなまちづくりを望む。			
安定した雇用。			
50歳以上の仕事がない。			
現在の八戸は就業率が低く市民全体の活性が低く感じる。			
高齢者でも雇用されるような会社を誘致して欲しい。			
産業振興雇用拡大の施策強化を望む。			
仕事を選びやすいまちづくり。			
若い方にも働く場所を提供して欲しいと思う。			
失業者が多いので雇用問題についてももっと考えるべきだと思う。			
雇用の促進・拡大。			
いくらでも予算をつけ、働く場を市民に提供してあげてくれた方がいと思う。			
若い人達が住むには仕事がないため、もう少し仕事がある社会にして欲しい。			
雇用の場が少ない。			
子どもや孫たちが県内で仕事出来るようにしたいと思います。			
全国的にも厳しい不況地域なので雇用面の充実を。			
仕事がないなら生活できないので、八戸市どころか青森県を出なければならない。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
産業 雇用	就業 機 会 の 拡 大	県外企業の誘致など、雇用の確保をしていかないと、若くて才能のある人達は、どんどん八戸を出て行くと思う。	
		新卒者、市民が働く所を「市」はことごとく断ってばかりで何も考えて無い。	
		産業の活性化と共に、子どもの頃からの職業意識を育てる教育が必要。	
		1ターンを促進し、若い人を八戸に定着させるような魅力ある市にしてほしい。	
		大きな店、企業が進出すると八戸市全体の活性化にもつながり、大きな雇用にもつながる。	
		山車会館をつくる前に大きなショッピングモールの一つでももってきて、雇用促進につなげて欲しい。	
	境 働 働 備 環	労働基準監督署には取締りを強化して欲しい。	
		八戸市の条例に「1月1日はお休みするように」と入れてほしい。	
健康・福祉	介 護 ・ 高 齢 者 支 援	高齢者を取り巻く生活環境なども見逃すことは出来ない。	
		旧市民病院跡地併用について、市内に絶対数不足の老人ホーム(グループホーム等)施設が必要。	
		年寄りに優しい八戸市になってもらいたい。	
		高齢者が安心して住めるホームがあったらとつくづく考えております。	
		デイサービスには要支援者でなくても80歳を過ぎたら誰でも利用できるようにして欲しい。元気な人でもみんなとコミュニケーションが取れるように利用体制を考えて頂きたい。	
		認知症等の病気などの施設(中身)をつくったらいいと思う。コミュニケーションの場を作ってみてはどうか。	
		老人ホームを増やしたほうがいいと思う。	
		60才以上の元気な方は自分の老後のためにも働けるうちに老人福祉に協力し、動けなくなったら利用したいと願っている人が多い。	
		高齢者の方々に対する行政のサービスが、過剰すぎるのではないかな。	
		障 害 者 自 立 支 援	障害者用ケア付住宅(緊急時対応含む)の設置を望む。障害者用の屋外運動又は散歩できるような設備のある施設をつくって欲しい。
	障害者、福祉施設の充実、受け入れ先をもっとふやすなど行ってほしい。		
	子 育 て	子 育 て 家 庭 へ の 支 援 の 充 実	新生児・小児に対する医療をめざすべきではないか。乳幼児の医療費を収入に関係なく小学校入学まで市で負担する等してほしい。
			若者が住みたいと思えるまちづくりをしていかなければいけない。八戸市は子どもを産みたくても産めないまちだ。
			八戸独自でも安心して子どもが3,4人産めて生活できるような対策をしてほしい。
			男親にも父子家庭料金などあってもいいのではないかな。
			児童手当などの援助が大きくなればもっと出生率が増すのではないかな。
			教育費はとてもお金がかかるものなので、出来れば何かの援助があればいいと思う。
			少子化対策は長期的に少しでも増えるような安心して産み育てられる環境をつくる必要があると思う。
			15歳まで子育て手当で医療費補助など課税額に関係なく一律に支給するなど、少子化対策に取り組んで欲しい。
			子どもの支援を手厚くして欲しい。八戸市も6歳まで医療費無料にして欲しい。
保育園の保育料が高過ぎる。			
経済の根本である人口問題に対して積極的に政治的打開策があると思う。			
子育て支援。雨の日や冬場に子どもが遊べる場が欲しい。			
労働人口のためにも少子化問題の解決を。			
就園奨励費(すくすく)を、今迄通り出してほしいと思う。			
保育園の数が少ない。			
青森市では、母子手帳をもらった際、市内の地図に保育園、幼稚園、学校、病院の場所がついて、保育時間、延長保育の有無、デパートやちびっこルームの案内などついていて、とてもよかったので、そういうものを作っていただきたいと思う。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
健康・福祉	子育て 子育てと仕事の両立支援の充実	緊急医療、病後児保育、児童館等、少子化を問題としているにも関わらず、まったくといっていいほど改善されないことは残念。
		出産後の社会復帰が難しい。母子家庭への援助が必要。
		女性がかたがと働きに出やすいまちになってほしい。小さい子どもがいると預ける所がないから働きに出れないといった矛盾が生じ、それが少子化という問題を起こす原因になっていると思う。
		病気時保育が出来る園を増やして欲しい。
		学童保育も充実し、安心して働ける環境を整えて欲しいと思う。企業にも働いている母親たちにもっと理解を示して欲しい。地域活動、PTA 活動にも、もっと積極的に参加できるような理解も欲しい。
		学童保育の時間を長くして欲しい。
		働く女性が安心して子育て出来るような八戸市にしたい。
		保育園の料金をもう少し安くしてほしい。予防接種でおたふくかぜ、水ぼうそうも無料にしてほしい。働きながら子育てがしやすい環境にしてほしい。
		すべての学校に学童保育を設置してほしい。
		健全なる子どもを育てるために子どもが学校に行っている間、母親に9時～15時頃までの仕事があっても良いのではないか。
		放課後子どもを預けられるように、児童館がなくても生活館などを開放し、親が安心して働ける市町村であってほしいと思う。
		なかよしクラブの時間等、小学校によって違いがあったり、八戸市立の小学校なのに、場所によって条件が違うのはおかしいのではないか。女性達が安心して出産できて、子育ての中で不安を考えさせないような取りくみをしていけば、少子化は防げるのではないか。
		小学生を下校後に預けるプレイルームについて、保育所に入っていた人だけしか使えないのだが、子どもが入学したので仕事を始めたい人もいる。誰でも安心して出産し、子どもを育てていけるような環境を整えないと少子化は進むと思う。
		小さな子どもがいる女性が働ける環境、雇用施設の促進。
		一時保育を利用できるところが少ない。
	女性が子どもをもっても安心して働けるような施設（託児所等）をもっと増やしてほしい。	
	現実として子どもを産もうにも、民間に勤めていては産休など無いどころか、辞めざるを得ない状況である。母親ひとりでの育児は介護と同じように、何かサポートがないと精神的に厳しいと思う。	
	健康づくり	高齢になったときに医療の充実した施設が十分あるか不安。
		救急の対応等他の区市から見習うことが山のようにあるはず。
		福祉サービスをもっと良くして欲しい。もっと情報をアピールして欲しい。
		休日夜間診療所の時間帯をもっと広げることではないか。
		いろいろな設備等にお金をかけるよりも、病院や、学校の方にお金を使って欲しい。
		職場にカウンセラーや医師の訪問や何らかの方策があった方が良いと思う。
		市民病院は高度医療も必要かも知れないが、市民のための病院であって欲しい。
		医療費控除となる給料の上限が低いと思う。
	社会保障	病気がケガのリハビリのできる所の情報が誰にでもわかるようにしてほしい（広報など）。
		生活保護者について、外から見ていると悪用しているように見える人がかなりいるので、しっかりチェックをして欲しい。
生活保護を受けている方が、国民年金を掛けて最低金額を受給されている方よりも多い金額を受給されているのに不満を感じる。また、医療費等も当然のように保護されている現状を見ると、不公平を感じる。		
生活援助世帯が高級車を乗り、ピアノを持ち、プレハブに入っている人が高税金を払っている。		
年金の充実を徹底して欲しい。老後が不安。		
高齢者になったら年金をもらいたいと思う。掛け金を強制的に進めること。		
環境・エネルギー	環境保全 共生 自然との	もう少し、自然を楽しめるような所を一般に開放して欲しい。
		自然を削って道路区画整理などに力を入れているが、必要な道路はあるのだから自然を残すべきだと思ふ。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
環境・エネルギー	自然との共生	周りの自然・空気のきれいさと食物がおいしい地元のよさは、都市部では一度失われると二度と戻らないものだと思う。こうした環境の良さを活かした「まちづくり」を望む。	
		自然をたくさん残し、緑化を取り入れたエコロジーなまちづくりを望む。	
		山々の中に道路を広げ、小動物が車にひかれて死んでいくこと等に心が痛む。便利の良さは住みやすい都市ではないと思う。	
	環境保全	生活環境の保全	水産会社等の汚れた廃水が港湾内に出ているが、指導等はしてもらえないのか。
			八戸は工場の影響だと思うが、空気（大気汚染）が悪い。環境面でもどうにかしてほしい。
			騒音の音量指定を市が中心となって強く行なうべきだと思う。
			環境面では、悪臭対策に力を入れてほしい。
			ペットを飼っている方のマナーの悪さ。
			ペットのフンのしまつ等の条例をつくって欲しい。
			農家のわら焼きなのか、草を燃やしているのか、こげ臭い臭いがしてくるが、市以外の町村では、わら焼きは、禁止されている。
			不衛生な家の指導をして欲しい。
			小中学校や公民館でのアスベスト調査結果が10月下旬ということだが、どこの学校なのか、どの程度危険なのか、少しでも情報が有ればと思う。
			吸殻・ゴミが捨てられているのが多い。
			道路におけるゴミのポイ捨てについて、市が条例でも作って、もしくは警察がパトロールする。
			山林でのゴミ捨て（テレビ、タイヤ、自転車等）に困っている。自然環境保護についても市で考えてほしい。
			菜種油で農機を動かして農業をしたいと思う。
	排気ガス規制の八戸市にしてほしい。環境立市を宣言しているので、市民の健康を大切にすまちづくりをするべき。		
	資源リサイクル		物を大事に使うことも重要である。行政担当者も自然と人間のかかわりを啓蒙して欲しい。
			各地域の町内会・自治会に協力してもらい、使用可能または若干修理して使えるものを提出してもらい、それらを遊休施設、余裕教室、障害者施設に集め、障害者を中心としてボランティアに協力してもらい修理したのち、展示販売してはどうか。
			ゴミ袋が高いと思う。
			ゴミの分別・指定日の利用について、祝日扱いの混乱があるため、祝日扱いを廃止し、通常通り実施するとよい。
			ゴミの不法投棄、ゴミの出し方（収集日）等、その取り締まり・指導を徹底して欲しい。
			八戸市の有料のごみ袋は薄すぎると思う。すぐ破れるので、道路でもゴミが散乱していることがある。値段に合ったもっとじょうぶなゴミ袋にすべき。
			ゴミの集積場にしても簡易な建物でもよいから設置するといいたいと思う。
			事業所系のゴミは収集しないことになっているが、実際には家庭ゴミとして出されている。もう一種類事業所用の袋があれば自宅兼会社・病院又は少ししかゴミが出ないようなところは出しやすくなるのではないか。
			資源ゴミを家庭で利用できる具体的なもの（古市の利用等）を毎月広報に載せてくれるとよいと思う。
	エネルギー		市営バスの時間調整で停車している時はエンジンを切る。
			クリーンエネルギーの開発にはエールを送る。
			新エネルギーについてはがんばって欲しいと思う。
			ソーラーの設置とか、雨水の利用とか、一般家庭で設置するときの補助はないのか。
			エコレンジャーに力を入れるよりもせっけん推進とか、もっと役立つ事をやってほしい。クリーンエネルギーを望む。
			市民エネルギー会社については、数十億の資金を投じてまで、設立が必要とは思わない。
			クリーンエネルギーに力を入れるのはとても良い事だと思うし興味もある。力を入れて開発して欲しい。
八戸市は市民エネルギー会社の設立を検討しているが、もっと目に見えない部分で、税金を使って欲しい。ハード面は十分だと思うが、ソフト面はまだまだだと思う。			
市民エネルギー会社は、いずれ必要だとは思うが、現在の財政赤字等を解消してからが良いと思う。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
安全・安心	防災	せっかく造った防波堤を壊してまでも、新しい埋め立て陸地を造成している。市民の安全と命を守る行政を忘れないで欲しい。
		下長地区の洪水対策を進めて欲しい。
		消防署(役所前)が交通渋滞で大変そうなので、もっと広いところに移転してはどうか。
		市も協力して、消防団員数を増す。
	暮らしの安全	パトロールをもっと徹底して、安心して誰もが、ゆったり出来るよう治安を改善して行って欲しい。
		地域住民の交流が全くなく、川の土手を徒歩していると数十台の路上駐車など防犯面で、とても不安がある。
		事件のない平和な生活を過ごしていきたい。
		各町内の防犯対策は大変重要だと思う。ボランティアの方々に交付費等を与えてはどうか。
		八戸のまちの中は道がせまくて車のマナーが悪いと思う。
		裏通りの車のマナーをどうにかして欲しい。両方に停車されて困る。
		中心街の違法駐車、迷惑駐車を何とか改善して欲しい。
		共働きばかりの社会で、子どもたちの安全も不安。
		子どもたちの通学路に外灯を設置して明るくして欲しい。不審者や変質者の多い時代、子どもたちをまもるためにもぜひ外灯を増やして欲しい。
		街路灯が少ないと思う。道が狭く坂が多いところは危険を感じる。
		三日町や長横町に交番があった方が、安心できると思う。
		街灯が住宅地に少ない。
		不安に感じていること、安全に関することを一番にやってほしい。
		安心して保育園を利用したい。
		外灯の点検やパトロールに力を入れてほしい。
		福祉と安全に力を入れ、市民が安心して暮らせるようになっていけたらと思う。
		警察は改造車を取り締まらないのか。
		自転車の放置を見のがし過ぎ。パトロール強化して欲しい。
		市の方では路上駐車を減らす方法を検討していただけないか。
	居住環境	自分の町内は自分達で守る・美化する・清掃する、町内会への報奨金制度の導入 美しい景観賞の町版。
		弱者でも安心して生活できる様なまちづくりにしてほしい。
		花に満ちた八戸市にして下さい。
		八戸は街路樹の下も草ぼうぼうで恥ずかしく思う。皆でもう少しまわりに目を向け、せめて家の前の道路の清掃だけでも行政に頼らず、こまめに掃除したらきっと見違えるようにきれいなまちになると思う。
		無駄な町内会費を減らし、町内の美化に力を入れたらとよいと思う。
		市役所の立体駐車場は段差や階段がたくさんあり、エレベーターも狭いため、ベビーカーや車イスなどにとても大変だと思う。キッズルームのような広場(遊び場)や授乳室等も置いて、もっと親しめるそんな場所にして欲しい。
		八戸市自体が観光施設のような、例えば駅前をいくつかのブロックに分けてアジア的、ヨーロッパ的に建物を変えたり、または昭和初期のような昔良かった時代を体感できるようなまちづくり。
		高齢者や障害者にやさしいまちづくりをして欲しい。
		現在の居住地区にはスーパー、コンビニなども無く、また公共施設等の利用にも全て車又はバス等の利用をしなくてはならない。日常、最低限な生活を送れるまち(地区ごと)作りをしたら、まちの活性化にも繋がって行くと思う。
		八戸線の草や木などが自宅側にまで生長し、害虫などの発生、雑草による自宅への巻き付などの処理が大変。JRと協力して早い時期での雑草処理を望む。
自家用車使用者、壮年健常者以外の人には、暮らしにくいまち。これからは特に各種弱者も積極的にまちに出られることが必要。		
「人を集める」のではなく「人が集まる」まちづくりも必要なのではないかと思う。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
安全・安心	居住環境	住民が居心地良く感じられるまちづくりを。現在はまち並みも看板もバラバラで雑然としていて、感じよくない。外観や使用する色合いを統一感を持たせた美しい街並みを望む。
		フラワーポットは歩く人の邪魔。
		まちの景観をそこなうような形、色の建物や看板が目立ち、何とか改善して欲しい。
		八戸市は全体的に風が強い為ホコリが多い様な感じがする。道路清掃は重点的にやってほしい(特に春先)。
		八戸の歩道は草が茂ってきたない。道路もきたない。
		快適な街並み、空洞化対策、高齢者対策。
		JR 八戸線(特に湊～鮫)の沿線の美化対策と港の活性化に力を入れる。
		八戸は緑が少なくなった。
		身体障害者でも自由に散策できるようなまちづくりをして欲しい。
		せっかくプラタナスの下に花を植え、美化運動していたのに、水やりはまったくない状態。町内会にもお願いしたのか。
		障害者が安心して歩ける(車椅子)道路、店内である事。
		分離帯・側道に植栽された植木物の維持管理をどうにかならないか。ゴムマット敷きにした方がすっきり出来るのではないか。
		市内(中心街)は意外と緑が少ないように思う。それに友人とあえてもゆったり憩う場所などない。
		馬淵川の土手に桜の木を植えられないものか。
		上長地区を早急に開発して欲しい。
		何をあいてもくみ取り便所だけは解消してもらいたい。
		上長地区には、大きな運動公園がないので不便。
		県内、国内と比べると下水道の整備率が低い。
		公園内で特定の場所以外は禁煙にする。公園内で犬の散歩は緑地に立ち入らない。
		公衆便所が少ない。
		緑化で、公園・外路樹を植えても、整備不足では危険になるので、地域の住民に委託してでも整備すべき。
		大きくてきれいな建物ではなく、子どもが自由に遊べる広場が欲しい。
		下水道を利用する世帯が少ないので、1日も早く下水道が通っている地区の家庭全てが利用し、きれいな海になることを願う。
		沼館地区の公園整備を進めて欲しい。
		公園にW / Cの設立。
		古いまちも整備して欲しい。
		八戸は公園が整備されたところが少なく、館鼻公園を大きく整備したら、とてもすばらしい所になると思う。
		下水道を早急に広域に普及させて欲しい。
		西糠塚の区画整理を望む。
		鮫町や大館地区にもっと誰でも住宅を建てられるようにしてほしい。
		公園に石碑が建ててあるのに、水道がついていないのは絶対におかしいと思う。
		芝のグラウンドがある公園が欲しい。
下長地区の下水の整備が悪い為生活が出来ない。		
八戸市で低価格の土地を探すと市街化調整区域ばかりが多く、若い世代ではなかなか家を持つことができず、近隣の百石町や階上町、下田町へ引っ越す人が私の周りには少なからずいる。		
小さな子どもが遊べる公園の整備にもう少し力を入れて欲しい。		
側溝を通すと生活用水をたれ流す方がいて、冬にはひどい悪臭に悩まされるし、何より不衛生なので気がかり。		
子どもたちが遊ぶ公園が近くにないので、空き地などを利用して自転車に乗る場所などを作って欲しい。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
安全・安心	居住環境	60歳以上の老人が多くなるので、老人と子どもが憩えるような場所(ミニ公園)が必要ではないかと思う。	
		児童公園は各地にあるが、場所により子どもの安心して遊べる遊具が揃っていない。就学前の子どもたちでも安心して利用できる滑り台やブランコ等の整備を是非して欲しい。	
		市営住宅をいろんな地区に作ってほしい。	
		中心商店街に老人や子どもが集まるように公園や、住宅を造るなどしても良いのではないか。	
		古い住宅地にも早急にインフラ整備を。	
		市営住宅が老朽化し、住人が減少しているの、早く建て直しをしてもらいたい。	
		独身者・障害者が入居可能な、坂道、バス等が便な所に市営住宅を整備して欲しい。	
		広い道路と公園といやしの空間があれば良いと思う。	
		公衆トイレについて、使用時間制限あるトイレは大きく表示して欲しい。障害者も一般のトイレを使えるよう、間口を広げ、洋式にして欲しい。	
		のんびり外の風景(緑、人々)を見ながらくつろげる空間があると良い。	
		八戸市のほとんどで(市役所、駅をはじめ商店含め)トイレが狭く臭くて汚い。	
		中央幹線道路、沿線は下水道が設置されていてよいのだが、桜ヶ丘地区は個人の不動産を営業する分譲地の為排水設備が幅10m程度のおもちゃみたいな排水溝の上、放水溝に接続されていなくてたれ流しの状態である。衛生面からも非常にまずい。	
		長根運動公園「氷の都」といわれているが、市民のいこいの場として、整備してほしい。	
		区画整理の話がだいぶ以前からあるが、何年たっても具体的にならないので、どのようになっているのかははっきりしてほしい。	
		河原木は、公園が多いけど、中心街に近い柏崎などには、公園が少ない。	
		子どもを安心して遊ばせられる施設を増やしてほしい。	
		他県から来た人は、食、住、国保税の高さに必ず驚く。無料道路に注ぎ込む金を無料住宅に回したらきっと人も集まると思う。	
		市の道路の排水用側溝が約50m ぐらい道路の低い方より高い方に土の中を通っており、詰まって大変。市の道路の側溝は高い所より低い方に自然に流れるようにしてもらいたい。	
	下水への流れを良くすることはできないのか。		
	何をつくるよりもまず空き地を作り自由に車を止めれる場所があれば人は集まると思う。		
	長根運動公園の駐車場が狭い。		
	交通	公共交通	検診センターから町内にバス送迎することはやめた方がいい。
			市営バスに乗り換える場所が歩道橋しかなく、高齢者の方にはとてもきついし、とても危険だと思う。南部バス区域も助成対象とし、乗り換え不要として頂きたい。市民病院行きもあると便利だと思う。
			市営バス・南部バスの充実化を望む。
			老人の福祉や市民の足であるバスや交通機関の乗るところを低くしてほしい。
			市営バスで行けないところは、1回くらいバスを乗換えしななければならないので、不便。
			河原木団地からラビアやピアドゥ、八戸駅など行くバス路線がないので、もう少し利用しやすくなると良いと思う。
			河原木団地から日赤病院行きのバスが1往復だけでもよいからあったらいいと思う。
		是川から八戸駅に行くバスがないので不便を感じる。	
		高齢化社会の中ではバスは必ず必要となる。今の状態は鮫、白銀、湊、岬台、湊高台地区などからは乗り換えをしなくては市民病院のある田向地区へ行くことができないので、乗り換えせずに直接病院へ行けるようなバス路線の充実を望む。	
		三戸方面 一日市 八戸駅 城下、江陽方面の直通ルートのバスがあれば、通勤車両が減少するのではないか。	
		八戸駅からのアクセスをよくするためにも、中心街行きのバスの本数を増やして欲しい。時間帯も拡大すべき。一日乗車券の利用可能な日を増やして欲しい。	
		市商工会、市内の各企業に協力してもらい、通勤のノーマーカー・デーをつくってはどうか。	
		地下鉄がほしい。無理であればバスの時間を深夜まで延長して、便数を多くしてほしい。	
		市の中心地にバスターミナルを設けてスムーズな交通網が出来るようになってほしい	

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
安全・安心	公共交通	南部バスと市営バスの共存(時間的にかたよらないような)。	
		バスの便がいい所はとて良く、悪いところは悪過ぎる。	
		本八戸駅始発のバスを、夕方ぜひ運行してほしい。	
		環境の面からも公共交通を使い、通勤、通学ができるように利便性の高いものが必要だと思う。	
		事業所のバスを利用した通勤経費の安くできる方法考えて欲しい。	
		通勤通学時は大型バスも必要だが、日中少人数しか乗っていないバスは思い切って小型に切り替えてはどうか。	
		八戸バスの小型化(市営)。	
		市営バスについて、金沢市は小型バスが100円でステップが低く高齢者も利用しやすく感じたが、八戸市でも検討してはどうか。	
		市営バスの民営化はやはり絶対に必要。	
		市営バスについて、このまま同じ事をくりかえしては行政のバランスが取れないので、知識人、業会、民間人、多方面からの意見を取りまとめ思いきった改善策を期待する。	
		市営バス事業に関して、将来の不採算が予想される路線は民間へ早期に移管するべきだと思う。自家用車普及の流れは仕方ないので、それに伴い市営バス事業を縮小し、人員整理を行ったほうがよいと思う。	
	交通	道路	吹上地区の環状線早期開通。
			歩いていて道に傾斜があって冬などとてもすべって困っている。
			八戸西高から国道454号に到る道路が狭いので、早めに整備してもらいたい。
			新幹線が出来たのに、道路網が不備だと思う。
			道路にはみ出している電柱を地下ケーブルにする。
			歩道で雨にぬれると滑りやすくなる場所があり、気を使う。美観だけでなく、優しいまちになるようにして欲しい。
			観光場所に行く道路標識を判りやすく読めるように文字を大きくして欲しい。
			行き違いが十分に出来ない歩道、交通事故の多発している現在、事故が起きてからでは遅い。
			自動車の駐停車による渋滞の緩和、一方通行の減少など、交通の便も含めた対策も検討していただければと思う。
			歩道に傾斜がついた状態で舗装したり、雪で滑りやすいタイルを使用したりと、道路の管理者は実態を知っているのかと思うことがある。高齢者などの弱者の目から見て、道路公共交通を考えてもらいたい。
			八戸市は段差等が多く、冬は道路が滑りやすく高齢者、障害者には通りにくい路が多すぎる。
		ベビーカーで出掛けると市内のあちこちに段差があり、ベビーカーを持ち上げている。細かいところもぜひ整備して欲しいと思う。	
		大森地区だけ歩道がなく、中学校まで行く時に大変危険。お年寄りの人も散歩をするので安心な道路が欲しいと思う。	
		側溝はできたが舗装にならず、宅地の道路なのに徐行せず車が通ると家はすごい振動である。通学路でもあるので、是非徐行の立て札を立てて欲しい。	
		市内に自転車で買い物にいけるような道路を整備して欲しい。	
		市全体の雰囲気を変えるためには道路を整備して、車で移動しやすいまちにすると人の流動性が高くなり、市の雰囲気も変わる。	
		安心して歩道を歩けない。まず、健康な人だけでなく、妊婦や体の弱い人が安心して歩けるまちになって欲しい。	
		学校からの周辺道路(通学路)の整備をしてほしい。	
		中心街を含めた交通網をどうにか大きく改造しなければ、八戸市はさびれていってしまうのではないかと思う。	
		十六日町あたりの車の便が悪すぎる。2車線の所に路駐してあったり、バスも通るのでまったく前に進めないこともある。	
		八戸三社大祭の通行コースを全て電線地中化とし、併せて快適な道路に改策する。	
馬淵川に橋が足りない。朝・夕渋滞しているので、橋を2～3増やした方がよい。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
安全・安心	交通 道路	環状道路を早く開通してほしい。
		住宅地についても電線の地中化を進めてほしい
		障害を有する人が出歩けない道路状況がある。また、無駄に道路をつくりすぎだと思う。
		八戸駅前の道路が混雑しているのでバイパスを作るなどして交通の便をよくしてほしい。
		中心街において、配達業者のトラックが道路の脇に頻繁に止まっているが、配達時間を決め、それ以外は、特に大型のトラックは中心街を走らないように工夫するととても感じ良いまちになると思う。
		歩道整備は冬場危険のないようにする。
		八戸駅周辺の整備及び本八戸駅、三日町間の道路（歩道含む）の整備が必要だと思う。
		自転車用の道路幅がなく大変危険。
		回り道しないといけない場所があるので、改善して欲しい。
		八戸市には斜面が多いのにもかかわらず、冬場の路面の設備が充分ではない（ロードヒーティングなど）ため、行通が不便。
		信号を設置して欲しい。時間調整をうまくすれば混み合うこともないと思う。
		雨が降ると冠水して通交できなくなる道路を整備してもらいたい。
		地域のみ舗装の道路が多く、狭いので、何とか最低限車が交差できるようにしてもらいたい。
		通学路の門を少し広めてもらいたいと思う。
		生活道路の早期整備。
		信号の設置具合が下手、道路のわだちなどの段差が多い。
		道路整備について、三八城公園と市庁前広場をうまく利用して、三日町方面との連絡を望む。
		歩道橋を増やすなど安全な道路を整備してほしい。
		交通状況を再調査して、信号機のタイミングを改善して欲しい。
		歩道が無いところがあるし、あっても平らでなく、引っかけやすいので転びそうになり困る。
		歩道をもっと広くして欲しい。
		大館地区は、歩道が無くて車道も狭いところが多い。自転車でも怖く、下水のふたが上がっていたりして危険。
		道路のつぎはぎがひどい。工事をするのならもっと平らにして欲しい。
		市街地の道路は一方通行を廃止して欲しいと思う。
		私道を市で管理して舗装道路にして欲しい。
		雨降ると道路の水がはけなくて溜まっていく。
		タクシー台数の多さと車道の狭さ。
		どこの場所に住んでも所得税は同じなのに、住んでいる所によって道路がデコボコな所がある。
湊高台の白銀の後の道路にカーブミラーを取り付けて欲しい。		
道路工事は、下水、上水、その他順番に別々に実施しているように思われるが、合同で1度に工事できないのか。		
通学路にあたる道路が一方通行解除のためとても危険になった。早く信号機をつけて欲しい。まず命に直結するところを何とかして欲しい。		
久慈 八戸有料道路無料解放の是川地区は朝晩すごく混む。		
交通渋滞の解消が必要。		
行財政等	スリム化	とにかく無駄を減らし、人件費を下げる。現在の地方公務員の給与は高すぎる。市長以下トップ連中の給料は半分、課長クラス以上は2/3、一般は3/5に減らすべき。
		行政もワークシェアリングするべき。土・日のサービスも必要。
		市の財政が減少する中、効率的な運用と市職員の削減を行い、市民へのサービス業である事を自覚してがんばって欲しい。
		市で委託している道路工事に関する誘導員が多すぎる。電工掲示板など利用し人員と経費を削減した方がよい。まだ全然使えそうな道路を全面通しているのを見かけるがムダだと思う。もっと痛んでいる道路が他にあるのでそっちをやった方がよい。
八戸人の個々の税金をむだなく必要最低限使ってほしい。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
行財政等	スリム化	市長や議員の給与やボーナス、退職金を下げたり、人数を減らし市の財政を健全にする事。または、定年退職や市民ボランティアでも多才な能力のある方々が、市職員代行や議員等の代行業をボランティアか最低賃金か低謝礼金で行う。
		行政の階層、関連会議の外郭が多過ぎる。
		無駄な施設等は作らない。
		職員の給料ボーナス等を減額して税負担しないようにして欲しい。
		職員を減らして臨時職員を増やすなどして人件費を大幅に減らす事を考えて欲しい。
		行政の日常業務、もNPO等の民間に移行できるものは移行し、職員を削減して基本経費を下げる。
		無駄な道路工事、下水工事はやめ、やるなら夜間で行う。
		行政の負担を軽減したほうが良いと思う。
		衆参議員が多すぎると思う。定年制65歳までとして欲しい。月給が高すぎる。
		公務員は一般の会社員に比べ何かと待遇等も良いように思われるが、合理化をして無駄な税金を使わないようにして欲しい。
		これから少子高齢化が進み、税金を収められる若い世代の負担がどんどん増えていく中で、なんでもかんでも「行政がやってあげる」のではなく、税金を無駄遣いしないためにも必要最低限のサービスでよいと思う。増加する一方の高齢者にお金をかけるより、子どもや若い世代にこそ税金を使うべきだと思う。
		まちを発展させることのできない市議員の人数を半数にするべき。
		企業並人事管理をすれば行革がまだまだ出来ると思う。
		3月～4月を除いては臨時採用は必要ないと思う。
		発掘調査は重要だと思うが賃金が高過ぎるのではないかな。
		総花的行政サービスでは、市の財政は益々困難となりやがてパンクに至るかもしれない。
		望む人には、有料でも質のいいサービスを提供すべきである。公共サービスをすべて無償にしていると、市財が破綻してしまう。
		お盆の平日くらいに市職員を削減してもらいたい。
	議員職員の給与、人員等財政面の思い切った改革を望む。	
	無駄を省いて、財政を改善して欲しい。	
	予算をもらうための無駄な作業(工事等)をやめて他に利用して欲しい。	
	企画・総務的部門は廃止し、住民に密着した部門のみ残し、改革を進めていくべきと思う。	
	サービス向上	金(税金投入)だけではなく、民生安定の政策を望む。
	第三者等(民間人・市職員・市議など)が入った諮問機関を設立し、市政発展の戦略的構想を市民に提供・提案して欲しい。	
	小学生からでも参加できるような市政にして欲しい。	
	公務員の仕事をもっと効率良く、サービスを良くする。	
	平日夜9:00、日曜祭日午前中のみでも市役所を開設して欲しい。	
	公共施設の情報提供や行政の提供するサービスなど、市民に分かりやすくいかせるものであってほしい。	
今までのように国や県に頼るのではなく、八戸自体で市民の生活がうるおうようになるとすばらしいと思う。		
役所を退職した人でも「トータルサポート窓口」にでもいるとか、相談しながら全ての手続きしてくれるなどするのが、本当の意味で心のこもった行政なのではないかな。		
役所ははじめ公共施設の休館は月一日くらいにして欲しい。		
市民と行政がもっとスムーズに連絡を取り合い市民の声がすぐ生かせるような関係になればよいと思う。		
市会議員、市長選、国会議員選挙の投票所について、小学校地区に出来れば投票率が上昇すると思う。		
役所で行なう仕事も民のようにスピードがある進め方をして欲しい。		
行政のサービスは、偏っているように思う。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）	
行財政等	サービス向上	市役所が利用しにくい。	
		国保に入る手続き等、どうして一ヶ所で出来ないのか。	
		子どもから老人まで、簡単に質問とかアイデアとか、文章を書かなくても伝えられるシステムがあればいい。（電話での録音とか）	
		本来行政とは民間が動きやすい環境作りに専念すべきで、そこから自然的に税収増加が狙えると思う。また、そうなり得る人材の育成に力を入れるべき。人をみる目を持った上役の育成も急務だと思う。	
		市のほうでは町内にばかりまかせないで、人材センターとか派遣するような考えはないのか。	
	意識改革	議員は私達の代表だが、もっと市民の声を聞いてほしい。	
		タバコ税を一般財政として使用しているのであれば、非喫煙者のために使う必要はないと思う。	
		行政は第3セクター等も含めて営利を伴う事業には参加すべきではないと思う。	
		上の方の考えがかわらないとダメなのではないか。	
		職員は机上で仕事をするだけでなく現場を見ることにも力を入れるべきだと思う。	
		福島県矢祭町の行政を手本にすることを希望する。一度でも絶対に視察に行くべき。	
		今日は何の仕事をしたか、日誌に記入して上司に提出する仕組みでもとったらどうか。	
		庶民の目線で物事を考え、対処して欲しい。	
		高度な行政サービスをうけたい方は高い負担してもらうことや、公共精神の教育をしてほしいと思う。	
		市庁の立体駐車場について、職員、議員であれば遠い階にとめるのが常識だと思う。	
		市の職員も雇用がどうのといっているが夫婦で職員というのはいかがなものか。	
		行政に関わる人の能力の向上。学力学歴だけにとられず、働く意欲のある人たちの採用。	
	広聴	豊崎支所の臨時職員は地元の方だが、個人情報扱う人が土地の者では利用しにくいと感じるので、次回から交通費がかかっても土地に縁のない方を望む。	
		市税の督促料も税収となるわけだが、これらの細かなところも少しずつ徴求の対策をとったらどうか。	
		個人情報保護について過敏に受け止める人が増えている。市の広報だけでなく、直接的な方法で周知させることが必要。	
		市が実施するイベント等をもっと広く公表すべき。	
		市や市議会で、普段何をやっているのかもよくわからないし、伝わってこない。それなのに、税金とか高く、負担が大きい。	
		市長はもっと、市民に何を考え、そして何を成しとげたいか広く公布してほしい。	
		広くいろんな人の意見を聞く機会を作った方が良い。	
		もっと広告や新聞等にて、わかりやすく教えてほしいです。もう少し市長と関わりをもちたい。	
		市民が受けられるサービスや給付金などを一覧表として作ってくれれば良い。	
		市内のイベント・施設の利用などは、新聞以外に何か情報提供している方法があるのか。	
		市のサービス（公共施設・交通・福祉等）の現状が分からない。普段利用しない人にもわかるようにして欲しい。	
		町内会に入っていないなくても広報はちのへが手元に届くように（インターネットとか）して欲しい。	
		市政といっても実際何をしているのか見えないので、もっとアピールが必要。	
		南郷区に関して今年度の行事はどうなっているのか。やるのかやらないのか分からないとの声もある。	
		八戸の顔が見えない。何をしたいのか市役所は市民のために役に立つ所なのだからもっと奮起して欲しい。	
		町内に入っていないので、「広報はちのへ」が見れない。銀行や役所などに置いてあるが、時間内に取りに行くことができないので、設置場所を考えてほしい。	
		一部の人の賛成だけで市民全体が満足していると思わないで反対の人の意見もちゃんと聞いて欲しいと思う。	
		職員のマナー等	市役所、支所等での対応、職員の態度がよくないと思う。
			国、県、市の行政に不信な点があり、行政に不満を感じている。
手続きなどしっかり説明してくれないと困る。まちづくりも大切だが、職員の指導をしっかりしてほしい。			
職員の対応があまりにも雑すぎる。			

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
行財政等	職員のマナー等	警察は点数稼ぎばかりしてないで、もっと市民の防犯、悪質な路上駐車等、しっかりパトロールして取り締まってほしい。
		警察官の対応が悪い。
		市民病院の(医師に対して)苦情への未対応。
		市民病院、役所等での対応が悪く、人としてのマナーを遵守すべき。まちづくりの前に人材育成。
		八戸駅の案内所のスタッフが、腕枕で大あくびをしている。ヒマなら上に上がってお世話し隊の代わりにして欲しい。
		運転士(市営バス)のマナー・モラルの教育の徹底。
		職員の住民に対する指導が不親切。高圧的。
		市民病院等、大きい病院の対応が悪すぎる。
		早急に「態度の悪い職員等」を解雇し職員削減して行くべき。お茶飲みしてる時間があったら他の仕事を手伝う気持ちを持っている職員がいない。
		警察の能力に疑問がつく。これでは安心して生活できない。
		市庁の窓口はホテルのフロントや料理屋などで研修し接客を勉強すべき。こちらから聞かないと声を掛けない。
		夜間急病診療所(口以外)のスタッフの対応の態度が悪い。
		税金・公共料金等
	住民登録でお金を取られたのには驚いた。各書類を取るときも高すぎ。税金も高い。そのわりに市としての満足度が低い。	
	町内会費の徴収は市民税の二重徴収にあたるのではないか。	
	個人の収入も減って、増税の傾向にあるが、なるべくなら市民の負担は最低限にしてもらいたい。	
	物価が高く(水道料金、ガソリン、都市ガス、食品)色々な場所でのサービスに不満がある。	
	公共料金が高い(特に水道料金、基本料金高い)。	
	雑貨等(ゴミ袋)が高く驚いた。水道料も高く総合的に物価が高いのには少々驚いている。	
	物価が高い上にサービスが良くない。	
	水道料金も八戸は高い。水源が多いのに都内より高いのはなぜか。	
	税金のムダ使いが多い。	
	所得の多い人からは、いっぱい税金を取るべきだと思う。保育料は所得だけを見ないで住んでる家が実家とか賃貸とかいろいろ出て行くお金をもっと調べた方がいいと思う。	
	税金の使い道には口を出せないのによく考えて金を使ってほしい。	
	施設等	施設整備
家族づれで楽しめるような郊外型の大きな遊園地等が欲しい。		
八戸駅西地区に県営スケート場を作ると、交通の便がよく、いろいろイベントに対応できる。		
新しい文化会館の建設。		
もっと、フットサルができる体育館施設などを増やしてほしい。		
八戸市内には、赤ちゃんや子どもが遊べる施設や場所が少ない。		
水族館「マリエント」にもっと力を入れて大きくしてはと思う。外でのイベントばかりでなく中も活用してはどうか。		
白山台の方ばかりに力を入れて住宅や公共施設を増設しているように思うが、今後は桔梗野や轟木・市川・北バイパス通りの地区へ、公共施設や一般住宅を増設していくべきだと思う。		
遊ぶ場所がほんとに少なく感じるので、若い世代向け施設を期待している。		
津軽にはいろいろな施設があり、南部にはない。		
市川地区にはスポーツ施設、病院、高校等、主要な施設が全くない。		
上長地域に運動施設が欲しい。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
施設等	施設整備	地区の生活館(大仏)が老朽化してきたので改築してもらいたいが、市からの補助金額が規程によればかなり少ないので補助率をもっと手厚くしてもらいたい。
		若い人、年配の人と分けて楽しめる場所の提供。
		八戸市のレクリエーション施設は、お役所的で、収益を上げようという感じが感じられない。建物があっても効果的な使われ方がされていない。非常にもったいないと思う。
		八戸には県の施設がなく、青森県からも岩手県からも見放されたような状態であり、三八地区の中の八戸という感じで、単独的に施設を造っているような感じを受ける。そのため、施設が中途半端になり、つくられても不満が残る。
		子どもが安全に遊べる施設が少ない。特に室内。有料でもいいので、そんなところがあるといいと思う。
		テーマパークなど市民が楽しめる場をつくって欲しい。
		遊休施設が少ない。有料でもいいのでもっと増やして欲しい。営業時間が短い。都心地区エリアにアーケードを作ってみた方が良い。
		長根運動公園の見直しについて、中途半端な施設となった野球場、陸上競技場は取り壊し郊外へ移すべき。
		長根は体育館、屋内スケートリンクを主体とした施設とすることを検討して欲しい。
		うなぎの寝床状態の敷地の中で活用されない、出来そうもない土地を利用して、自然に親しめる緑地帯を計画してはどうか。
		25万人の中核都市としての施設作りを充実して欲しい。
		県外の人八戸に遊びに来たくなる様な遊園地等の施設。競馬場でもよい。公会堂を大きくする。
		会館、ホール等の施設を建設しても、「赤字」運営が予想されるので慎重にしてもらいたい。
		田向地区を保健・医療・福祉の広域拠点作りとして推進しているが、一ヶ所に集める必要があるのか。近くに住む人は便利だが、離れた場所に住む人々にとっては利点は少ないように思う。出来るだけ自分で行ける所に病院があてほしい。
		まちの中に自由に集会(小さな会議など)ができるフリースペースがあればいい。飲食も可ならばよりよい。
		ジャスコや、新幹線が通った時のショッピングモール設立等、全て計画が流れたが、八戸の活性の為には必要不可欠なことだと思う。心のゆとりが持てるような施設をもう少し増やして欲しい。
		公共施設の利用時間の延長。テーマパークの建設。横浜の八景島シーパラダイスの様な水族館と遊園地が一緒になった施設。
		コミュニティー施設をもっと多くしてほしい。
		金のかかる子どもたちの遊び場ばかりで、料金のかからない子どもの遊び場を色々増やすべき。
		図書館の整備や子どもたちがもっと遊べる施設をたくさん増やして欲しい。南郷の図書館みたいにしたい。
		公共施設など(例えば公会堂)が他市に比べもう少し規模が大きくてもよいと思う。浅虫水族館程度のものがあっても良い。
		八戸市の美術館は規模が小さく残念。
		子どもの部活が終わって家に電話するのに、電話ボックスがなくなり、大変困っている。
		大物アーティスト(浜崎あゆみ・SMAPのような)が来るようなコンサートホールを作してほしい。
		文化、体育施設の新設を望む。
		霊園造成はどうか。
		公衆電話が少ない。
		プロ野球やJリーグが試合のできるような施設を建設してほしい。
		道の駅のような市民がもっと自由に手作り品を販売できる、広いスペースがあってもいいと思う。
		八戸市には、みんなが休日に遊べる場所や建物が少ないと思う。そういう企業の受け入れも、これから重要な問題となるはず。
給料、厚生施設、娯楽施設等、若者にとって人気、魅力的なものが少ない。		
八戸北地区の開発・運用計画を。		
県の中で誇れる産業(水産・スケート等)の施設を青森県で建設してもらえるようには出来ないものか。		
団地等における市営駐車場の設置(有料)の検討をして欲しい。		

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
施設等	施設整備	八戸は遊園地とか、レジャー関係が少ないと思います。
		若者が楽しめる場所の提供。
		南郷区から出されているホールの案、500人規模位であるなら無駄。造るのであれば、中途半端でなく全国にほこれるものを。
		不景気の今、何か楽しめる、また、わくわくする様なイベント&公共施設の設置など明るい八戸にして欲しい。
		新市民病院の周りの活性化として、老人ホームの建設、コンビニ、小さなスーパーなど考えてみてはどうか。
		若い人達が自由に遊ぶ事の出来る場を作ってあげてはどうか。自分達の責任で遊び集う場所を。
		スポーツ教育施設にしても、不足だし、老朽化している。一番の問題は老朽化しても、そのまま放置されている事だと思う。
		氷都八戸にふさわしい県立のスケート場を長根に作ってほしい。
		山車会館もぜひほしい。
		八戸市のシンボリックな美術館、屋内スケートリンク等の建設が必要だと思う。
		湊中学校もだいが古いと思うが、建て替えの予定はないのか。
		スターバックスをまちに。
		市の施設の使い方、構造・立地・利用性が以前に比べ、問題になっていると思う。市を活性化させる計画の見直しが求められる。
		青森市、弘前市には立派な公園があるが八戸市にはなぜないのか。昔、長根リンク周辺は、池がありボートに集った記憶がある。あのまま公園として整備されつづけていけば、自慢できる立派な公園になっていたと思う。のではと残念でならない。先を考えた長期計画を希望する。
		市民農園的なものをもっと充実させてほしい。
	既存施設の活用	できるだけ無駄をはぶき、現在ある施設なり遊民地なりを最大限に生かして、より住みやすい、まちづくりをしてもらいたい。
		古い施設などリニューアルして使用したり、新設にだけ税金を使用せずに利用できるものは生かして使用するべきではないか。
		公園廻りの土橋川はすべて暗渠を有効利用する。
		八食センターという名前の知れたところがあるのだからもっといかして欲しい。
		現在ある施設を補修しながら活用してほしい
		児童館などは必要なときはもちろん児童用として使用するが、夜などは集会所としてとか、市民の音楽団体の練習場としてとか、融通をきかせて一般市民に利用させてもらえないか。
	主要施設の集積・集約	平均的な生活水準を共有する目的からすれば、より多くの副都心的なまちを形成するのがよいと思う。
		博物館等が分散建立している。
		公共の施設は市内に集めて、人がきてくれること。
		まちが広がりすぎて車がないと移動できない。小さく便利なまちづくりが必要。
		利用者の利便性などを考慮し、官庁を同一地区に集中させることを希望する。
		観光となる拠点がバラバラでメインとなる観光スポットが無い。
		市役所、社会保険事務所、職業安定所などが散らばり過ぎ。一カ所にまとめて欲しい。
		十和田市や仙台のように、官公庁街、銀行街、文化施設、ショッピング街など、まとまりのあるまちづくりをしてほしいと思う。
	施設等の名称	市民病院跡地利用について、合同庁舎など必然的に人の集まる場を八戸中心部にきちんと整備するべきである。
		いろいろな施設やイベント等のネーミングが田舎くさい。新井田の「風の道トンネル」のような、ステキな名前を付けて欲しい。
		八戸市庁を八戸市役所と改めてほしい。バス停の名称を新しい町名に、曖昧な名称は具体的な名称にして欲しい。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
駅周辺の整備・活性化等		本八戸駅は、中心の駅なのでもう少し賑やかにしてほしい。八戸に関する案内のようなものがほしい。
		新幹線が開通し便利になったのはうれしいが、駅周辺は相変わらず何もないのでどうにかしてほしい。
		八戸駅前（東口）のタクシー広場はあんなに必要なのか。駐車場が減ってしまい、利用しづらくなった。
		駅前商店街は、自分たちの事ばかり考えず、まちづくりを考えてほしい。
		本八戸駅通りだけでなく、八戸駅前地区の活性化。
		八戸駅西口地域をもっと都市機能的に整備し、観光客にまた来てもらえるように。
		駅ビル周辺にショッピングモールを作って欲しい。
		八戸駅西口の区画整理をてきぱきと進めて欲しい。
		八戸駅からまちまで遠すぎる。八戸駅周辺をもっとにぎやかにしてほしい。
		まずは八戸の玄関である西口を整備することからスタートしてほしいと思う。
		八戸駅にファッションビルを建てて欲しい。待ち時間をつぶすためにもちょうどいいし、人が集まっていると思う。
		八戸駅前の発展と観光事業。
		八戸駅周辺をもっと活性化してほしい。
		駅ビル建設や八戸駅周辺を車以外で散策したり、買い物ができるようにしてもよいのではないかな。
		八戸駅前がさびしすぎる。もっと恐れずに駅ビルの開発等、推進していくべき。
		新幹線「八戸駅」周辺の開発に力を入れ、その上で、市内に人が流れて行くようにもっていくべきだ。
		駅ビルを作るか駅の後にジャスコなどを誘致してほしい。
		市外の人から見た八戸市のことも考えなければいけないと思う。駅前がもっと開けてショッピング街ができた、分かりやすくすっきりとした道づくりをしなければ、市外からの観光客も少しがっかりする。
旧市民病院跡地の利用		早急に市民病院跡地の活用を考えるべきと思う。例えば芸術パークの整備をすべきである。先人館、山車会館等整備すべきである。
		旧市民病院跡地を利用する方針を早急に考えて欲しい
		八戸市内にはレジャー施設がないので、旧市民病院跡地を利用した施設を検討してほしいと思う。
		市民病院跡地は今だ手付かずのようですが文化施設などもいいですが、囲いを開放して自由に誰でも使用できる公園等はどうか。犯罪防止の為、夜は明るく昼は風通し良くしたらどうか。
		旧市民病院の跡地の活用について、第一希望では夜間救急病院。第二希望には美術館、広さ場所のよさ。
		旧市民病院跡地を三社大祭の山車小屋にしてほしい。周辺も整備して、青森市にある、ねぶたランドのようなものを作れば、お祭りシーズンじゃない時に来た観光客にも紹介できると思う。
		旧市民病院の跡地利用に関して、公園として整備するべきであるべきと思う。緑地公園として整備活用し、市民へ開放する方が地域の活性化になるように思う。
		市民病院跡地には誰でも利用しやすい駐車場、野外イベントなど。
		旧市民病院の跡地には老人養護施設、子ども、身体障害者もかねた総合病院など、老人と子どもの施設。
		市民病院跡地は何になるのか。
	市民病院の跡地について、「ラッセランド」みたいにしたほうが良いと思う。	
イベント等		若い世代向けのイベントなど多くしてほしい。
		河川敷を解放して何か催しもの（山形のいもに会いたいなもの）を開いて、人を呼べるような手段はないものか。
		イベントの広告が目立たない。ポスターがもっとあってもいい。日時などもっと大きい字が良い。
		カッコの森エコーランドの野外ステージは南郷ジャズフェスティバルのみでなく、世界、国内のJポップ等の活用も考えてほしい。
		祭り時に中学生、高校生の男女がビルの前でたむろしている。お金をもらうために同じ山車の人がスナックに何回もきている。お金の整理をどのようにしているのか疑問に思う。
市民協働		市民1人1人の我がまちという思いが欠如しているように思う。まずはハード面よりもそういった個人の意識を高める事が優先されるべきではないか。
		市民の方の意見・提案が、常日ごろから聞かれるような体制を作ってほしいと思う。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
市民協働		市民の意識の改革が必要だと思う。一般市民だけでなく行政に携わる人も。
		公園の維持管理やその他雑役業務等は、町内任せではなく、ボランティア会員を組織化して支援を受けられるようにしてはどうか。中高齢者のエネルギーをもっと活用すべきと思う。
		きれいな八戸のまちづくりに全市民が参加して欲しい。
		町内会のあり方について、会員の意見を尊重して欲しい。
		町内会づくりを行政の方からも指導してくれたらと思う。
		最近町内会に入会している方が60%に満たなく、町内会費でまちづくりに協力していることがあると思う。みんなが町内会に入会するようにならないものか。
		計画の立案については幅広い年齢、地域、職業の人々で構成して多様な意見を吸い上げることが重要だ。
		学校、保育園等の合併という話が色々なところで有るが、住民との話し合いをしてから決めるようにして欲しい。
		市、町内等の行事に参加する人が少なくなってきている。組織というものの存続が危うくなっている。活発な町内が活発な姿勢へ発展する事と考える。
		八戸地区(南部地方)は排他的な気質がある。八戸に來たい人は全て受け入れて八戸市発展のために協力し合うべき。
		まちづくり協議会などもあるようだが、有識者だけでなく一般の人の意見も集めてみてはどうか。例えば新聞で公募してみるとか、若い人からも意見を取り入れて欲しいです。
		平気でゴミを捨てる道徳の無さ。
		これからの八戸のまちづくりに対する意見、提案は各人がそれぞれに持っていると思う。ホームページなどを作成し書き込みできるようにすれば色々な意見が出てくると思う。
		インターネットにディスカッションする場を作ってみてはどうか。
		もっと市内、市民も、礼儀正しく、また、“美観”をこころがけるようになってもらいたいと思う。
		まちづくりで最も注意する点は、「市民主体で行政協力の体制」をつくるよう、行政がきっかけづくりをしてくれる事。
		歩きたばこをする人を何とかしてほしい。駅や公園内で女子高生がスカートをはいているにもかかわらず、アグラをかいて地ベタに座っているのを見る。マナーを徹底するか、きびしく接してほしい。歩きたばこマナーをきちんとしてほしい。
		健全なまちづくりを目指すには、人間のモラルやマナーが大切だと思う。
		八戸市民1人ひとりが自分達のまちに誇りを持てるよう努力しなければいけないと思う。
		「まちづくり」は「人」づくりだと思う。施設作りも大事だが、その施設を利用する人、「人づくり」はもっと大事だと思う。長い時間はかかるだろうけど、人づくりに力を入れてほしい。
	いつも同じ顔ぶれの限られた人々によるまちづくりの発想も貴重ではあるが、市民の中にもいろいろな見識をもっている人、発想の豊かな人がいると思うので、もっと自由な開放的なディスカッションを展開すべきだと思う。	
	みんなで力を出し合って活気のある八戸市にしていきたい。	
まちづくり全般		よりよい八戸市をつくっていただきたいと思う。
		他都市の良いところを、とり入れてひとつひとつ着実に実行してほしい。
		八戸といったらこれ、というはっきりと主張できるものがないと思う。
		より良い八戸市になるよう、ベストな総合計画が策定されることを期待する。
		次代に負担のないように市民全体で考える社会であるべき。
		八戸から住みやすいまちにしていけないと、すべての物がうまくいかないと思う。
		あらゆる面での規制緩和も八戸景気の一歩重要な面ではないか。
		まちに人々が集まること。人口の自然増。
		幸せそうな顔をして歩いている人がいっぱいいるまちがいい。
		まちづくりを進めること。
		より市民の実生活に即した分野や可能性のある分野に絞っていった方が、より重点的な取り組みができるのではないか。
		この市がいつも平和であって欲しい。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
まちづくり全般		弱いものに対して厳しい八戸市だと思う。
		その場しのぎの政策ではなくしっかりと未来を見据えたビジョンをはっきりと示し、それに沿った改革を行うべきだと思う。
		今後八戸が親しみやすく住みやすい市であって欲しい。
		今後も市民の為に努力をお願いする。
		桔梗野・市川地区を含めたまちづくりが検討されていないように思われる。
		市政の改革も含めて暮らしやすい市民生活に向けて頑張ってもらいたい。
		時代の変化に柔軟な対応をするべき。
		八戸市は色々な部分で遅れていると思う。市民の為に何をすべきか考えていただきたい。基本的なものがかけていると思う。
		全てをうまくやるよりはどれか1つを中心にまちづくりにすることが重要ではないかと思う。
		県・市独自のことで差をつけて行った方がよいと思う。職員の方々も視野を広げて勉強し、考え、行動し、発展の為に頑張ってもらいたいと思う。
		都市間競争に負けないよう住んでみたい都市整備を。
		なんにおいてもメジャーなものが無く、ほかの都市に負けてしまう。魅力あるまちづくりをするには思い切った決断も必要ではないか。
		いっぱい難しい問題があるかもしれないが、このまちが少しでもよくなればと思う。
		それぞれの分野で先を見据え、道筋をつけて欲しい。
		大都市にならなくとも、人に優しい住みやすいまちになってほしい。
		市民は頑張り屋であり、音楽や芸能面、スポーツ、学力、郷土愛、どれをとってもハイレベル。小学校、幼児期から各方面に教育熱心で、とても驚いた。「八戸市共通商品券」というのがあるが、地域の商品券がこれほど使われているのは、珍しい事だと聞いている。すばらしい人材や、すばらしい文化を持つ八戸市だからこそ、それらを守って発展させるためには、逆に思い切った改造も必要だと思う。
		活気のある住みよいまちづくりに向って、今後とも推進して欲しい。
		人が集まってくようなまちづくり。企業、医療、福祉、文化、自然、スポーツ、農・林、教育の充実。
		30年前八戸市で生活していたが、何でこんなに寂れてしまったの。当時は、「新産都市八戸」と銘打って、活気を見せていた。その原動力は水産業だったと思う。何を主として考えるか、又何を副として考えるか、目標を定めた行政指導をお願いしたい。
		雇用、福祉、教育、すべて不足しているのではないか。ある年齢に達すると、まったく働く場所がない。若者達も同様であり、このような状態ならますます、事件、犯罪が進むだけではないか。福祉の件でも施設が増えようと、個人の負担が出来る限り軽減される事望む。教育の件でも、家庭での親達の躰が足りないのではないのか。八戸市民が一致団結して、環境の良いまちにするため、貧富の差のない、裕福な八戸市になるよう努力を希望する。
		人口の割に住みにくいまちに感じる。これだけの水産、商業、工業がありながら、本八戸中心にするのはどうかと思う。広いまちなので、仙台や、盛岡みたいなまちづくりに力を入れた方がよいと思う。
		まちづくり、サービスなど、すべて中途半端な印象を受ける。もっとメリハリがあってもよいのではないか。
		県外からの大資本による商業施設の進出により、旧商業施設(地域)の衰退が著しく、一部の地域だけが発展し(旧商業地域が新商業地域に変わった)だけ)している。八戸市全体が発展しているのかどうか。
		市の活性化、助成は必要だが、不必要であったり、すぐ頓挫して無駄な出費を招くようなことのないよう綿密な検討をして進めてほしい。
		三社大祭をねぶた、ねぶたとだけあわせるようにして日にちをずらしたり、八戸の名物を一般に公募したりして目玉をつくったり、特区として学習の充実をはかってみてはどうか。税金の使い方も前年比と比較表を掲示してみたりするなどする。市中心まちの例えば夜の道路での客引きを取り締まればば若干ではあるが人が出ると思う。
		地域及び市としての活動も年寄りが口を出しすぎ。若い力をのばすべき。
		大学、専門学校などを増やし、若い人たちが地元のにこれるようにする。
		市街地で行っている「にぎわいストリートフェスティバル」などを八戸市が中心となって行っているのであれば、若い職員の意見を十分に生かすべきだと思う。仙台市は若い人たちがあふれている。発想のゆたかな職員なら、こういう風にしたらいいいというのがたくさんあると思う。まちや道路が小さくて狭くても、アイデアで良くも悪くもなる。都会の街並みや行事を参考にして八戸を活性化させていってほしい。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
	まちづくり全般	<p>若者が住みたくなるまちづくり。</p> <p>まちでは流行のある店が少ない。県外に出て行く若者たちの殆どの意見が、八戸は活気の盛り上がりが少ないということである。</p> <p>難しいことはわかりませんが、これからの子ども、若い人が生き生きと生きられる時代が来ることを切に望む。役所職員から常に新風を起こしてほしい。市民一人一人に優しく安心して住めるまちづくりを願う。</p> <p>若者が流出していかないようにまちづくりをする事が大切なのではと思う。若者を育成して、地元に戻元するようにしないと八戸のエネルギーはどんどんなくなっていくと思う。若者を育成するには図書館の利用など学習施設の充実が大事だと思う。</p>
	アンケート	<p>かなり時間のかかるアンケートである。本当は目安箱みたいなものを置ければいいのでは。</p> <p>もっと行政で考えることから始めねば何の解決にもならない。</p> <p>このようなアンケートをしたところでしょせん形式的にやっているに過ぎないのではないか。このアンケートに使われた税金を無駄にしないでほしい。</p> <p>アンケートは無意味だと思う。もっとちゃんとした意見のある人、気持ちがある人に書いてもらった方が意味があると思う。</p> <p>役所仕事で現状維持アンケートである。まず先に改革ありきで物事を進めないこと意味がない。</p> <p>最後まで答えたが、これで自分の意見がわかるのか。</p> <p>18頁から19頁迄の黒の見出しが見づらかった。</p> <p>転入者の方へアンケートをとると、良いアイデアが集まると思う。</p> <p>市民アンケート調査など、まちづくりに一生懸命なのが近年とても感じられ、市民の声も反映されていると思う。</p> <p>このアンケート調査の企画に感謝する。</p> <p>アンケートを行い、八戸市の活動に関心を示していなかったことがわかった。</p> <p>非常に項目が多く書く時間もかなりかかった。しかし、いろいろ考えさせられた。</p> <p>担当の方々の努力に敬意を表す。すばらしい総合計画を作成して欲しい。</p> <p>今回のアンケート調査は初めてのことであったが、とても良いことだと思う。</p> <p>今回八戸市からのアンケートで、住みよいまちづくりを作っていくためには、このような小さなことからお願いしていきたいと思う。</p> <p>今まであまり時間の余裕がなく、市の事、施設の事知らないことばかりで番号選びに大変時間がかかった。これからはいろんな活動に参加して勉強したいと思う。</p> <p>今回のアンケートを通じて、八戸市をまた一度見直すことが出来た。</p> <p>このアンケート調査をどのように生かすか、また何を変えられるのか。</p> <p>現状についてわからない事が多く、あまり参考になるアンケートにならなかった。</p> <p>県からの圧力に負けずこれからも頑張りたい。</p> <p>市民アンケート調査で、どんなに八戸市が良くなりやすくなるか期待している。</p> <p>このアンケートをきっかけに、自分以外の事に目を向けて、協力していきたいと思う。</p> <p>仕事が忙しく時間的に余裕がない為、地域活動や地域文化等のイベントに参加することが少ないので、あまり適切な意見が出来なかった。</p> <p>設問のいくつかは「その様な気がする」「そんな感じがする」という解答もある。自分でもあまり関心を持っていないのだと思った。</p> <p>都心地区の事がわからないのでこのアンケートの記入に戸惑う。</p> <p>アンケートについて、最後の最後まで自分たちの生活にじっくりこない感じがあった。切実に必要とされている事、危機に直面している事を無視されているような虚しさが残る。</p> <p>要望したことのひとつでも実現させて頂けたら嬉しい。</p> <p>今回のアンケートを6000人の市民の声だけでなく、共に八戸市を素晴らしい都市にするための意見として役立てて欲しい。</p> <p>このアンケートは、外から来てこの八戸の市民になったという人達にやってもらった方が良いと思う。長い間住んできても分からないものや、別に何とも思わないような、普段別に気にもしていない事を聞かれて、困った。</p>

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
アンケート		封筒の口が開いて届けられました。
		各頁に他県の様子などを参考にして答えてあります。
		この解答用紙を入れる封筒が小さい。もし、定型で料金を済ませるといつもりなら、説明が欲しかった。
		この設問には大分専門的分野でかつ経験がなければ分からないことが多々ある。従って、「八戸の実態を詳細にしり、更に他都市の事情を研究されている高度の専門知識と総合された判断力を持ち合わせた方たち」の委員会等を作って計画されるのも一方法だと思う。
		アンケートの集計結果はどのような形で発表されるのか。アンケート項目が難しかった。
		アンケートの項目が適切さを欠き、答えにくい部分もあった。今後も定期に実施し、更に項目をわかりやすくし、具体化を図るべきだと思う。
		市民アンケートが送られて来た事はとてもうれしい。だが、質問の内容が万人には多少難しく、あまりにも長すぎるので、途中でめんどくさくなる人もいると思う。よく市役所の中とか、公民館の隅の方に、市長への手紙という葉書が備えつけてあるが、スーパーとかコンビニとかもっと沢山の人が出入りする身近な場所に置いたほうがよいと思う。
		このアンケートが必要なのは理解できるが、内容(言葉・単語)が若干難しいと思う。量も多いので回収率が悪くなるのでは。
		回答内容が統計者に手数がかからないように出来ている。回答者にもう少しわかりやすい優しい表現にして欲しい。
		調査の内容が複雑すぎる。最後はあきた。
		高齢になると、このようなアンケート記入は大変苦痛なので、できれば今後対象外としていただきたい。
		質問の解答欄の今後の重要度、又は重要度の欄の問題が意味不明なことが多く、難解であった。解答欄の意味がわかるようにして欲しい。
		こんなに多くのアンケートは読むだけで大変だった。
		質問が高度だと思う。したがって推測で記入している。もっと簡単明瞭な問が良い。
		市民アンケート調査は初めてでうまく出来なかった。
		最近使われている言葉ばかりのせいか内容が理解できない。
		無職で単身世帯のため、各質問に答えるのが非常に難しい。
		こんなに長いアンケートでは記述者数が減ってしまわないか。設問に疑問もあり、回答がその他しかないことも多い。
		アンケートが細かすぎる。もっと短く簡単なものにして欲しい。意味がわからない。
		専門用語が多過ぎて、読解に時間がかかった。重複したような質問も目立った。
		言葉が難しすぎる部分があり、もっと分かりやすい言葉を使ってほしい。
		アンケートの文面が長ったらしい。もう少し頭を使ってみんなが協力したくなるアンケートの作成を試みる必要がある。本気で変えたいのなら、楽だからといって記号アンケートにするのではなく、記述式にするなどのやる気が必要だと思う。
		アンケート設問がまだまだ不足だと思う。
		選択問題の項目に、ボランティアをしたくても病気を抱えていて出来ない等の理由もある。そのような項目も増やしたらどうか。
		設問設定に疑問有り。市役所の立場からのみ設問をしている。もっと簡易な表現で動向をつかむ必要がある。
		このような調査方法で一般市民の考えを取り入れ、それを参考にしてまちづくりを考えていくというやり方はいいことだと思う。ただ、統計的には人口20万以上の都市なので6000人だけでは少ないと思う。
		一回の調査に多様な回答を求められるのは選択肢の数の都合も有り答えにくい。アンケートをもっと細かく分け、章を多くしてはどうか。問23は回答者の特定につながり本心が答えられない。
		このアンケートの解答欄には、市民の負担を増やす解答ばかりである。
		こんなアンケートより、今、どのくらい給料もらってどんな生活をしているのか、そういうアンケートをとって欲しい。
		将来の市政に本当に繁栄されてほしい。まだまだ設問の視野を広げてほしい。

分野	項目	自由意見（意見・提案等）
その他		アパートなどを借りるとき、アルバイトやパートでも借りられるようにしてほしい。
		まだまだ情報収集とシミュレーションが足りない。まずはそれをもっと繰り返すべきだ。
		国の安定が大事。八戸だけでは無理。
		市町村合併は1村のみは不十分。
		建設会社社員のため建設工事関係について、市内では道路等維持・修繕が必要な所が多数残されており、工事は発注されているものの、工事予定価格の最低金額でしか入札できない現状である。利益を得るために何かしら品質を落とす等をしなければならない。会社が利益を出さなければ雇用の増進もできるわけがなく、本当の意味での適正価格発注及び予算配分を望む。
		自衛隊はあまり必要ない。これ以上増やすことのない様に冬になったら自衛隊の人達による雪の除雪等やって欲しい。ただ毎日訓練ばかりではなく人に役立つことをして欲しい。老朽化した建物をなおす、老人の手伝いをする等、ボランティアに徹すること。
		八戸市内のガソリン価格は周辺の地区に比べ高く、しかも統一価格で皆同じという。八戸市の住民としては不満があり、外から来た人からの評価は下がる。
		難しい世の中、市長さんをはじめ職員の皆様のご努力に感謝している。
		様々な年齢の人達が家から出て何かをする(消費があるなしに関わらず)ことによってまちが活きている感じが出てくると思う。自分が住んでいる町内の名物的要素を育てあげたり、又は新しく作り、起こし、見たい、見せたい気持ちを大勢が持てるようにする。高額納税者や団体から市の行事等への寄付を募ることを検討してはどうか。
		八戸の人は短気な人が多い。それはまちなどなんとなく道がせまかったりごちゃごちゃしていてイライラするところが多いからだ。逆に言えばそういうところに集まるのが好きなのか。ニュータウンはいい考えだったが高すぎる。
		自分達が子どもの頃、そして育児をしていた頃と比べるとよりよくなっていると思う。(例えば育児サークルや公園の整備、小・中高生等の一部の人たちでも海外での勉強等、老人健康保険のありがたさ)
		古い友人や、新しい友人作りに、毎日バスの待合室に行って、話をしている。生活のこと、まちのこと、いろいろ元気で話して、バスに乗って行く。10分おきぐらいにバスがきたり、行ったりで、さみしくない。
		市民病院前のカシワの木が枯れてしまったのが残念。平成9年2月ごろの冬場に移植が無理だったのではないか。
		まだ自動車を運転しているため不便を感じていない。
		まちづくりは家庭からではないか。長男の嫁がない事が核家族の原因ではないか。親、先祖を守る長男に何かメリットがあれば少しは改善されるかもしれない。市で特例はできないか。
		もっと外の考えを取り入れるべき。

市民アンケート調査ご協力をお願い

付属資料

皆さまには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

現在、国・地方の行財政状況は非常に厳しくなっているほか、地方分権の進展や、市町村合併など、市政運営を取り巻く状況は大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、本市は今年度から、新たな総合計画づくりに着手しました。総合計画とは、市の目指すべき将来像とその実現に必要な諸施策の方向性を定めるもので、市政の最も基本となる最上位の計画です。

そこで、市民の皆様が日頃、市政についてお感じになっていることやご意見をお聞かせ願ひ、総合計画策定の基礎資料として活用させていただくため、市民アンケート調査を実施することといたしました。

今回、本市にお住まいの18歳以上の方から無作為で6,000人を選ばせていただいております。ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成17年8月 八戸市長 中村 寿文

ご記入にあたってのお願い

宛名のご本人がお答えください。

質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。なお、特に指定のある項目については、それに従ってお答えください。

このアンケート調査は、9月16日（金）までに同封の返信用封筒で返送（切手不要）してください。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八戸市企画部政策推進室（小笠原光則・磯嶋徹）

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

（電話）43-2111（内線 670） （FAX）47-1485

E-mail:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

1. 将来の八戸市の姿についてお聞きします

問1 将来の八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態を、行政分野ごとに次のように整理しました。

あなたは、それぞれの設問項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要であるとお考えですか。それぞれの設問項目について、現状評価と今後の重要度の両方にあてはまる番号を一つ選んでを付けてください。

(1) 教育・文化・スポーツ分野

現状評価・今後の重要度 設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1~5の一つに)					今後の重要度 (1~5の一つに)				
	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	特に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
記入例) となっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子ども達が確かな学力と、社会の変化に対応できる力を身につけている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子ども達が様々な体験機会を通じて、楽しい学校生活を送ることができている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高校生や大学生が、成人としての役割や責任を理解して、成年を迎えている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
気軽に学習活動が行われ、人生を豊かにしている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民だれもが芸術・文化に親しみ、心豊かな生活を送ることができている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
八戸市の歴史・伝統・文化が市民によく理解され、伝えられている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民だれもが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しんでいる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
外国から来た住民が地域に溶け込み、暮らしやすいまちとなっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

優先順位

上の表の設問項目 ~ の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄の1位~3位の欄に、あてはまる番号(~)をご記入ください。

1位	2位	3位

~ の上位3つをご記入ください

(2) 産業・雇用分野

現状評価・今後の重要度 設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1 ~ 5 の一つに)					今後の重要度 (1 ~ 5 の一つに)				
	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	特に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
農林水産業の後継者を育成する環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
八戸産の農林水産物が、全国的に有名になっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
新しい産業の育成や企業の誘致により、地域産業が活発になっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域経済をけん引する、優れた技術をもった製造業が立地している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
欲しいものがそろえられるお店が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
貿易を通じて、地域の経済が発展している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
八戸市の自然や歴史文化がわかりやすく紹介され、観光などで多くの人々が訪れている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

優先順位

上の表の設問項目 ~ の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄の1位~3位の欄に、あてはまる番号 (~) をご記入ください。

1位	2位	3位

~ の上位3つをご記入ください

(3) 健康・福祉分野

現状評価・今後の重要度 設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1 ~ 5 の一つに)					今後の重要度 (1 ~ 5 の一つに)				
	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	特に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
高齢者や障害者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高齢者や障害者が、就労など社会に参画する機会が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域での助け合いなどにより、介護を行う家族の心身の負担が軽減されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
乳幼児が家庭や地域の中で、適切な保育を受けられている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
働く女性が安心して子育てをしたり、父親が育児参加できる環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
予防接種や健康診断が実施され、健康な生活を送ることができている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
休日夜間医療や救急医療が充実し、緊急時に適切な医療を受けられている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

優先順位

上の表の設問項目 ~ の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄の1位～3位の欄に、あてはまる番号（ ~ ）をご記入ください。

~ の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

(4) 環境・エネルギー分野

現状評価・今後の重要度 設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1~5の一つに)					今後の重要度 (1~5の一つに)				
	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	特に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
海や川、森林などの自然環境が保全され、市民に親しまれている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
大気汚染や騒音、水質など公害がなく、快適な生活を送ることができている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
モノを大切に利用し、ごみの少ない暮らしが定着している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活の中で不用品の再利用やごみの分別など資源の有効利用が定着している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
無駄に電気・ガスを使用しない生活が定着している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境にやさしい新エネルギーを利用した暮らしが定着している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境・エネルギーに対する教育や学習が行われ、意識が高まっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

優先順位

上の表の設問項目 ~ の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄の1位~3位の欄に、あてはまる番号(~)をご記入ください。

1位	2位	3位

~ の上位3つをご記入ください

(5) 安全・安心分野

現状評価・今後重要度 設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1 ~ 5 の一つに)					今後の重要度 (1 ~ 5 の一つに)				
	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	特に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
地震災害や風水害、火災に対して安全なまちが形成されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
手すりの設置や段差の解消などにより、誰もが外出しやすい環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
歩道や歩行者専用道路の設置など、歩行者と自転車の安全を考慮した道路が整備されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全な食材が手に入り、安心して食生活を送ることができる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防犯体制や防犯設備が整備され、安心して暮らしている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都心居住や郊外居住、持家や賃貸住宅など多様な住宅が供給されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
うるおいのある美しい街並みが形成されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
身近な公園や緑地が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
下水道が普及し、衛生的で快適な生活を送ることができる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市内を快適、安全に移動できる道路が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
利便性の高い公共交通などの移動手段が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

優先順位

上の表の設問項目 ~ の中で、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄の1位～3位の欄に、あてはまる番号（ ~ ）をご記入ください。

1位	2位	3位

~ の上位3つをご記入ください

問2 問1の5つの行政分野のうち、今後の重要度に優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。それぞれの行政分野について、1位～5位までの順位を記入してください。

行政分野	優先順位
教育・文化・スポーツ	位
産業・雇用	位
健康・福祉	位
環境・エネルギー	位
安全・安心	位

問3 問1の5つの行政分野について、施設整備や市街地整備など「ハード」に力を入れるべきであるとお考えですか。それとも人的サービスや人材育成、仕組みづくりなど「ソフト」に力を入れるべきであるとお考えですか。

それぞれの行政分野について、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

行政分野	ハード面又はソフト面のいずれに力を入れるべきか 1つに	施設整備や市街地整備などハード面に力を入れるべき	どちらかという施設整備や市街地整備などハード面に力を入れるべき	どちらかという人的サービスや人材育成、仕組みづくりなどソフト面に力を入れるべき	わからない	その他ご意見があれば、具体的に記入してください
教育・文化・スポーツ	1	2	3	4	5	
産業・雇用	1	2	3	4	5	
健康・福祉	1	2	3	4	5	
環境・エネルギー	1	2	3	4	5	
安全・安心	1	2	3	4	5	

2. 重点的に取り組む施策について

八戸市では、限られた財源を有効に活用するために、効果の大きな施策や迅速な対応が必要な施策を中心に取り組んでいこうと考えています。

今後の八戸市の10年を考えた時、次の問4～14に示す施策を重点的に行うために、あなたの考えをお聞かせください。

<重点的に取り組む分野：環境・自然エネルギー>

問4 市では、新たな産業として、「環境・リサイクル・エネルギー産業」の振興に力を入れています。

(1) 現在、「市民エネルギー会社」の設立が検討されています。このことについて、どのようにお考えですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号を一つ選んでを付けてください。

市民エネルギー会社とは、太陽光や風力など、二酸化炭素を発生させない環境にやさしい自然エネルギーを導入して発電を行い、市民に電力や熱を供給する会社です。発電量等の規模にもよりますが、設立には数十億円の資金が必要と見込まれています。

1. 市民が中心となって出資して設立
2. 意欲のある民間企業等が中心になって設立（市の財政的な支援は最小限度に留めるべき）
3. 民間企業とともに、市も財政支援して設立（ある程度の税金を投入してでも設立すべき）
4. 民間企業や市の財政支援だけでなく、広く市民からの出資も募り設立（市にとって、新しい挑戦であり、市民も一定の負担・協力をして設立すべき）
5. 自然エネルギーへの小規模の投資案件だけであれば、投資を検討しても良い
6. 市民エネルギー会社の設立が必要だとは思わない
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

(2) 市民エネルギー会社が供給する電力の購入について、どのようにお考えですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号を一つ選んでを付けてください。

1. 現在の電力料金と同じであれば、新しい産業の育成や環境保全のために購入すると思う
2. 現在の電力料金より多少割高でも、新しい産業の育成や環境保全のために購入すると思う
「2」に を付けた方は、問4-1にもお答えください（次頁）
3. 現在の電力料金よりも割高であれば、購入は控えると思う
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

問4 - 1 (2)の質問で「2」に を付けた方にお聞きします。現在の電力料金と比較して、どれくらいまでの割高であれば、購入すると思いますか。下の選択肢の中から、**あてはまる番号を一つ選んで** を付けてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 現在の電力料金の5%高までなら購入 | 2. 現在の電力料金の10%高までなら購入 |
| 3. 現在の電力料金の10%以上高でも購入 | 4. わからない |

< 重点的に取り組む分野 : 八戸港を活かした国際物流 >

問5 市では、港湾機能の充実や、港湾利用の促進に向けた企業等への宣伝活動など、「八戸港を活かした国際物流」の拠点づくりに力を入れています。

以下の施策のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の**1位~3位の記入欄に番号を記入**してください。

- | |
|--------------------------|
| 1. ふ頭や防波堤など港湾施設の整備 |
| 2. 国内外における商談会の開催 |
| 3. 海外の主要都市での八戸港の宣伝(利用促進) |
| 4. 国内の荷主や船会社対象のセミナー等の開催 |
| 5. 八戸港を利用して輸出入を行う企業の育成 |
| 6. 農林水産物など地域産品の輸出促進 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

1~7の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

< 重点的に取り組む分野 : 食供給産業 >

問6 市では、食文化に着目した産業振興として、水産業と農業の振興に力を入れています。

以下の施策のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の**1位~3位の記入欄に番号を記入**してください。

- | |
|--|
| 1. 安全・安心な農林水産物の生産の促進 |
| 2. 農林水産業の後継者の育成に対する支援 |
| 3. 株式会社の農業参入など、法人形態の導入による農林水産業の経営体制の強化 |
| 4. 海の幸・山の幸を活かした食文化の創造・宣伝に対する支援 |
| 5. 食材や食文化を体験(買物等含む)できる観光コースの充実 |
| 6. 農林水産物の加工品の開発や販路拡大に対する支援 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

1~7の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

< 重点的に取り組む分野 : 観光振興 >

問7 市では、新幹線の開業効果と合併による多彩な観光資源を活かして、観光の振興に力を入れて
ています。地域資源を活かした新しい観光の形態として、下記のものが挙げられます。

- ・農山村の資源を活用したグリーンツーリズム（農業体験や農山村の生活体験など）
- ・海を活かしたブルーツーリズム（自然体験や歴史文化体験など）
- ・自然や歴史文化を活かしたエコツーリズム（自然体験や歴史文化体験など）
- ・産業観光（産業施設見学、モノづくり体験など）

これらは、地域の資源を保全・活用しながら、観光客に八戸ならではの体験機会を提供する
もので、市民の方々の参画が不可欠です（例：講師、案内ボランティアなど）。

あなたは、こうした新しい観光や地域間交流の振興に参加する意欲はありますか。下の選択
肢の中から、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 是非参加したい | |
| 2. できれば参加したい | |
| 3. 参加するつもりはない | |
| 4. その他（具体的に： _____） | |
| 5. わからない | |

< 重点的に取り組む分野 : 都心地区再生 >

問8 市では、八戸の「顔」となる都心地区（主に三日町、番町、十三日町、六日町、十六日町及
びその周辺）の活性化に力を入れていきます。（同封した参考資料をご覧ください）

以下の施策のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の1位～3位
の記入欄に番号を記入してください。

- | | |
|---|--|
| 1. 賑わい空間としての（例えば「みろく横丁」といった）横丁の整備 | |
| 2. 三日町・十三日町など中心街のモール化（商店街等で車の利用を制限して、歩行者天国のように
快適に買い物ができる空間をつくること） | |
| 3. 商店街での定期的なイベントの開催など賑わいづくり活動の促進 | |
| 4. 本八戸駅通り地区の活性化（道路の拡幅整備含む） | |
| 5. 市民病院跡地の活用 | |
| 6. 市営住宅の整備やマンションの建設など都心居住の促進 | |
| 7. 土産物の販売や観光案内所、情報提供や交流の場、休憩所などをあわせもった複合施設の整備 | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |

1～8の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

< 重点的に取り組む分野 : 歴史資源を活かしたまちづくり >

問9 市では、「是川縄文博物館」の整備を検討しています。

「是川縄文博物館」の機能について、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の1位～3位の記入欄に番号を記入してください。

1. 縄文文化に関する研究機能
2. 縄文文化に関する学習機能（講座の開催や学校教育での見学など）
3. 縄文文化をテーマとした観光・交流機能
4. 縄文文化をわかりやすく紹介する情報発信機能
5. その他（具体的に： _____）

1～5の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

< 重点的に取り組む分野 : 芸術・文化活動の振興 >

問10 市では、市民の文化活動を促進するための取組みに力を入れています。

以下の施策のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の1位～3位の記入欄に番号を記入してください。

1. 三浦哲郎氏など郷土出身の文化人にちなんだイベントの開催
2. 郷土出身の文化人にちなんだ文化施設の整備
3. 芸術・文化活動団体等への活動支援（基金の設置や助成金等）
4. 八戸芸術パークの整備
5. 海を活かしたイベントや南郷のジャズイベント等の充実
6. その他（具体的に： _____）

1～6の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

< 重点的に取り組む分野 : I T (情報技術) を活用したまちづくり >

問 1 1 市では、事務の効率化や行政サービスの向上のため、情報技術の活用に力を入れています。

(1) 現在、あなたは、自宅でインターネットを利用していますか (携帯電話のインターネット接続は除きます) 。下の選択肢の中から、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

- 1 . 利用している 「 1 」 に を付けた方は、問 1 1 - 1、問 1 1 - 2 にもお答えください。
2 . 利用していない

(1) の質問で「 1 」に を付けた方にお聞きます。

問 1 1 - 1 インターネットはどのような回線を利用していますか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

- 1 . A D S L 回線 (既設の電話線と専用のモデムを使った高速アクセス回線)
2 . F T T H 回線 (光ケーブル) 3 . 電話回線 (アナログ回線) 4 . ケーブルテレビ
5 . その他 (具体的に :)

問 1 1 - 2 インターネットで受たい行政サービスは何ですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

- 1 . 申請・届出のサービス 2 . 税などの電子納付 3 . 防災・防犯情報の提供
4 . 体育施設、会議室などの施設予約
5 . その他 (具体的に :)

(2) 現在、あなたは、携帯電話を利用していますか。下の選択肢の中から、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

- 1 . 利用している 「 1 」 に を付けた方は、問 1 1 - 3、問 1 1 - 4 にもお答えください。(次頁)
2 . 利用していない

(次頁へ)

(2)の質問で「1」に を付けた方にお聞きします。

問11-3 携帯電話で利用する機能は何ですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

1. 音声通話 2. メール 3. 情報検索
4. その他(具体的に: _____)

問11-4 携帯電話を活用した行政サービスであなたが利用したいものは何ですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

1. 防災・防犯情報の提供 2. バスの運行状況の通知
3. 観光やイベントの情報の案内 4. 体育施設、会議室などの施設予約
5. その他(具体的に: _____)

<重点的に取り組む分野 : 健康と福祉のまちづくり>

問12 市では、田向地区において市民病院を核とした、保健・医療・福祉の広域拠点づくりの推進に力を入れています。

以下の施策のうち、優先順位をつけるとしたら、どのようにお考えですか。下の1位～3位の記入欄に番号を記入してください。

1. 高度な医療体制としての市民病院の機能を充実させる
2. 介護サービス付き住宅など、高齢者が安心して暮らせる住宅の建設を促進する
3. 福祉機器や医療機器を開発・研究する機関や企業を誘致する
4. 健康づくり講座など介護予防サービスを提供する施設¹の立地を促進する
5. デイサービスセンター²やグループホーム³など福祉施設の立地を促進する
6. 基盤となる道路や公園、下水道などの整備を一層推進する
7. その他(具体的に: _____)

1～7の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

- 1 高齢者が寝たきりや認知症といった状態になることを予防するため、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援する施設です。例えば軽運動室、温浴施設、研修室、調理室などを備えている事例があります。
- 2 デイサービスセンターとは、高齢者や身体・知的障害児者を対象とした日帰りの介護施設で、入浴や食事の提供など日常生活上の世話、就労・社会参加のための訓練や機能訓練などを行います。
- 3 グループホームとは、軽度の認知症高齢者、知的・精神障害者等が小人数で共同生活し、専任の世話人により食事の提供や相談などの日常生活の援助を受けられる施設のことで。

< 重点的に取り組む分野 : 協働のまちづくり >

問 1 3 市では、地域コミュニティの活性化を図るとともに、多様な分野の市民活動を促進し、市民の皆さんと行政との「協働のまちづくり」を進めていくことを目指しています。

地域コミュニティとは、ある一定の地域（例えば町内会や自治会等）に属する人々が、自主性と自らの責任において、住み良い地域づくりを行う集団のことです。地域コミュニティの力を高め、活動を活性化させることは、住民主体のまちづくりにつながります。

(1) あなたは、これまで市民活動や地域活動に参加したことがありますか。下記の設問項目ごとに、参加経験と今後の参加意向について、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

設問項目	参加経験、今後の参加意向		参加経験 (1 ~ 2 の一つに)		今後の参加意向 (1 ~ 5 の一つに)				
	がある	はない	参加した	参加した	積極的に参加したい	参加したい	時間があれば	たくはない	あまり参加しない
町内会や自治会の活動や行事	1	2	1	2	1	2	3	4	5
見回りパトロールなど地域防犯活動	1	2	1	2	1	2	3	4	5
P T A などの学校関係の活動	1	2	1	2	1	2	3	4	5
高齢者、障害者、子育て支援などの福祉ボランティア	1	2	1	2	1	2	3	4	5
道路や河川、公園の清掃美化活動	1	2	1	2	1	2	3	4	5
講師など生涯学習、生涯スポーツを支援する活動	1	2	1	2	1	2	3	4	5
スポーツイベントや芸術文化活動を支援する活動	1	2	1	2	1	2	3	4	5
その他（直接お書きください）	1	2	1	2	1	2	3	4	5
その他（直接お書きください）	1	2	1	2	1	2	3	4	5
その他（直接お書きください）	1	2	1	2	1	2	3	4	5

(2) あなたは、協働のまちづくりを進めていく上で、どのようなことが必要であるとお考えですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

- 1 . 活動に関する具体的な情報を広く紹介する
- 2 . 活動を支援する専門の組織を育成する（活動に関する相談や助言など）
- 3 . 活動を担い、リーダーとなる人材を育成する
- 4 . 活動の拠点となる施設を整備する
- 5 . その他（具体的に： _____ ）
- 6 . わからない

(3) 近年、我が国でも、地域コミュニティから、比較的小規模な公共事業（生活道路の改修など）の要望があった場合、例えば、材料費など必要経費は役所から、残りは住民負担（お金の他、労力でも可）とすることにより、早期に事業を実施するといった取組みが見られます。（同封した参考資料をご覧ください）

このような住民主体の公共事業の制度について、あなたはどのようにお考えですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号すべてに を付けてください。

- | |
|---|
| 1. 労力の提供でよければ、無償でもボランティアとして参加したい
2. ある程度の予算がついて、住民が有償ボランティア 的に関われるのであれば参加したい
3. この制度が、市役所のスリム化（職員の削減など）に寄与するのであれば参加したい
4. 参加したくない（公共事業の実施は市役所にまかせたい）
5. その他（具体的に： _____ ）
6. わからない |
|---|

有償ボランティアとは、活動に対して交通費程度の報酬が支払われるボランティア活動のことです。

< 重点的に取り組む分野 : 公共交通 >

問14 市では、バス等の公共交通について、生活交通の確保の観点から、持続可能な仕組みを検討しています。

(1) あなたは、八戸市におけるバス交通の満足度についてどのように感じていますか。また、日常生活においてどのくらい重要とお考えですか。それぞれの設問項目について、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

満足度・重要度 設問項目	満足度 (1~6の一つに)						重要度 (1~6の一つに)					
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない
バスの運行時間は正確である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
市内の路線バスの便数は十分である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
市内の路線バスの運賃は適切である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
市内の路線バスの運行時間帯は十分である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
路線バスで市内の行きたいところへ行ける	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

(2) あなたは、バス交通のサービス水準（便数・路線数）を維持・向上させるために、行政がどのように支援していくべきだとお考えですか。下の選択肢の中から、**あてはまる番号を一つ選んで** を付けてください。

1. 行政の負担（税金）により、バス事業者に補助し、現在のバス交通のサービス水準を維持・向上する
2. 運賃を多少あげても、バス事業者の自助努力で、サービス水準を維持する
3. 交通不便地区におけるデマンドバス¹や乗合タクシーなど効率的な運行方式の導入を図り、行政の負担（税金）を抑える
4. バス事業者に限らず、市民団体やNPO法人²が行う、高齢者や障害者等の交通弱者に対する移送サービスを支援する
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

1. デマンドバスとは、利用者の呼び出しに応じて、バスが利用者の所へ行き乗降する運行方式です。路線や停車場が一応決まっていますが、利用者の求めに応じて、ある程度柔軟に対応できます。
2. NPO法人とは、非営利での様々な活動を通じて、社会的な使命の実現を目指す団体のことです。

(3) 市営バスの運行主体についてどのようにお考えですか。下の選択肢の中から、**あてはまる番号を一つ選んで** をつけてください。

1. 従来どおり市営によるバス路線を維持する
2. 民間が採算をとれる路線は民営化し、民間事業として成り立たない路線を市営で運行する
3. 現在の市営バスはすべて民営化する
4. 現在の市営バスを運行するNPO法人を組織し、運行をまかせる
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

(4) これからの八戸市の交通政策についてお聞きします。以下の施策のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の**1位～3位の記入欄に番号を記入**してください。

1. 市内の公共交通（バスや鉄道）を重視した交通政策
2. 歩行者に優しい歩行空間づくりを重視した交通政策
3. 自動車を優先させた交通政策
4. 自転車を幅広く使える都市づくり
5. その他（具体的に： _____）

1～5の上位3つをご記入ください

1位	2位	3位

問15 問4～問14の重点的に取り組む分野のうち、優先順位を付けるとしたら、どのようにお考えですか。下の記入欄に、1位～3位までの順位を記入してください。

重点的に取り組む分野	優先順位
1．環境・自然エネルギー	位
2．八戸港を生かした国際物流	位
3．食供給産業	位
4．観光振興	位
5．都心地区再生	位
6．歴史資源を活かしたまちづくり	位
7．芸術・文化活動の振興	位
8．IT（情報技術）を活用したまちづくり	位
9．健康と福祉のまちづくり	位
10．協働のまちづくり	位
11．公共交通	位

1位～3位
までの記入
で結構です

3．公共施設の利用状況と問題点についてお聞きします

問16 公共施設の新設や維持管理には多くの費用が必要です。

あなたは、今後の公共施設のあり方について、既存施設の改修と新設のどちらに力を入れるべきだとお考えですか。下の選択肢の中から、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

- 1．老朽化した既存施設の改修に力を入れる
- 2．遊休施設の有効利用・複合利用に力を入れる
- 3．八戸市に不足している施設の新設に力を入れる
「3」に を付けた方は、問16-1にもお答えください。
- 4．その他（具体的に： _____)
- 5．わからない

問16-1 問16の質問で「3」に をつけた方にお聞きします。特にどのような施設を新設するべきだとお考えですか。具体的な施設の種類や内容を下記の欄にお書きください。

記入欄（例：芸術・文化活動の拠点となる施設）

問 17 市内の公共スポーツ施設（運動場、野球場、プール、テニスコートなど）の利用状況について あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。
 また、施設に満足しているかどうか、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

施設の利用状況 (1 ~ 4 の一つに)	施設の満足度 (1 ~ 5 の一つに)
1 . よく利用する 2 . ときどき利用する 3 . あまり利用しない 4 . まったく利用しない	1 . 満足 2 . やや満足 3 . やや不満 4 . 不満 5 . わからない

問 17 - 1 へ

問 17 - 1 問 17 の施設の満足度で「3」又は「4」に を付けた方にお聞きします。
 どのような点が不満ですか。 あてはまる番号すべてに を付けてください。

1 . 施設の立地場所に不満がある 2 . 施設の設備に不満がある 3 . 施設の広さに不満がある 4 . 利用料金に不満がある 5 . 利用時間に不満がある 6 . 申し込み手続きに不満がある	7 . スポーツ教室などの催しに不満がある 8 . 高齢者や障害者の方が利用しにくい 9 . 利用者に対する情報提供に不満がある 10 . その他 (具体的に：)
--	---

問 18 市内の文化・レクリエーション施設（美術館、博物館、資料館など）の利用状況について あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。
 また、施設に満足しているかどうか、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

施設の利用状況 (1 ~ 4 の一つに)	施設の満足度 (1 ~ 5 の一つに)
1 . よく利用する 2 . ときどき利用する 3 . あまり利用しない 4 . まったく利用しない	1 . 満足 2 . やや満足 3 . やや不満 4 . 不満 5 . わからない

問 18 - 1 へ

問 18 - 1 問 18 の施設の満足度で「3」又は「4」に を付けた方にお聞きします。
 どのような点が不満ですか。 あてはまる番号すべてに を付けてください。

1 . 施設の立地場所に不満がある 2 . 施設設備に不満がある 3 . 利用料金に不満がある 4 . 利用時間に不満がある 5 . 展示物や資料の内容に不満がある	6 . 特別展や企画展などの催しに不満がある 7 . 高齢者や障害者の方が利用しにくい 8 . 利用者に対する情報提供に不満がある 9 . その他 (具体的に：)
--	---

問 1 9 市内の地域・コミュニティ施設（コミュニティセンター、公民館、集会所など）の利用状況についてあてはまる番号を一つ選んで を付けてください。
 また、施設に満足しているかどうか、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

施設の利用状況 (1 ~ 4 の一つに)
1 . よく利用する
2 . ときどき利用する
3 . あまり利用しない
4 . まったく利用しない

施設の満足度 (1 ~ 5 の一つに)
1 . 満足
2 . やや満足
3 . やや不満
4 . 不満
5 . わからない

問 1 9 - 1 へ

問 1 9 - 1 問 1 9 の施設の満足度で「 3 」又は「 4 」に を付けた方にお聞きします。
 どのような点が不満ですか。あてはまる番号すべてに を付けてください。

1 . 施設の立地場所に不満がある	6 . 高齢者や障害者の方が利用しにくい
2 . 施設設備に不満がある	7 . 利用者に対する情報提供に不満がある
3 . 利用料金に不満がある	8 . 特定の人だけ利用しているので行きづらい
4 . 利用時間に不満がある	9 . その他
5 . 申し込み手続きに不満がある	(具体的に：)

問 2 0 市内の図書館の利用状況についてあてはまる番号を一つ選んで を付けてください。
 また、施設に満足しているかどうか、あてはまる番号を一つ選んで を付けてください。

施設の利用状況 (1 ~ 4 の一つに)
1 . よく利用する
2 . ときどき利用する
3 . あまり利用しない
4 . まったく利用しない

施設の満足度 (1 ~ 5 の一つに)
1 . 満足
2 . やや満足
3 . やや不満
4 . 不満
5 . わからない

問 2 0 - 1 へ

問 2 0 - 1 問 2 0 の施設の満足度で「 3 」又は「 4 」に を付けた方にお聞きします。
 どのような点が不満ですか。あてはまる番号すべてに を付けてください。

1 . 施設の立地場所に不満がある	6 . 机や座席の数に不満がある
2 . 施設設備に不満がある	7 . 貸し出し方法や手続きに不満がある
3 . 利用時間に不満がある	8 . 高齢者や障害者の方が利用しにくい
4 . 蔵書数に不満がある	9 . 利用者に対する情報提供に不満がある
5 . 蔵書の種類に不満がある	1 0 . その他
(例えば郷土資料等が不足している)	(具体的に：)

問 2 1 市では、平成 17 年度から、市内の学校教育施設の地域への開放を実施しています（平成 17 年度から、小学校では 35 校、中学校では 7 校を開放しています。教育委員会に登録した団体が各学校に申し込む方法となっています。）
学校を地域の人々が利用できるとしたら、どのような点に期待しますか。下の選択肢の中から、**あてはまる番号すべてに** を付けてください。

- 1 . 運動場や体育館などのスポーツ施設を利用したい
- 2 . 図書館、音楽室、コンピュータールーム、調理室（家庭科室）などを利用したい
- 3 . 余裕教室がある場合、集会施設として利用したい
- 4 . 余裕教室がある場合、高齢者や障害者等の福祉施設として整備してほしい
- 5 . 余裕教室がある場合、学童保育の場として活用してほしい
- 6 . 備蓄倉庫の設置など防災の拠点として活用してほしい
- 7 . その他（具体的に： _____)
- 8 . わからない

4 . 行政サービスの提供のあり方についてお聞きします

問 2 2 これからの社会では、少子高齢化の進展を背景として、税金などの負担をする人が少なくなる一方、福祉など行政サービスに対する需要がますます増加するものと予想されます。
このような状況の中で、行政サービスに対する市民の負担について、どのようにお考えですか。下の選択肢の中から、**あてはまる番号を一つ選んで** を付けてください。

- 1 . 市民の負担を大きく増やして、行政が提供するサービスを拡大する
- 2 . 市民の負担を少し増やして、行政が提供するサービスを維持する
- 3 . 税収は減少しても、市民の負担は現状水準を維持する。しかし、行政から受けられるサービスの減少分は、市民の助け合いや、市民団体・企業などが提供するサービス（有料も含む）を利用できるようにする
- 4 . 市民の負担はできるだけ軽減し、行政が提供するサービスは必要最低限とする。それを超える部分は、市民の助け合いや、市民団体・企業などが提供するサービス（有料も含む）を利用できるようにする
- 5 . その他（具体的に： _____)
- 6 . わからない

